

令和7年度 生活習慣病検診管理指導協議会
乳がん部会

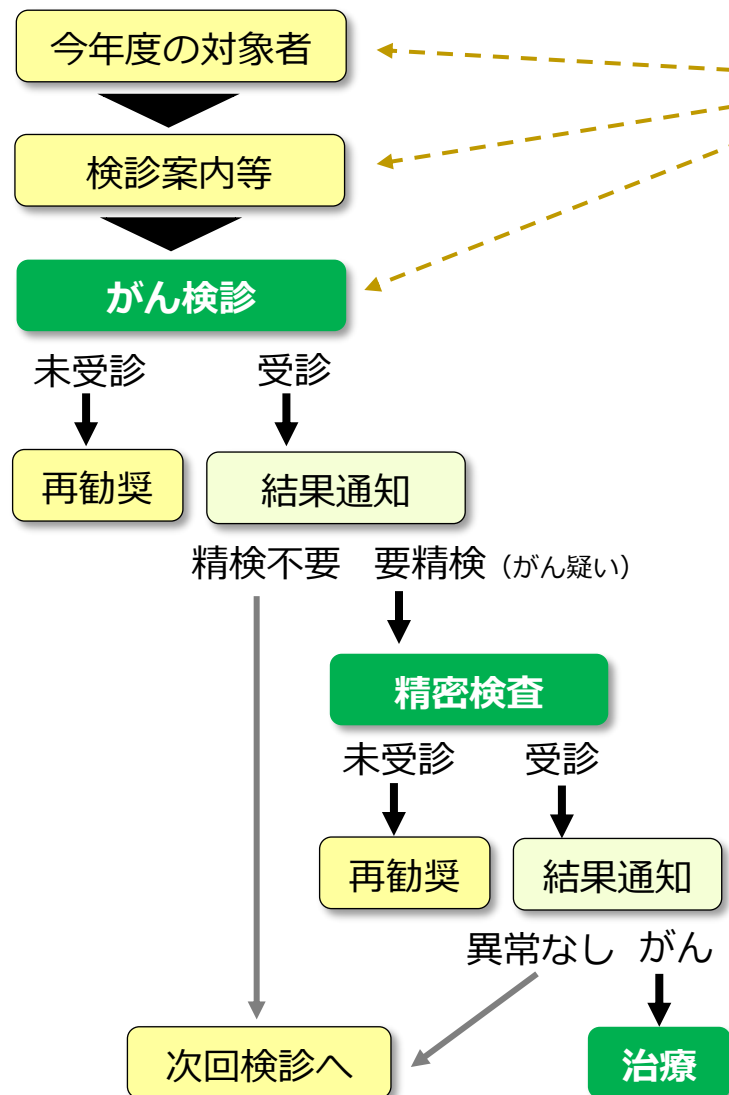
乳がん検診の精度管理結果について



- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
- 4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

概要調査の内容

がん検診の流れ



①概要調査

国の指針で定める検診内容



「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」
(厚生労働省)

- (1) 検診の対象年齢（下限）
- (2) 検診項目
- (3) 検診の委託を契約している
検診実施機関

対象となる調査年度

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容	調査年度				
	市町村	職域	任意		R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施体制など	宮城県	○	○	○	○
					全 国	○	○	○	
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	
地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	△
					全 国	○	○	△	
	○			精検受診率	宮城県	○	○	△	
					全 国	○			



実測値（全数調査）

市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）

➡ 概要調査については、本年度の県独自の調査結果から評価

国の指針で定めるがん検診の内容

検診種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん	問診に加え、 胃部エックス線検査 又は 胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※ 当分の間、胃部エックス線 検査については 40歳以上 に対し実施可	2年に1回 ※ 当分の間、胃部エックス 線検査については年1 回 実施可
子宮頸 がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診 及び内診	20歳代	2年に1回
	問診、視診、子宮頸部の細胞診 及び内診	30歳以上	2年に1回
	問診、視診及びHPV検査単独法 ※ 実施体制が整った自治体で選択 可能		5年に1回 ※ 罹患リスクが高い者に ついては1年後に受診
肺がん	質問(問診)、胸部エックス線検査 及び喀痰細胞診	40歳以上 ※ 喀痰細胞診については原則 として50歳以上の重喫煙者 (喫煙指数600以上の者)のみ	年1回
乳がん	質問(問診)及び 乳房エックス線検査(マンモグラフィ) ※ 視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回

概要調査結果の概要（2025（R7）年度 乳がん検診）

1 検診の対象年齢（下限）

指針に基づく対象年齢で検診を実施したか

	実施したと回答した市町村割合	参考
宮城県（2025（R7））	100 %	2024（R6）年度と同じ
全 国（2024（R6））	85.6 %	



（宮城県：令和6、7年度も同じ）

宮城県	年 齢	市町村数	備考	参考
	40歳以上	35	国の指針どおり（40歳以上）	2024（R6）年度と同じ

指針に基づく受診間隔で検診を実施したか

	実施したと回答した市町村割合
宮城県（2025（R7））	65.7 %
全 国（2024（R6））	46.7 %

（指針：受診間隔：2年）

概要調査結果の概要（2025（R7）年度 乳がん検診）

2 検診項目

宮城県	項 目	市町村数	備考	参考
	問診、マンモグラフィ	35	国の指針どおり (昨年度から変動なし)	
	問診、超音波検査	29	国の指針になし (昨年度から1減)	・岩沼市は35歳から ・七ヶ宿町は20歳から ・その他の市町村は30歳から実施

3 集団・個別の区別、集団検診の委託機関

宮城県	項 目	市町村数
	集団検診	29
	個別検診	13

集団検診を実施している市町村すべてが、
宮城県対がん協会に委託

注) 集団と個別の両方を実施している市町村あり

超音波検査の実施状況①（2025（R7）年度 乳がん検診）

市町村名	下限年齢	超音波検査を実施かつ対象年齢を広げている理由	検査項目
白石市	30歳	若い時期からがん検診に関心を持ってもらうため。 30歳～39歳は超音波検査を実施。	問診、超音波検査
角田市	30歳	指針にある「30歳代の女性については、指針に規定する乳がん検診の対象とはならないものの、罹患率が上昇傾向にあることを踏まえ、ブレスト・アウェアネスの重要性及び異常がある場合の専門医療機関への早期受診等に関する指導を行うこと。」とあることから30代も対象としている。また、30代は高濃度乳房であることから超音波検査を実施している。	問診、超音波検査
蔵王町	30歳	若い世代にがんが増えてきているため。	問診、超音波検査
七ヶ宿町	20歳	乳腺密度が濃くマンモグラフィでは精度の高い検診が行えないことから超音波検査を実施。併せてブレストアウェアネスの大切さについて普及するため。	問診、超音波検査
大河原町	30歳	乳がんの早期発見を目的に実施。	問診、超音波検査
村田町	30歳	40歳以上の受診率向上と受診を契機とした自己検診等啓発。	問診、超音波検査
柴田町	30歳	従来から30歳代を超音波検診の対象としていたため、住民サービスとして維持している。	問診、超音波検査
川崎町	30歳	がん指針（平成10年4月）の名残。30歳代の罹患者がいるため。	問診、超音波検査
丸森町	30歳	早期発見のため。	問診、超音波検査
塩竈市	40歳	なし	
名取市	30歳	早期発見のため。	問診、超音波検査

超音波検査の実施状況②（2025（R7）年度 乳がん検診）

市町村名	下限年齢	超音波検査を実施かつ対象年齢を広げている理由	検査項目
多賀城市	40歳	なし	
岩沼市	35歳	若い世代に多いがんで増加傾向にあり、がん予防及び検診受診の啓発普及のため	問診、超音波検査
富谷市	30歳	受診機会確保のため	問診、超音波検査
亶理町	30歳	がんの早期発見のため	問診、超音波検査
山元町	30歳	若年者の疾患の早期発見と予防の普及啓発	問診、超音波検査
松島町	40歳	なし	
七ヶ浜町	40歳	なし	
利府町	40歳	なし	
大和町	30歳	30代の乳がん罹患率が上昇傾向であること、40代と比較すると進行速度が速い特徴があるため。	問診、超音波検査
大郷町	30歳	マンモグラフィ検査については指針通り。超音波検査は指針外であるが、30歳代の乳がんはその進行が早いため実施している。	問診、超音波検査
大衡村	30歳	30歳代は超音波検査で実施：若年者のがん検診啓発普及のため（若年層の罹患リスクが上昇傾向にあるため）	問診、超音波検査
大崎市	30歳	H16年改正前から実施しており、住民サービスの一環として継続している	問診、超音波検査


超音波検査の実施状況③（2025（R7）年度 乳がん検診）

市町村名	下限年齢	超音波検査を実施かつ対象年齢を広げている理由	検査項目
色麻町	30歳	がんの早期発見・早期治療につなげるため	問診、超音波検査
加美町	30歳	職場の検診機会の少ない世代に、早い時期から健康管理の意識づけの機会とする為	問診、超音波検査
涌谷町	30歳	30歳代から増加しているがんであることから、早期発見・早期治療のために実施している。乳腺の発達した30歳代でも検査を受けられるよう、超音波検査としている。	問診、超音波検査
美里町	30歳	30歳頃から罹患者が増加し始めるがんであることから、若年層への検診啓発のため	問診、超音波検査
栗原市	30歳	30代は市の独自業として実施	問診、超音波検査
登米市	30歳	若年世代のがんの早期発見のため	問診、超音波検査
石巻市	30歳	平成17年4月1市6町の合併に伴い、対象年齢の下限を構成市町の最年少に統一し、30歳以上とした。（合併前の下限設定については、経過不明）	問診、超音波検査
東松島市	40歳	なし	
女川町	30歳	30歳代から乳がんの割合が増えるとされているため	問診、超音波検査
気仙沼市	30歳	若年層のがん発見・早期治療の機会確保のため	問診、超音波検査
南三陸町	30歳	検診受診啓発と早期発見のため	問診、超音波検査
仙台市	30歳	若い世代のがんの早期発見、早期治療のため	問診、超音波検査

概要調査のまとめ

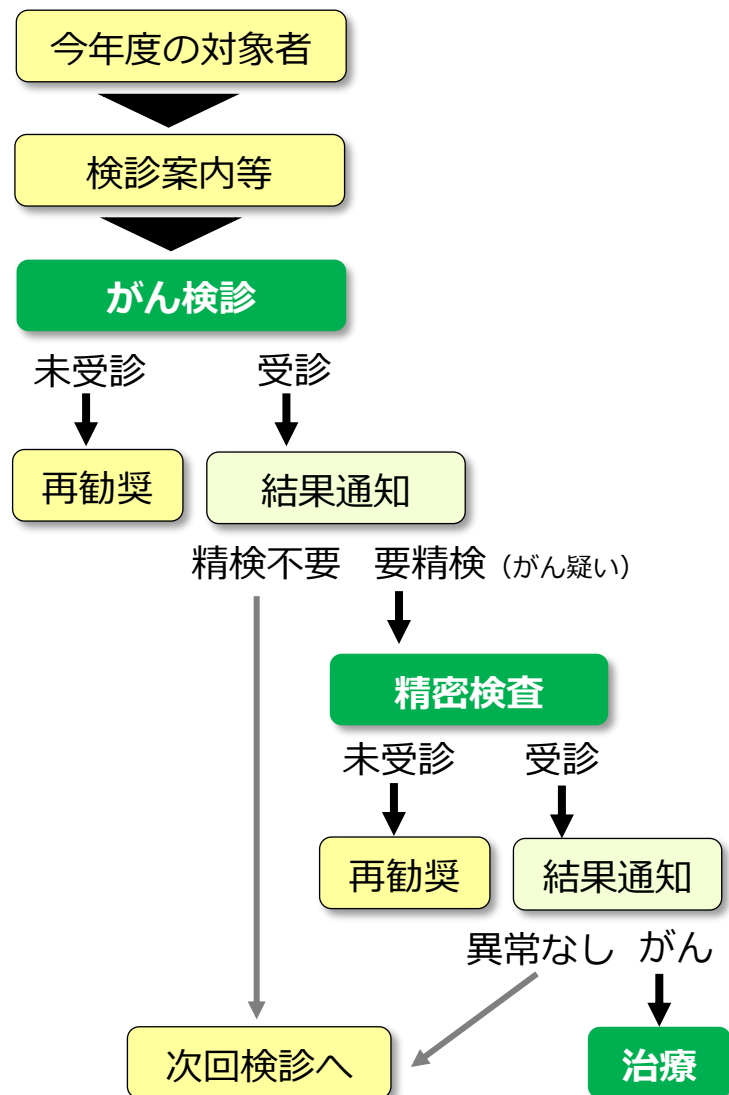
- 乳房エックス線検査（マンモグラフィ）の実施年齢の遵守率は、全国より高い100 %である。
 - 超音波検査は、若い世代（30代）受診機会の確保を目的に多くの市町村で実施している。
- 超音波検査については、有効性が検証段階であるため、国の推奨する検査とはなっていない。
- そのため、対象年齢外（40歳未満）の者にがん検診を実施する場合は、受診される住民に利益、不利益について、説明を行った上で実施するよう、引き続き指導を行う。

(余 白)

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
-  2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
- 4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

チェックリスト遵守状況調査

がん検診の流れ



一連の流れ

技術・体制指標

- ・国が作成（全国一律）
- ・推奨する最低限の検診体制を実施しているか

②チェックリスト遵守状況調査

市町村用

事業評価のためのチェックリスト

集団検診用

個別検診用

実施体制の評価

対象となる調査年度

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容		調査年度				
	市町村	職域	任意			R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施 体制など	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○	○	
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	○	
地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	△	
					全 国	○	○	△		
	○			精検受診率	宮城県	○	○	△		
					全 国	○				



実測値（全数調査）

市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）



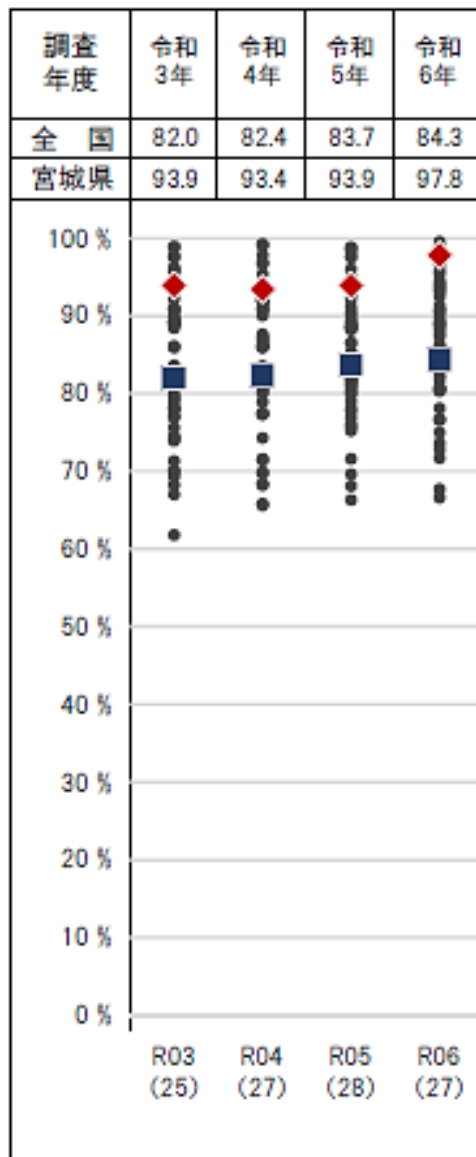
全国比較できる年度データを使用（2023（R6）年度）

△：本年度（2025（R7）年度）の状況は、現在、市町村で入力中

チェックリスト市町村遵守率の推移

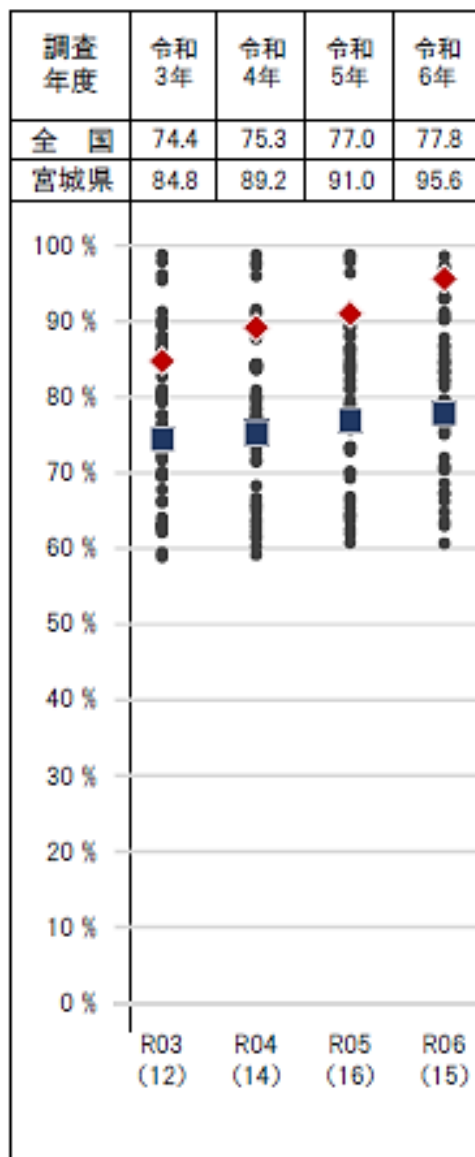
年次推移

集団検診



集計対象市区町村： () 内記載

個別検診



集計対象市区町村： () 内記載

チェックリスト 遵守状況調査

乳がん：55項目 全項目実施率(%)推移

凡例：

- ◆ 宮城県
- 全国
- その他の都道府県

【チェックリスト実施率の算出方法】

「○」※の合計数／集計対象市区町村数×
質問項目数× 100 (%)

※ 回答は「○（実施した）」「×（実施していない）」
「△（実施予定はあるが回答時点でまだ実施していない）」から選択。

当調査結果のチェックリスト実施率には「○」のみ集計し「△」は含みません。未回答は「×」とみなします。

【出典】

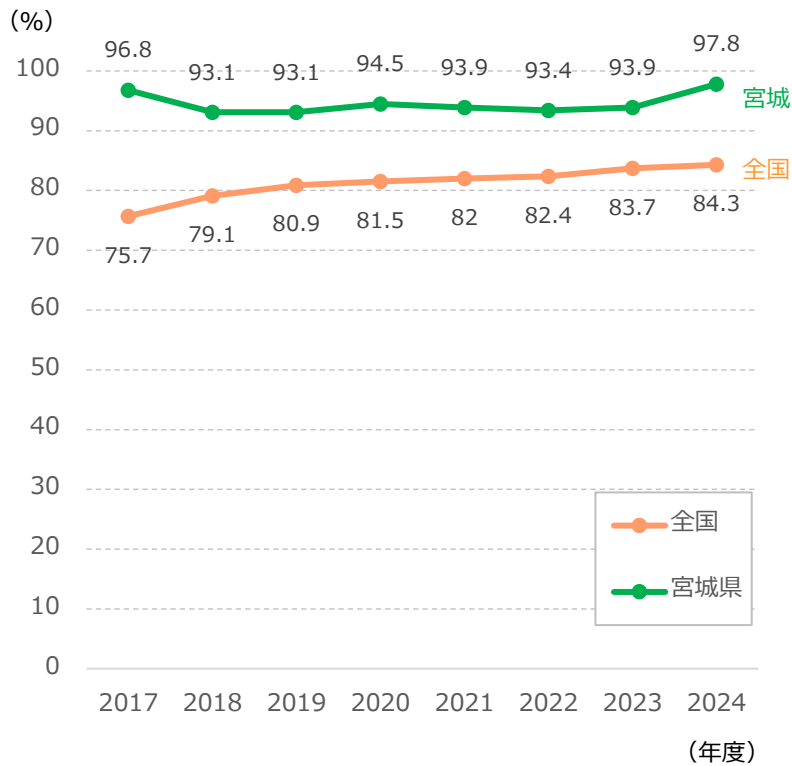
令和6年度「市区町村におけるがん検診チェックリスト
の使用に関する実態調査」結果報告
（国立がん研究センター がん対策研究所検診研究
部 検診実施管理研究室）

チェックリスト遵守率の年次推移（全国・宮城県）

乳がん検診

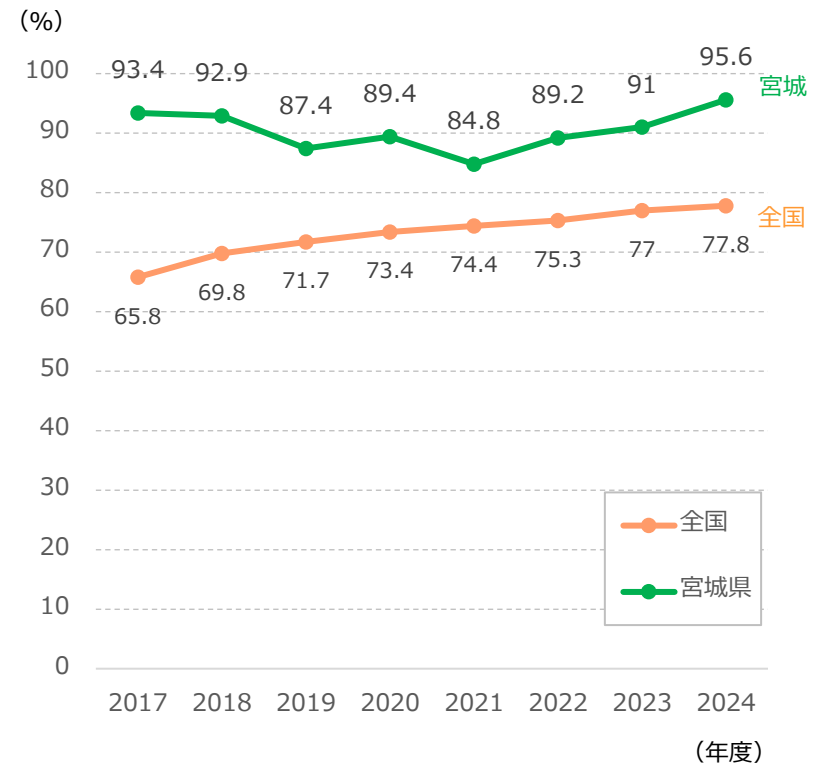
集団検診

チェックリスト遵守率の推移（集団）



個別検診

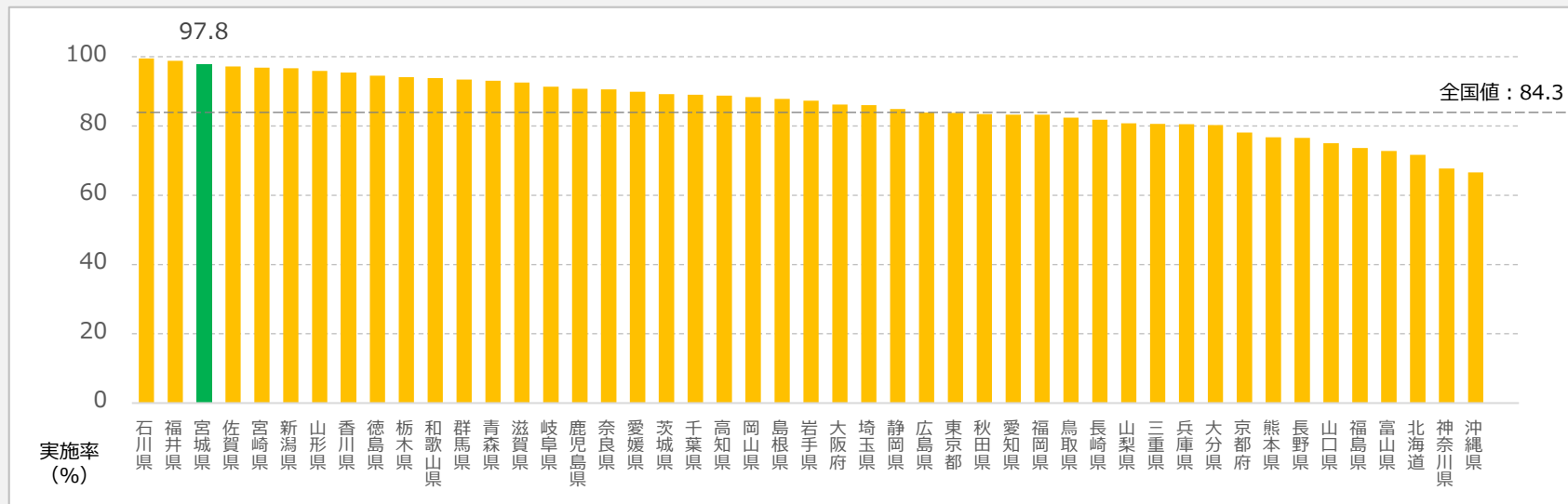
チェックリスト遵守率の推移（個別）



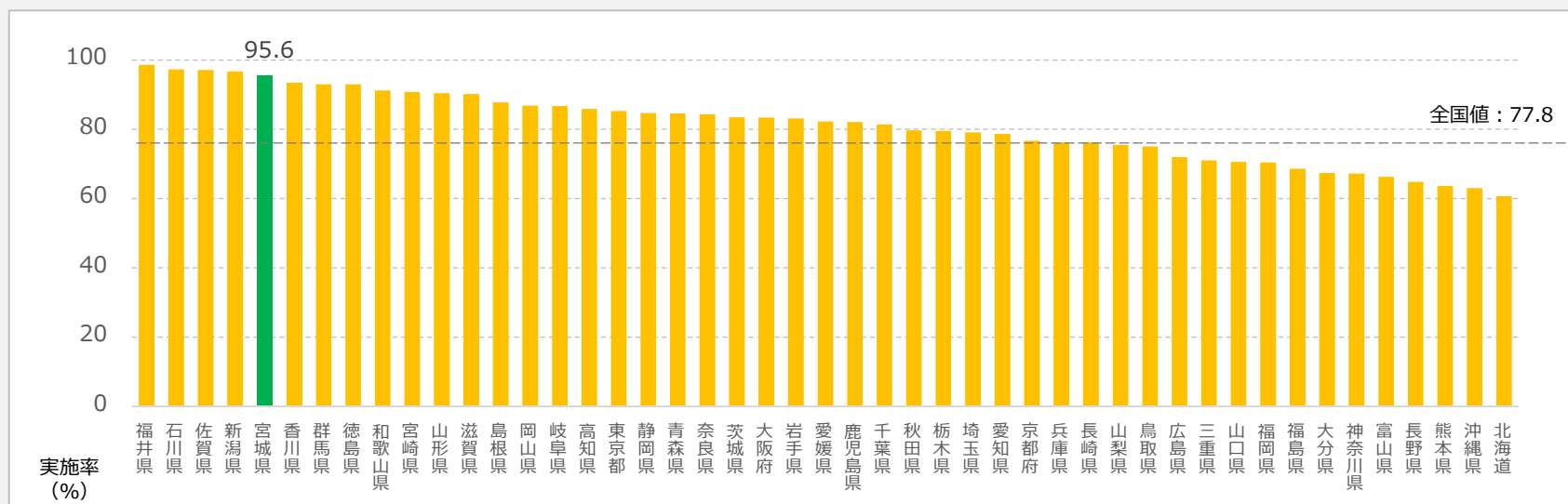
チェックリスト市町村遵守率（都道府県別）

乳がん検診（全国順位）2024（R6）年度 全項目

集団検診



個別検診



チェックリスト集計結果（集団①）

集団検診（2024（R6）年度）

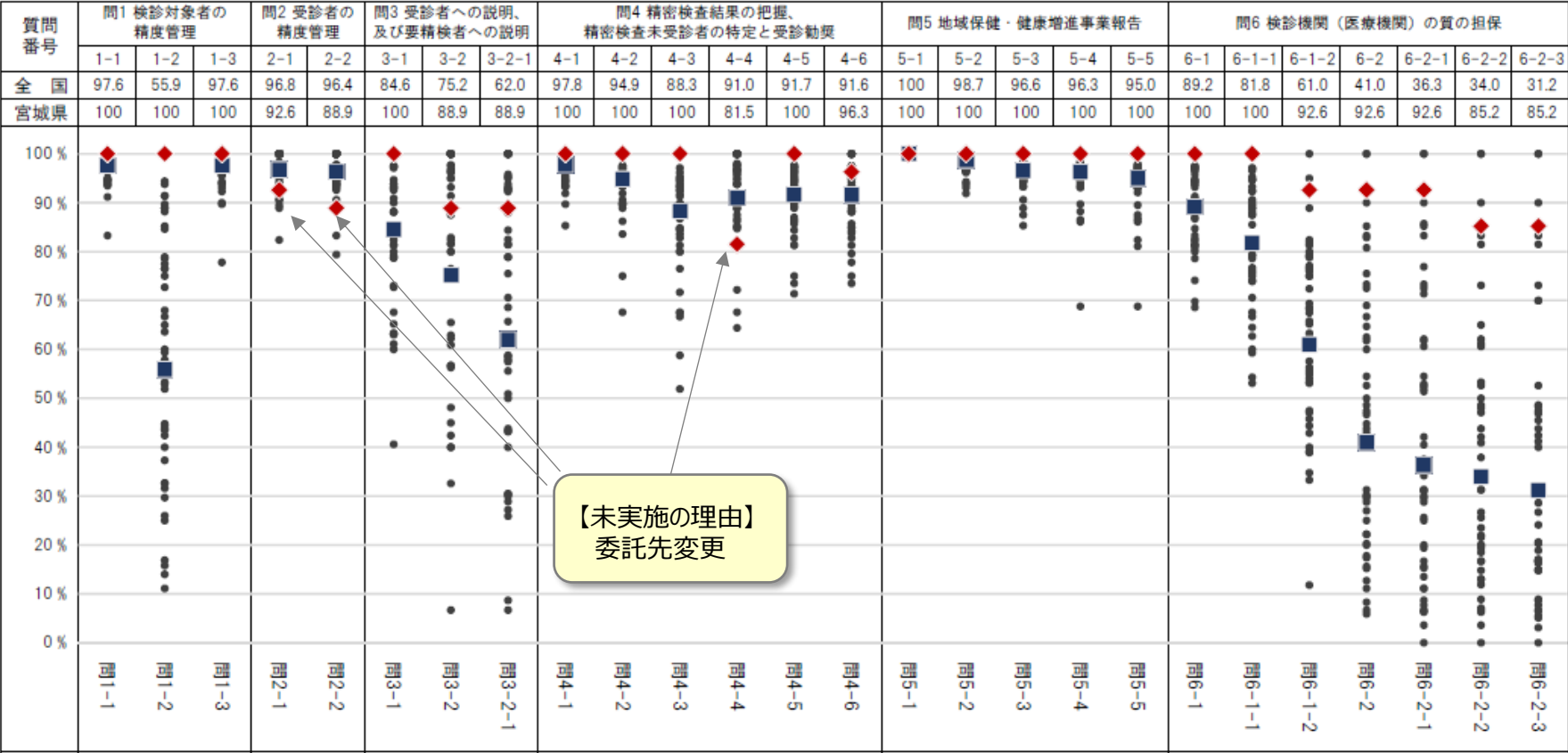
乳がん（全国比較）

調査1 項目別遵守率(%)

- 凡例：
- ◆ 宮城県

■ 全国

● その他の都道府県



集計対象市区町村数（調査1）：27

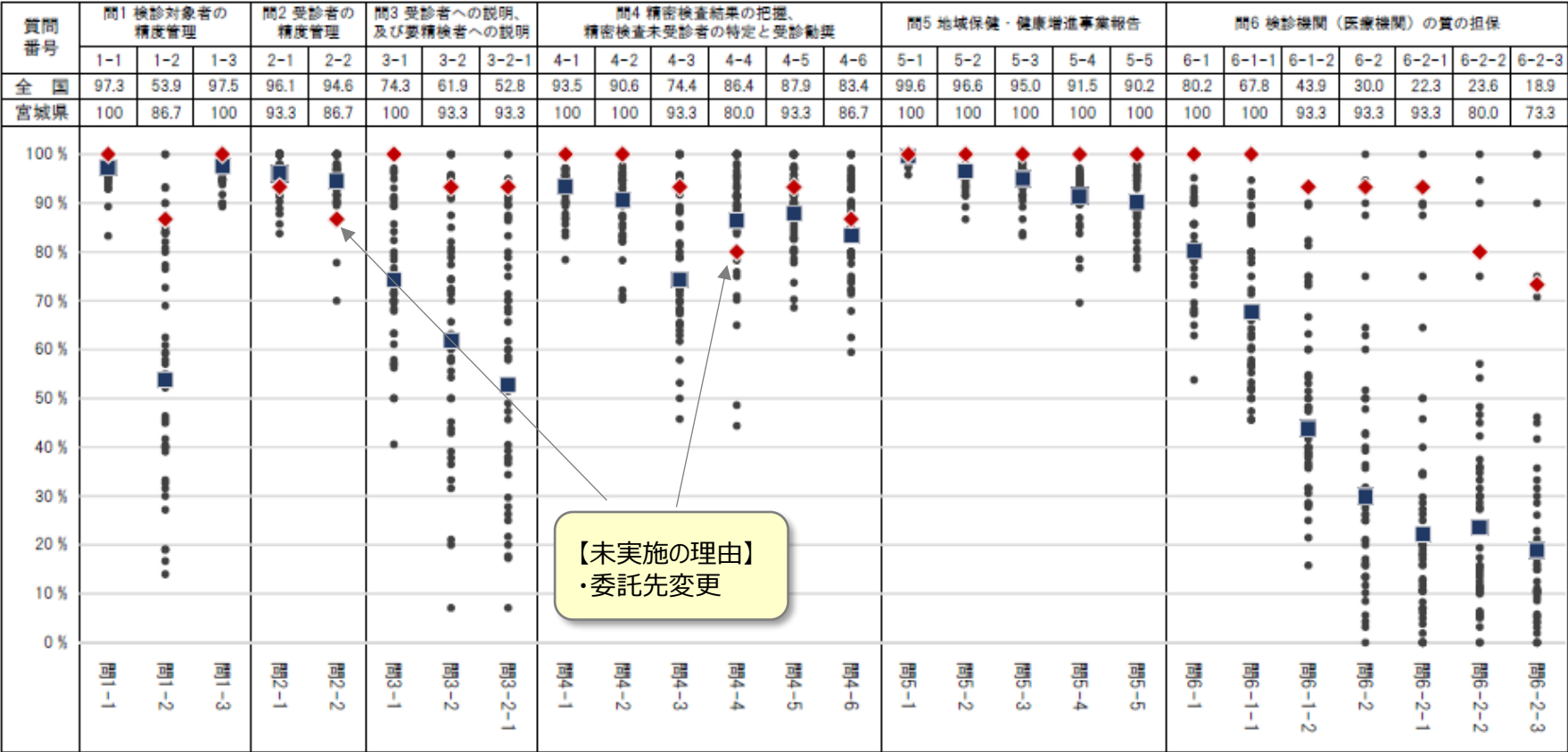
チェックリスト集計結果（個別①）

個別検診（2024（R6）年度）

乳がん（全国比較）

調査1 項目別遵守率(%)

- 凡例：
- ◆ 宮城県
 - 全国
 - その他の都道府県



集計対象市区町村数（調査1）：15

チェックリストの内容（①ー1）

【1】 検診対象者	
問 1-1	対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成したか
問 1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行ったか
問 1-3	対象者数（推計でも可）を把握したか
【2】 受診者の情報管理	
問 2-1	個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成したか
問 2-2	過去5年間の受診歴を記録しているか
【3】 受診者への説明、及び要精検者への説明	
問 3-1	受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布したか
問 3-2	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示したか
問 3-2-1	上記（3-2）の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼したか
【4】 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨	
問 4-1	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を把握したか
問 4-2	精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認したか
問 4-3	個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有したか
問 4-4	過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録しているか
問 4-5	精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定したか
問 4-6	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行ったか

チェックリストの内容（①ー２）

【5】地域保健・健康増進事業報告	
問 5-1	がん検診結果や精密検査結果の最終報告（令和5年度地域保健・健康増進事業報告）を行ったか
問 5-2	がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、医師会など）に報告を求めたか
問 5-3	がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか
問 5-4	精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先（検診機関（医療機関）、精密検査機関、医師会など）に報告を求めたか
問 5-5	精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めたか
【6】検診機関（医療機関）の質の担保	
問 6-1	委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定したか
問 6-1-1	仕様書（もしくは実施要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしたか
問 6-1-2	検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは実施要綱）の内容が遵守されたことを確認したか
問 6-2	検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしたか
問 6-2-1	「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしたか
問 6-2-2	検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしたか
問 6-2-3	上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしたか

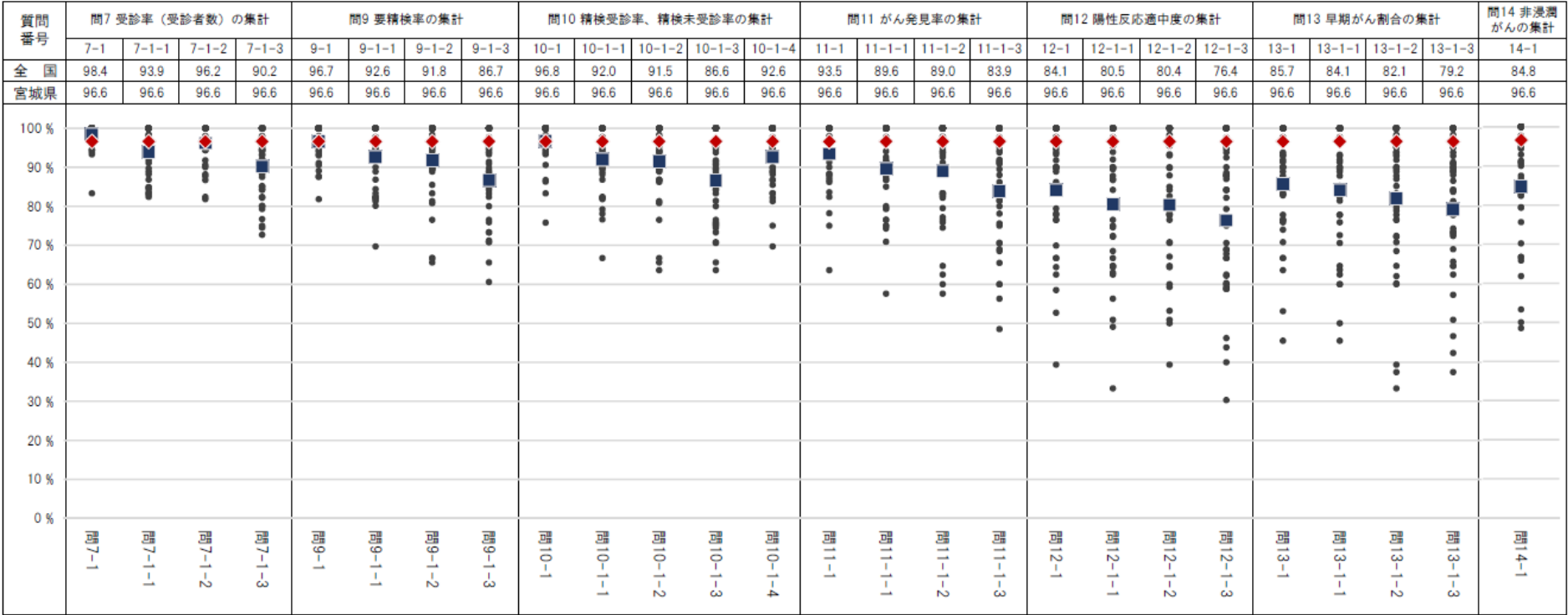
チェックリスト集計結果（集団②）

集団検診（2024（R6）年度）

乳がん（全国比較）

調査2 項目別遵守率(%)

- 凡例：
- ◆ 宮城県
 - 全国
 - その他の都道府県



集計対象市区町村数（調査2）：29

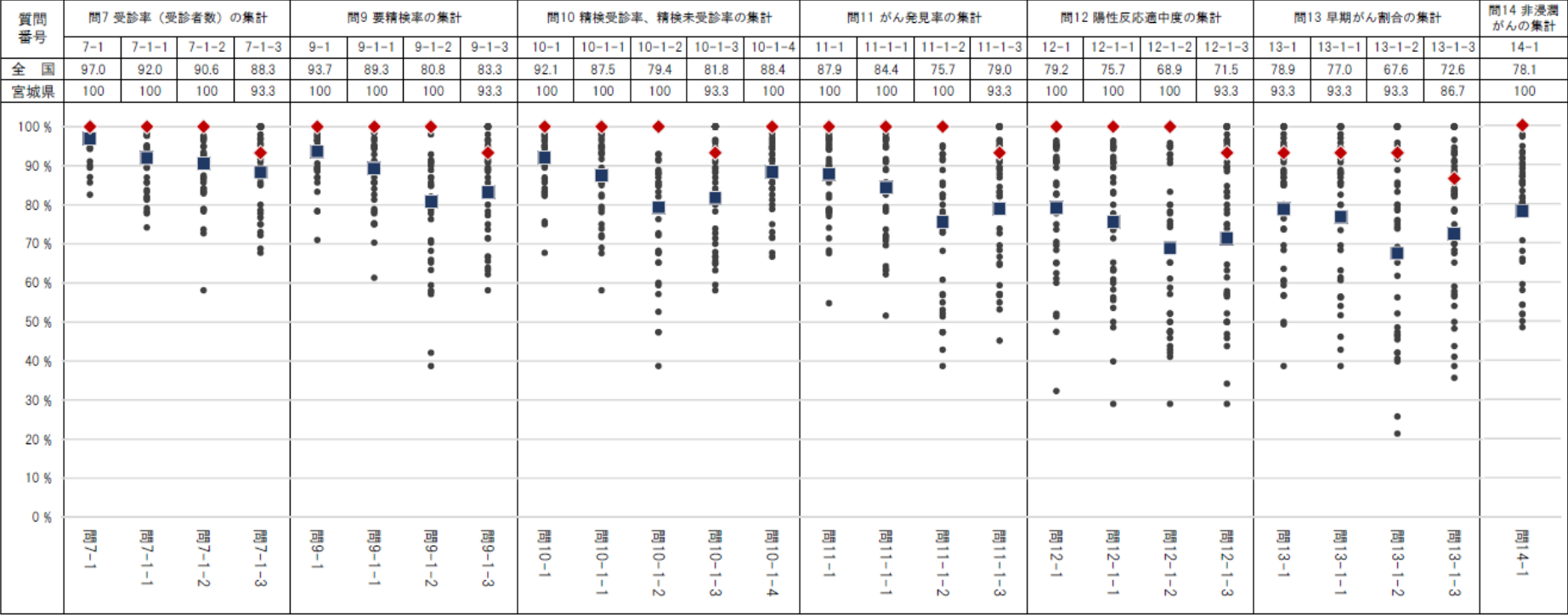
チェックリスト集計結果（個別②）

個別検診（2024（R6）年度）

乳がん（全国比較）

調査2 項目別遵守率(%)

- 凡例：
- ◆ 宮城県
 - 全国
 - その他の都道府県



チェックリストの内容（②ー1）

【7】 受診率（受診者数）の集計	
問 7-1	受診率を集計したか
問 7-1-1	受診率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 7-1-2	受診者数を検診機関別に集計したか
問 7-1-3	受診者数を検診受診歴別に集計したか
【9】 要精検率の集計	
問 9-1	要精検率を集計したか
問 9-1-1	要精検率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 9-1-2	要精検率を検診機関別に集計したか
問 9-1-3	要精検率を検診受診歴別に集計したか
【問10】 精検受診率・未受診率の集計	
問 10-1	精検受診率を集計したか
問 10-1-1	精検受診率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 10-1-2	精検受診率を検診機関別に集計したか
問 10-1-3	精検受診率を検診受診歴別に集計したか
問 10-1-4	精検未受診率を集計したか

チェックリストの内容（②ー2）

【11】がん発見率の集計	
問 11-1	がん発見率を集計したか
問 11-1-1	がん発見率を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 11-1-2	がん発見率を検診機関別に集計したか
問 11-1-3	がん発見率を検診受診歴別に集計したか
【12】陽性反応適中度の集計	
問 12-1	陽性反応適中度を集計したか
問 12-1-1	陽性反応適中度を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 12-1-2	陽性反応適中度を検診機関別に集計したか
問 12-1-3	陽性反応適中度を検診受診歴別に集計したか
【13】早期がん割合の集計	
問 13-1	早期がん割合を集計したか
問 13-1-1	早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計したか
問 13-1-2	早期がん割合を検診機関別に集計したか
問 13-1-3	早期がん割合を検診受診歴別に集計したか
【14】粘膜内がん、非浸潤がんの集計	
問14-1	粘膜内がんを集計したか

市町村チェックリスト集計結果（集団検診①）

×（未実施）の市町村（問1～問3-2-1）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
 R5年度は○だったがR6年度△ or ×になったもの

乳がん (集団検診)		調査年度：R6 検査実施年度：R6	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	塩竈市	名取市	多賀城市	岩沼市	富谷市	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	栗原市	登米市	石巻市	東松島市	女川町	気仙沼市	南三陸町	仙台市	
問1. 検診対象者の 情報管理	問1-2 -1	受診勧奨を行った住民 のうち未受診者全員に 対し、再度の受診勧奨 を個人毎（手紙・電 話・訪問等）に行いま したか	○	○	×	○	×	○	×	×	○	-	×	-	○	×	○	○	-	-	-	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	-
問2. 受診者の情 報管理	問2-1	個人別の受診（記録） 台帳またはデータベー スを作成しましたか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
	問2-2	過去5年間の受診歴を 記録していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
問3. 受診者への 説明、及び 要精検者へ の説明	問3-2	要精検者全員に対し、 受診可能な精密検査機 関名（医療機関名）の 一覧を提示しましたか	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	-
	問3-2 -1	上記【問3-2】の一覧 に掲載したすべての精 密検査機関には、あら かじめ精密検査結果の 報告を依頼しましたか	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	-

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

市町村チェックリスト集計結果（集団検診②）

×（未実施）の市町村（問4-4～問6-2-3）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
R5年度は○だったがR6年度△ or ×になったもの
R5年度は×でR6年度も×であったもの

乳がん (集団検診)		調査年度：R6 検査実施年度：R6	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	塩竈市	名取市	多賀城市	岩沼市	富谷市	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	栗原市	登米市	石巻市	東松島市	女川町	気仙沼市	南三陸町	仙台市	
問4. 精密検査結果 の把握、精密 検査未受診者 の特定と受診 勧奨	問4-4	過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録していますか	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	×	○	○	-	-	-	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
問6. 検診機関（医療機関）の質 の担保	問6-2	検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	問6-2-1	「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	問6-2-2	検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしましたか	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	×	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	問6-2-3	上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	×	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

市町村チェックリスト集計結果（個別検診①）

×（未実施）の市町村（問1～問3-2-1）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
 R5年度は○だったがR6年度△ or ×になったもの
 R5年度は×でR6年度も×であったもの

乳がん (個別検診)		調査年度：R6 検査実施年度：R6	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	塩竈市	名取市	多賀城市	岩沼市	富谷市	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	栗原市	登米市	石巻市	東松島市	女川町	気仙沼市	南三陸町	仙台市		
問1. 検診対象者の情報管理	問1-2	対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	-	×	
	問1-2-1	受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎（手紙・電話・訪問等）に行いましたか	-	-	-	-	-	○	×	-	-	×	○	×	-	-	-	-	×	×	×	-	-	×	×	-	-	-	×	×	-	○	-	×	-	-	-	×	
問2. 受診者の情報管理	問2-2	過去5年間の受診歴を記録していますか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	×	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○
問3. 受診者への説明、及び要精検者への説明	問3-2	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	×	○	-	○	-	○	-	-	-	○	
	問3-2-1	上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	×	○	-	○	-	○	-	-	-	○	

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

市町村チェックリスト集計結果（個別検診②）

×（未実施）の市町村（問4-3～問7-1-3）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
 R5年度は○だったがR6年度△ or ×になったもの

乳がん （個別検診）		調査年度：R6 検査実施年度：R6	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	塩竈市	名取市	多賀城市	岩沼市	富谷市	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	栗原市	登米市	石巻市	東松島市	女川町	気仙沼市	南三陸町	仙台市
問4. 精密検査 結果の把握、精密 検査未受 診者の特定と受診 勧奨	問4-3	個人毎の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を、市区町村、検診機関（医療機関）、精密検査機関が共有しましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	×	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
	問4-4	過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録していますか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	×	○	-	-	×	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
	問4-6	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	×	○	-	-	-	-	○	○	×	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
問6. 検診機関（医療機関）の質 の担保	問6-2-2	検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	×	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
	問6-2-3	上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	×	○	-	-	-	-	○	×	○	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
問7. 受診率 （受診者 数）の集 計	問7-1-3	受診者数を検診受診歴別に集計しましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	×	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○

市町村チェックリスト集計結果（個別検診③）

×（未実施）の市町村（問9-1-3～問12-1-3）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
R5年度は○だったがR6年度△ or ×になったもの
R5年度は×でR6年度も×であったもの

乳がん （個別検診）		調査年度：R6 検査実施年度：R6	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	塩竈市	名取市	多賀城市	岩沼市	富谷市	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	栗原市	登米市	石巻市	東松島市	女川町	気仙沼市	南三陸町	仙台市
問9. 要精検率 の集計	問9-1-3	要精検率を検診受診歴別に集計しましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	×	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
問10. 精検受診率・未受診率の集計	問10-1-3	精検受診率を検診受診歴別に集計しましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	×	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
問11. がん発見率の集計	問11-1-3	がん発見率を検診受診歴別に集計しましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	×	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
問12. 陽性反応適中度の集計	問12-1-3	陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	×	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○

×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

市町村チェックリスト集計結果（個別検診④）

×（未実施）の市町村（問13-1～問13-1-3）

R5年度は×だったがR6年度○になったもの
R5年度は○だったがR6年度△ or ×になったもの
R5年度は×でR6年度も×であったもの

乳がん （個別検診）		調査年度：R6 検査実施年度：R6	白石市	角田市	蔵王町	七ヶ宿町	大河原町	村田町	柴田町	川崎町	丸森町	塩竈市	名取市	多賀城市	岩沼市	富谷市	亘理町	山元町	松島町	七ヶ浜町	利府町	大和町	大郷町	大衡村	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	栗原市	登米市	石巻市	東松島市	女川町	気仙沼市	南三陸町	仙台市
問13. 早期がん割合（肺がん：臨床病期0～I期のがん割合）の集計	問13-1	早期がん割合を集計しましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	×	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
	問13-1-1	早期がん割合を性別・年齢5歳階級別に集計しましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	×	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
	問13-1-2	早期がん割合を検診機関別に集計しましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	×	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○
	問13-1-3	早期がん割合を検診受診歴別に集計しましたか	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	×	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	×	○	-	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○


×のあった市町村がある問のみ抜粋（その他の問は、全市町村すべて○）

チェックリスト遵守状況調査結果のまとめ

- ほぼすべての項目において、全国より遵守率が高いが、一部、全国より低い項目があるため、引き続き改善が必要。

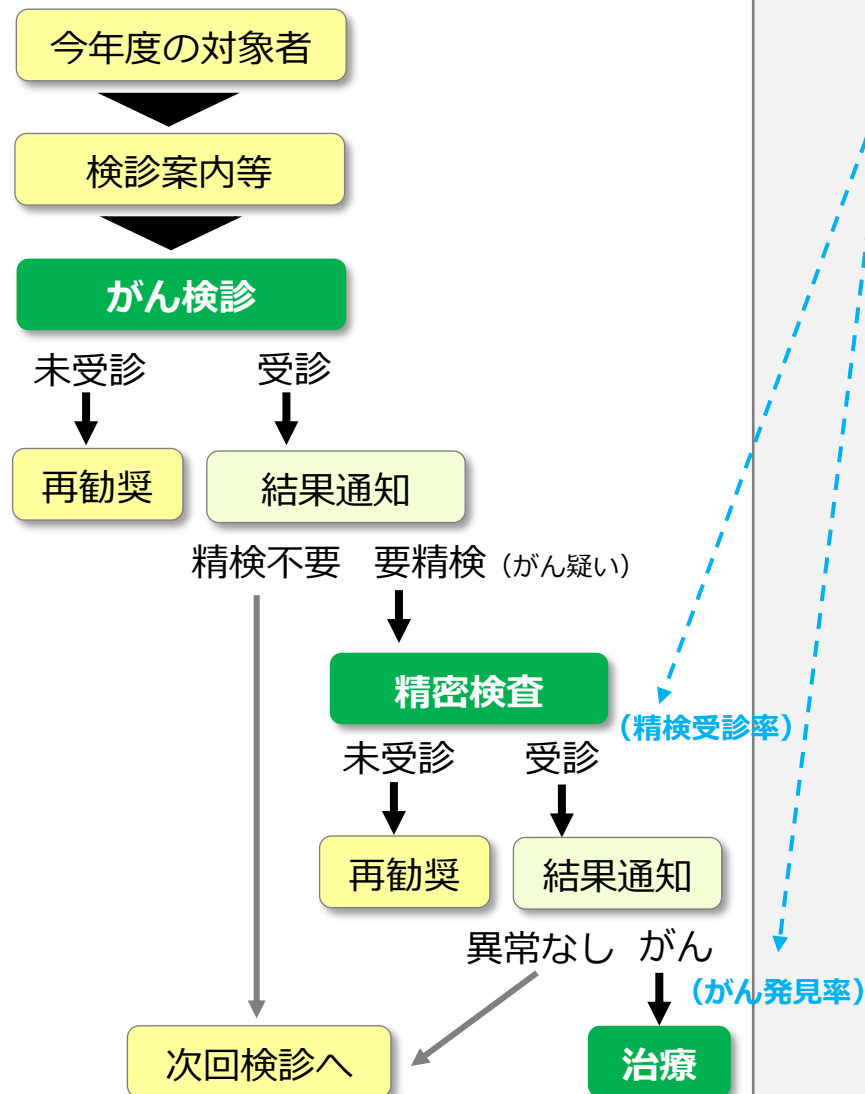
→ **令和6年度から改善された市町村は多いが、改善されていない市町村については、項目ごとに、市町村個別に指導することを検討。**

(余 白)

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
-  3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
- 4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

プロセス指標（精密検査等の結果）

がん検診の流れ



プロセス指標

がん検診精密検査

事業評価指標

精検受診率

精検未把握率

精検未受診率

要精検率

がん発見率

陽性反応適中度

都道府県ごとに評価

各プロセスが適切
に行われているか
を評価する指標

各がんの推奨年齢から**74歳まで**の結果
（職域検診や人間ドックなどは含まれない）

対象となる調査年度

資料にある値は、その値を取得できる時期、対象者によって、それぞれ異なります。

出典（調査実施主体）	調査対象			調査内容		調査年度				
	市町村	職域	任意			R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025
概要調査 （指針に基づく検診実施状況）	○			検診実施 体制など	宮城県	○	○	○	○	○
					全 国	○	○	○	○	
チェックリスト遵守状況調査 （厚労省）	○			遵守状況	宮城県	○	○	○	○	△
					全 国	○	○	○	○	
地域保健・健康増進事業報告 （厚労省）	○			検診受診率	宮城県	○	○	○	△	
					全 国	○	○	△		
				精検受診率	宮城県	○	○	△		
					全 国	○				



実測値（全数調査）

市町村が実施している検診のみ
（職域検診、人間ドック等は含まない）

➡ 全国比較できる年度データを使用（2021（R3）年度）

△：2023（R5）年度の結果は、現在、市町村で入力中

プロセス指標（事業評価指標）の意味

プロセス指標	各指標の意味【算出方法】	各指標値の評価
①精検受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したか 【 $\text{精検受診者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	高いことが望ましい(精検受診率が100%近くなければ、がん発見率を適切に評価できない)
②要精検率	検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか 【 $\text{要精検者数} / \text{受診者数} \times 100$ 】	対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要
③精検未受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したか 【 $\text{未受診者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	低いことが望ましい
④精検未把握率	精検受診の有無や精検結果が、適切に把握されたか 【 $\text{未把握者数} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	低いことが望ましい
⑤がん発見率	その検診において、適正な頻度でがんを発見できたか 【 $\text{がんであった者} / \text{受診者数} \times 100$ 】	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要
⑥陽性反応適中度	その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標（検診の精度を測る指標） 【 $\text{がんであった者} / \text{要精検者数} \times 100$ 】	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

出典：がん検診事業のあり方について（厚生労働省：がん検診のあり方に関する検討会（R6.7）の資料より抜粋）

※ 基準値は、がん種毎、年齢別にあり。

プロセス指標の（新）基準値

「がん検診事業のあり方について」（令和5年6月） → プロセス指標の変更 注)

【74歳以下】（男女計）

	胃がん		大腸がん	肺がん		乳がん		子宮頸がん*		
	検診間隔 2年	検診間隔 1年		検診以外の 肺に関する 検査の受診 なし	検診以外の 肺に関する 検査の受診 考慮	すべての受 診者の検診 間隔が2年	連続受診者 がいること を考慮	20～74歳	20～39歳	40～74歳
	①	②		①	②	①	②			
① 精検受診率	90% 以上		90% 以上	90% 以上		90% 以上		90% 以上		
② 要精検率	7.7% 以下	7.6% 以下	6.8% 以下	2.4% 以下	2.3% 以下	6.5% 以下	6.4% 以下	2.5% 以下	4.2% 以下	1.9% 以下
⑤ がん発見率	0.19% 以上	0.11% 以上	0.21% 以上	0.10% 以上	0.05% 以上	0.40% 以上	0.31% 以上	0.15% 以上	0.18% 以上	0.14% 以上
⑥ 陽性反応 適中度	2.5% 以上	1.5% 以上	3.0% 以上	4.1% 以上	2.2% 以上	6.1% 以上	4.8% 以上	5.9% 以上	4.4% 以上	7.3% 以上

*子宮頸がんはCIN3以上の発見率または陽性反応的中度

注) 主な変更点

- ・ 許容値が廃止され、精検受診率の基準値は全がん種90%となり、未把握率、未受診率の基準値は廃止。
- ・ 基準値の対象年齢は、従来の上限74歳に加え、上限69歳の区分が追加。
- ・ 要精検率・がん発見率・陽性反応適中度の基準値が細分化され、性別及び受診歴別に示された。
- ・ 胃がん検診、肺がん検診及び乳がん検診のプロセス指標には、受診者の性質に応じた2種類の基準値が設定。
 - ①の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が指針どおりのがん検診以外にない検診対象者を想定
 - ②の基準値は、がん検診に類する検査・検診を受診する機会が他にある検診対象者を想定

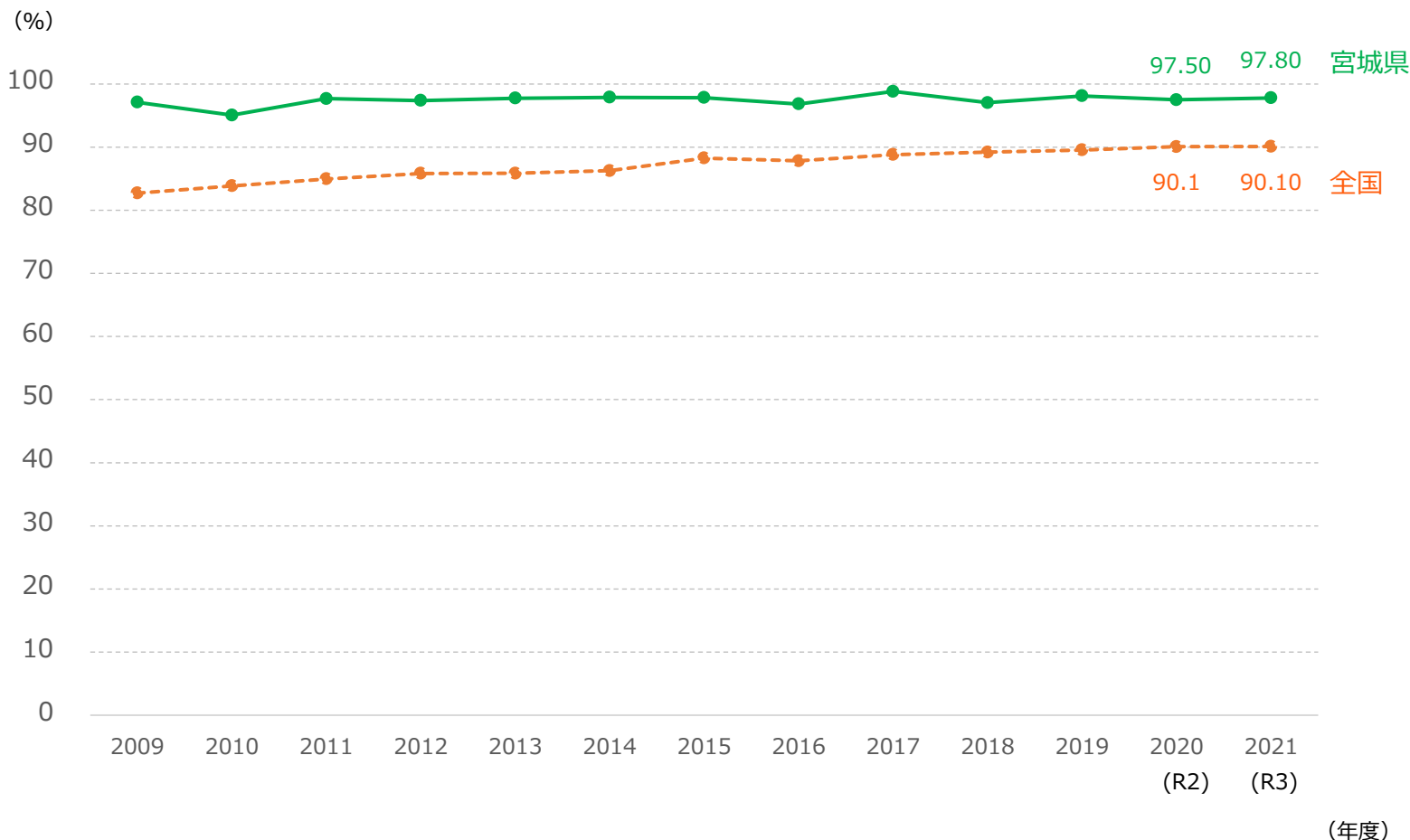
(余 白)

プロセス指標①（精検受診率） 年次推移

要精検者が実際に精密検査を受診したか【精検受診者数／要精検者数×100】

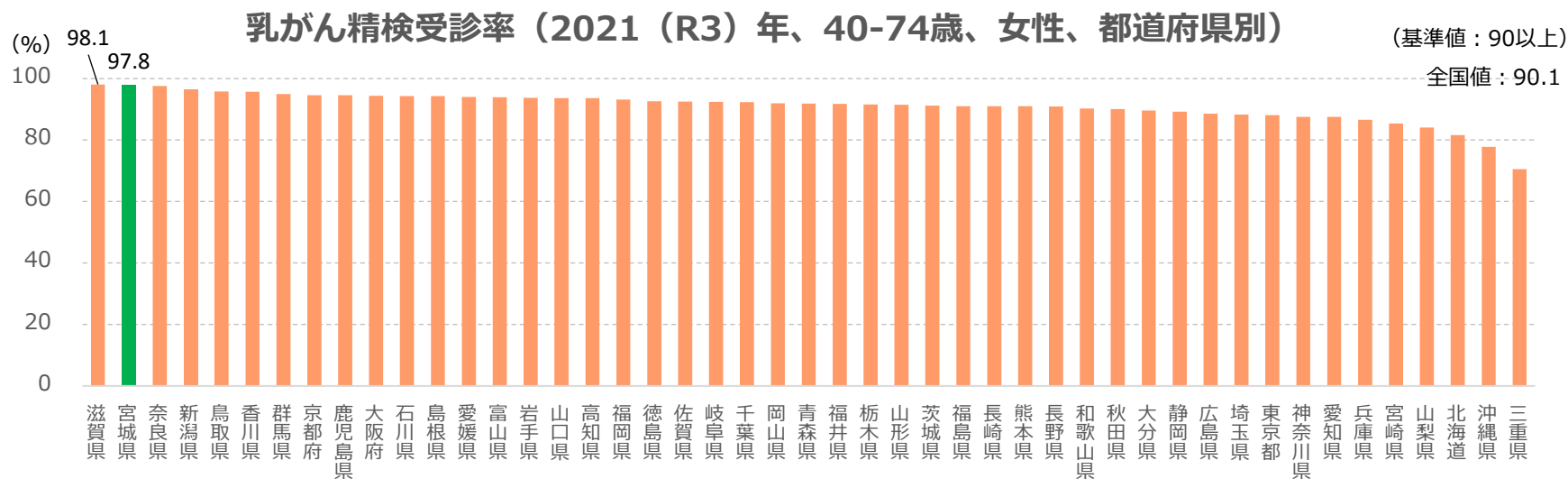
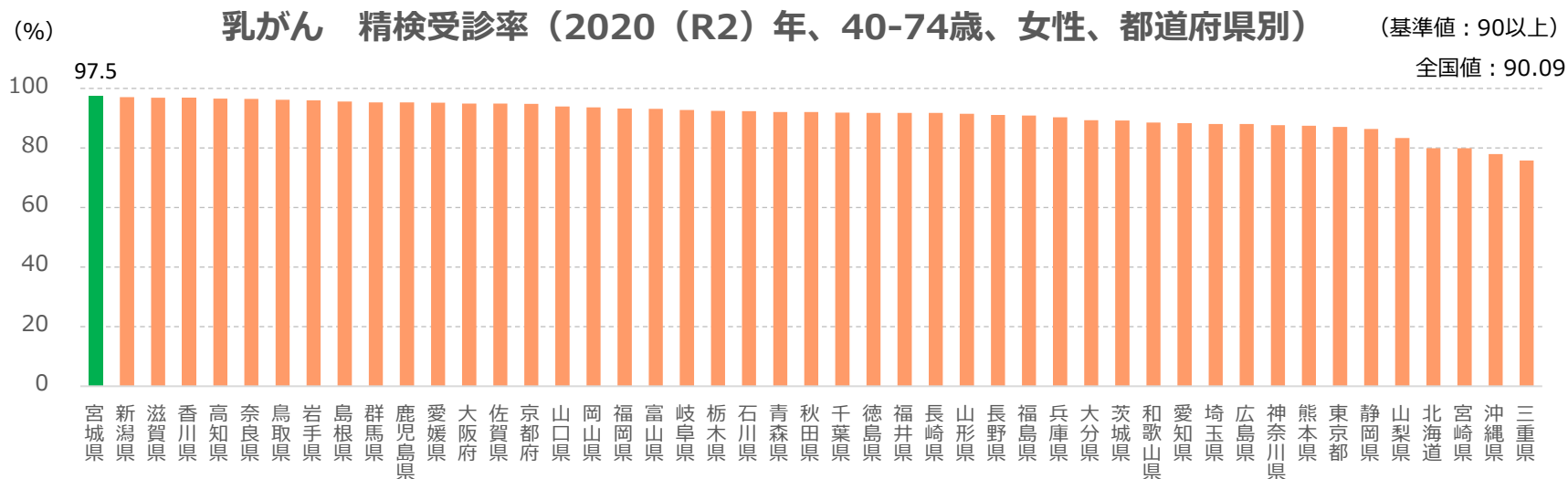
【注意】
市町村実施の
住民検診のみ

乳がん精検受診率（2009-2021、40-74歳、男女計、全国・宮城県）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）

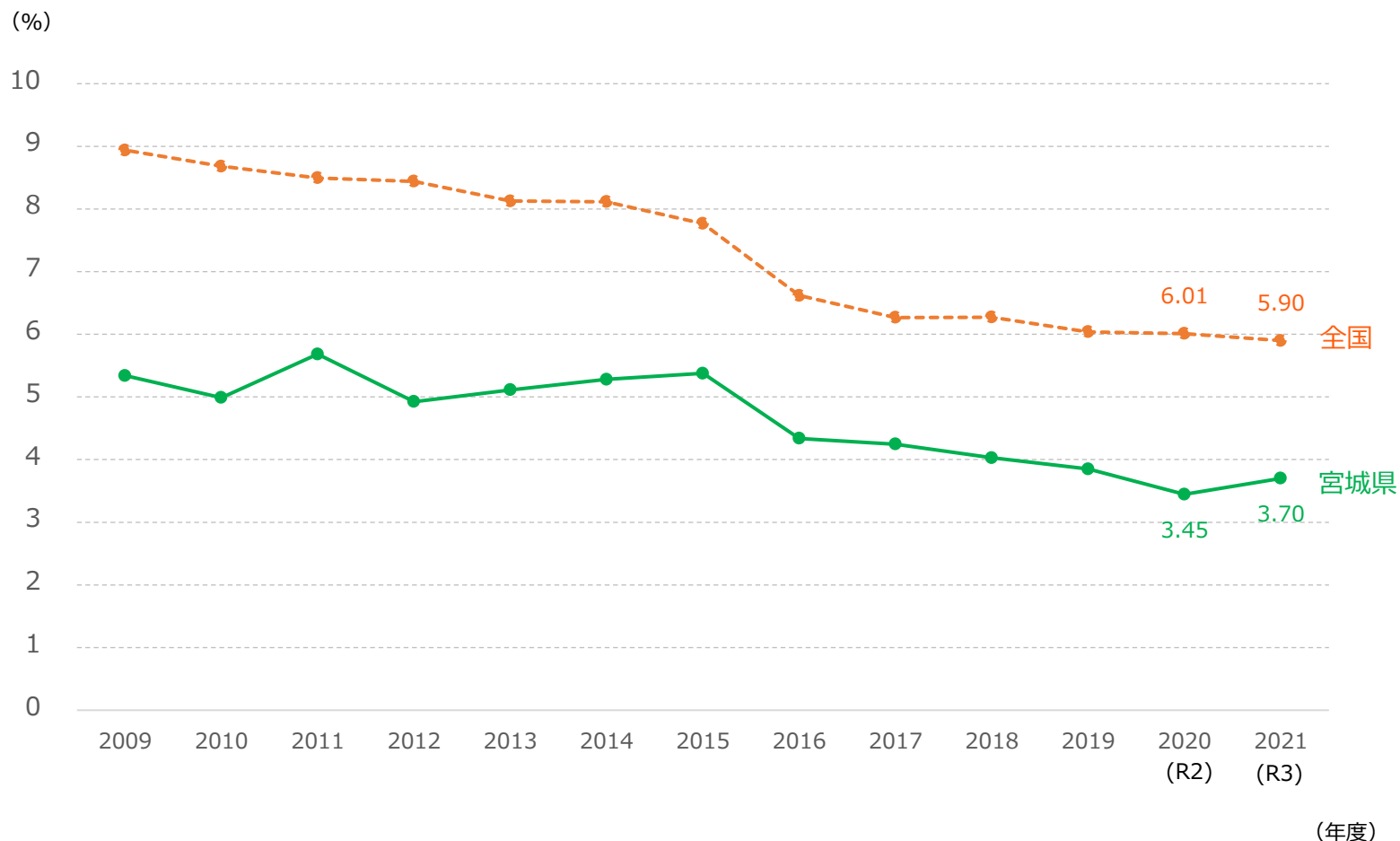
プロセス指標①（精検受診率）全国順位



プロセス指標②（要精検率）年次推移

検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか【要精検者数／受診者数×100】

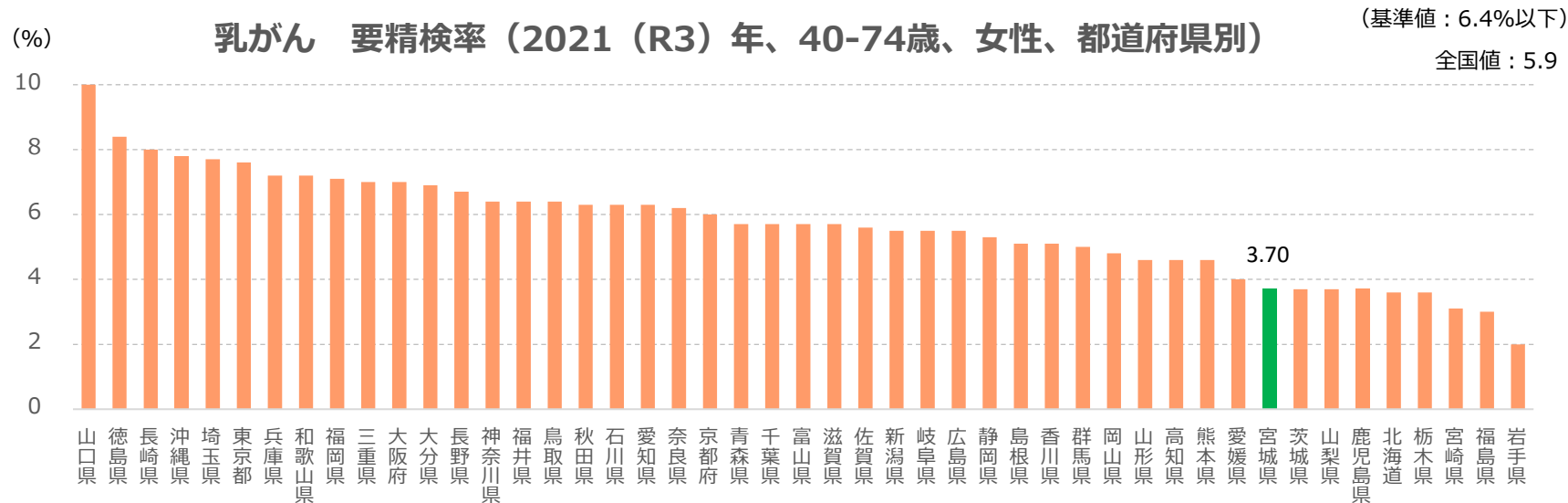
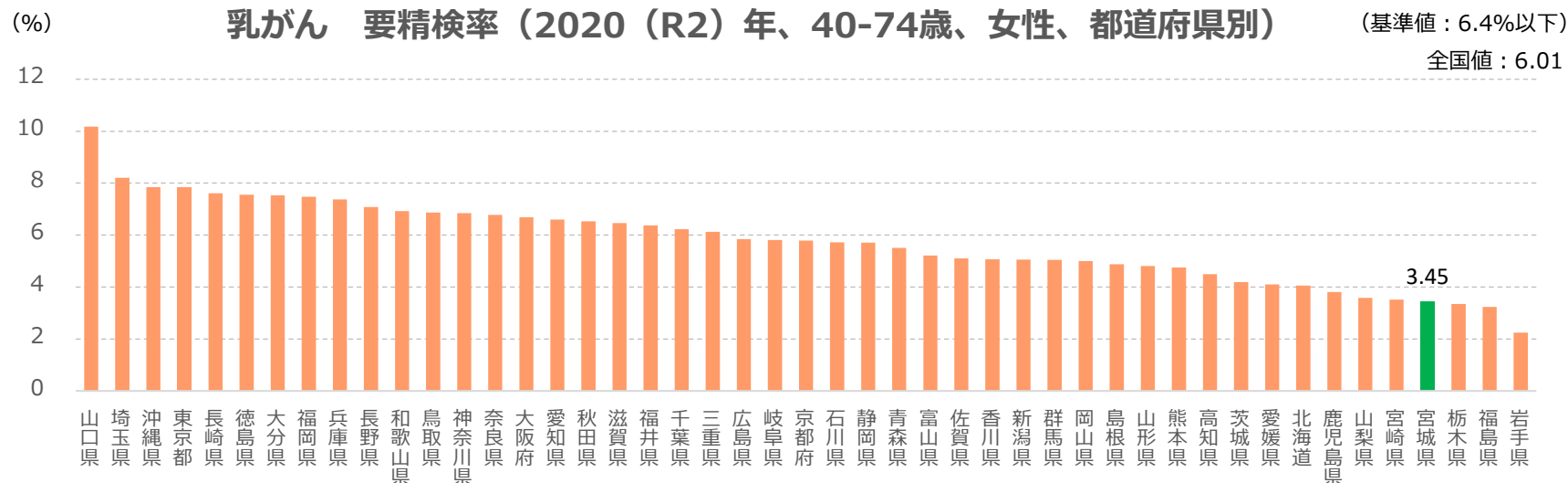
乳がん要精検率（2009-2021、40-74歳、女性、全国・宮城県）



対象集団に応じて適切な範囲があり、
極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

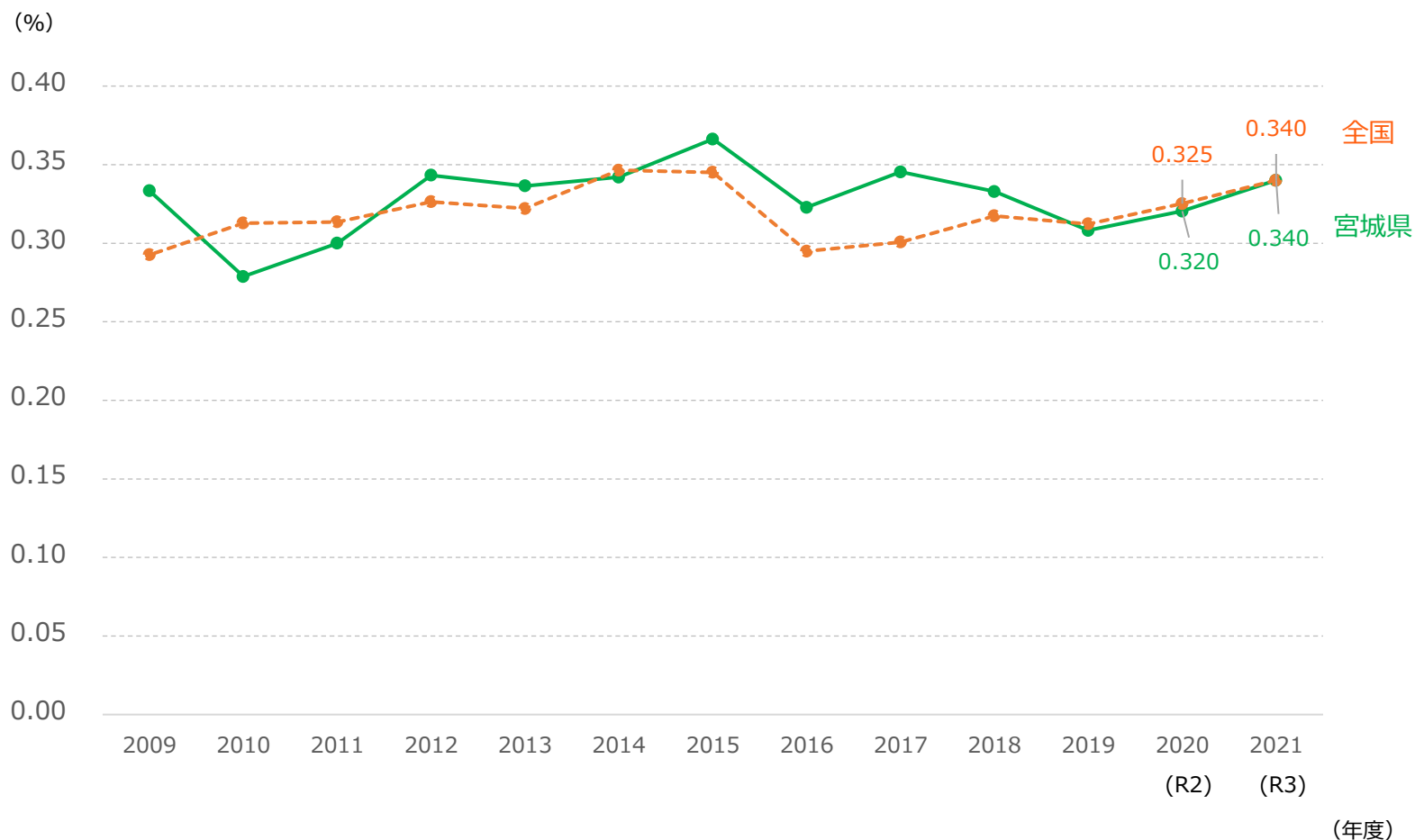
プロセス指標②（要精検率）全国順位



プロセス指標③（がん発見率） 年次推移

その検診において、適正な頻度でがんを発見できたか【がんであった者／受診者数×100】

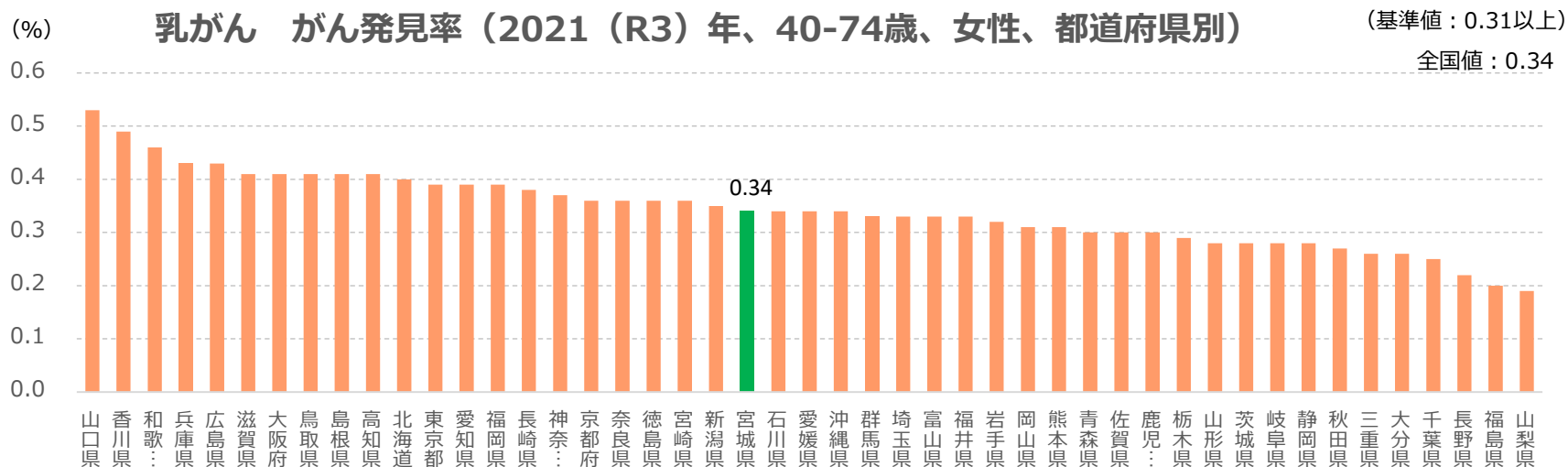
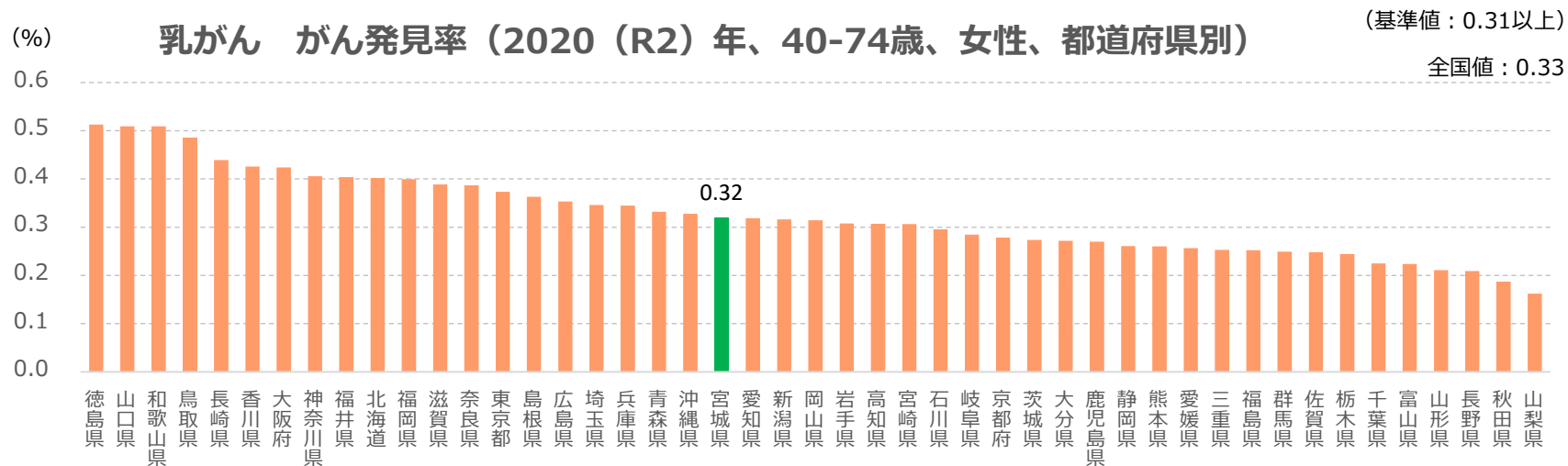
乳がん発見率（2009-2021、40-74歳、女性計、全国・宮城県）



基本的に高いことが望ましいが、
極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

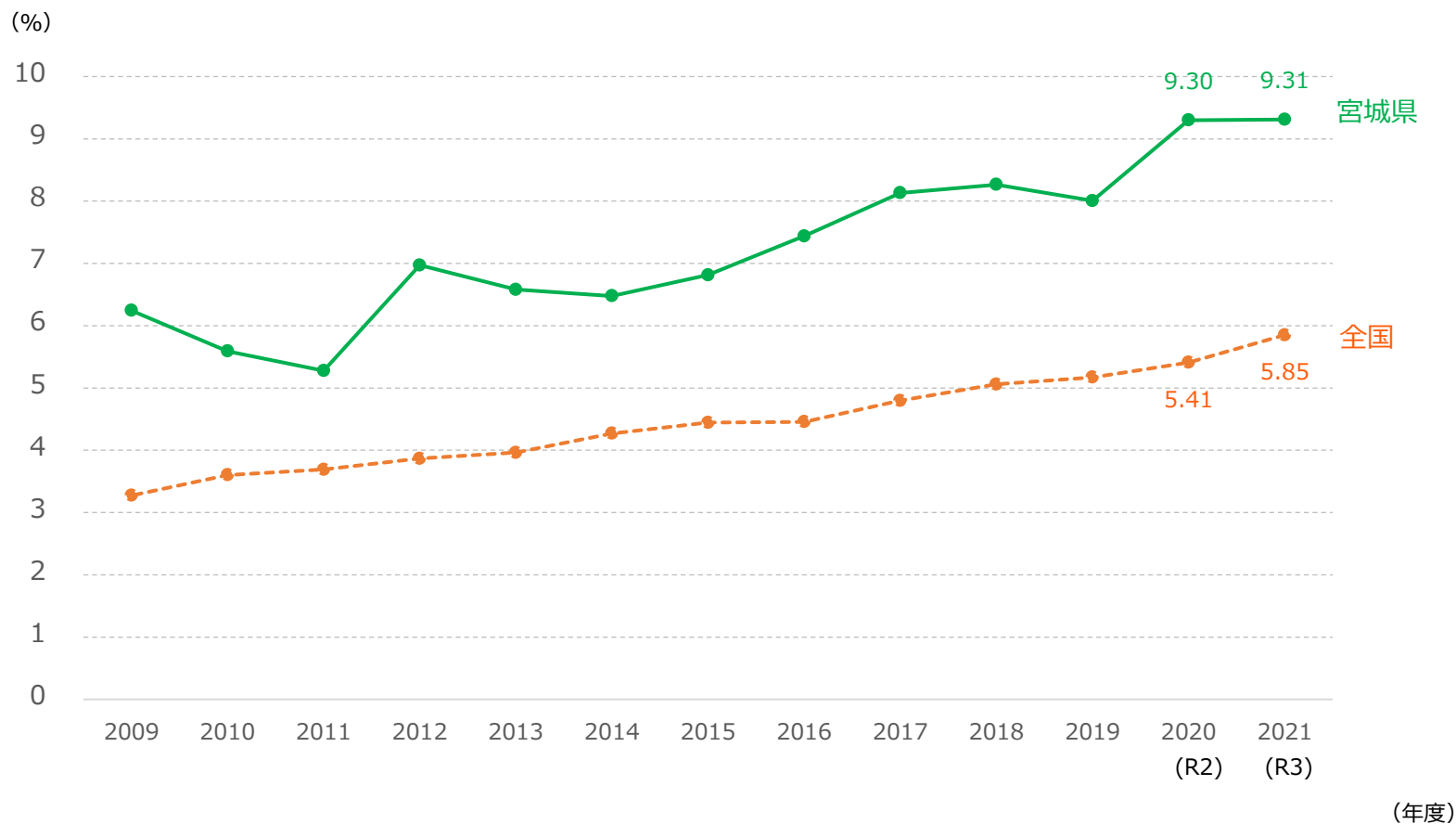
プロセス指標③（がん発見率）全国順位



プロセス指標④（陽性反応適中度） 年次推移

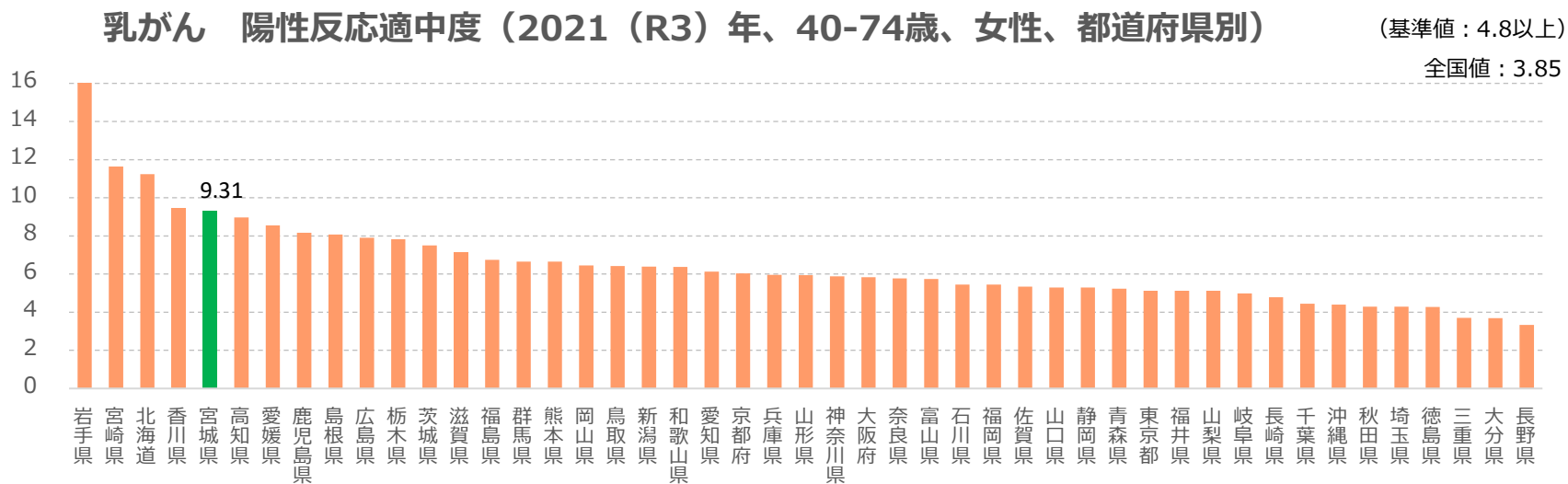
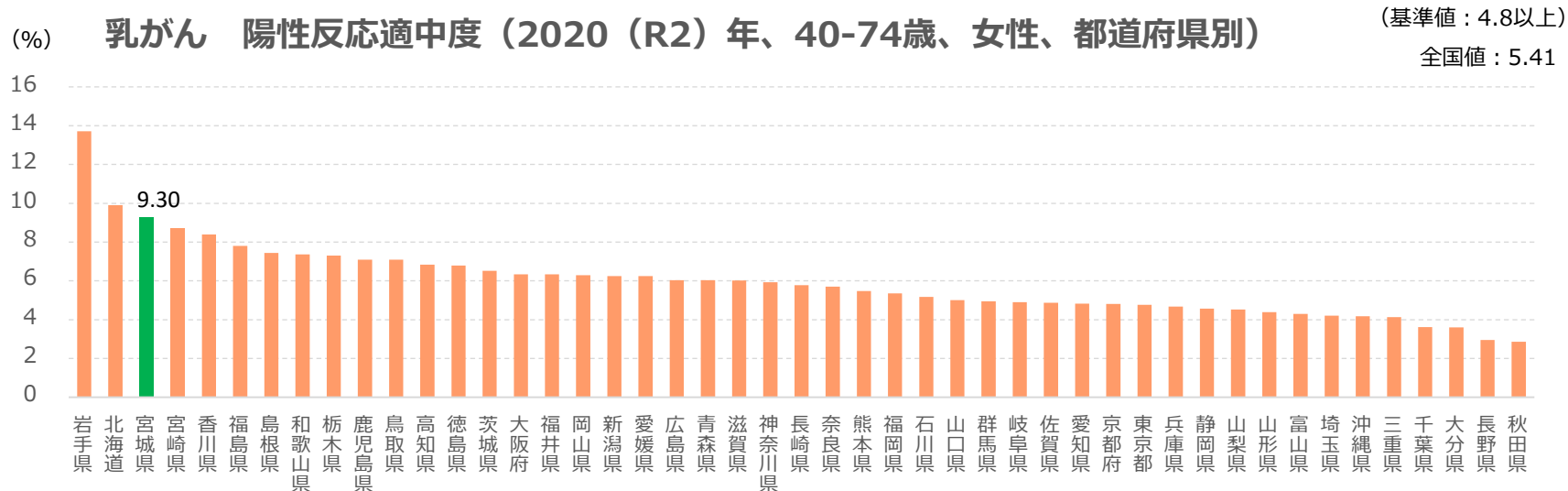
その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標（検診の精度を測る指標）
【がんであった者／要精検者数×100】

乳がん 陽性反応適中度（2009-2021、40-74歳、女性、全国・宮城県）



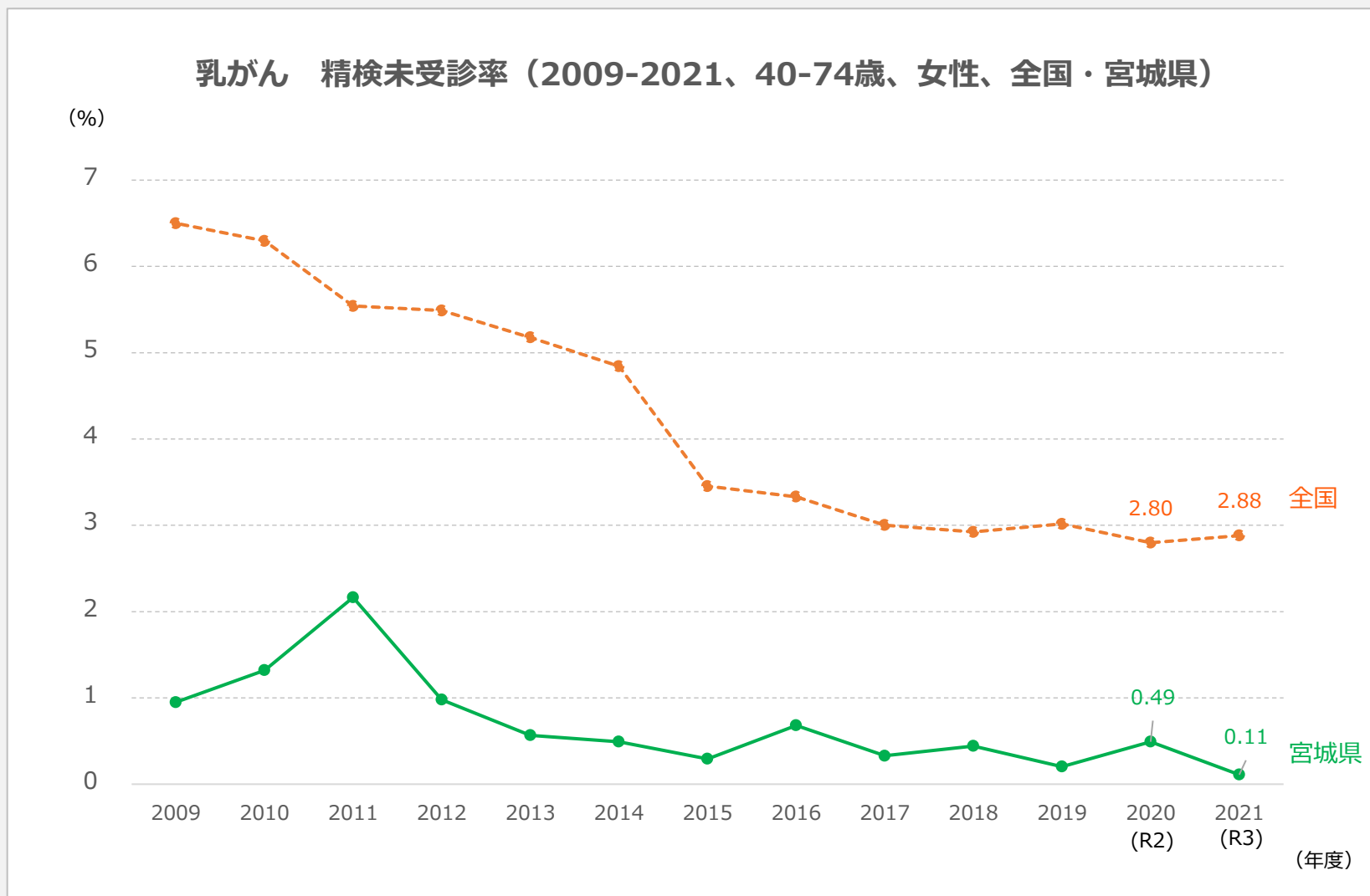
基本的に高いことが望ましいが、
極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要

プロセス指標④（陽性反応適中度）全国順位



プロセス指標⑤（精検未受診率） 年次推移

要精検者が実際に精密検査を受診したか【未受診者数／要精検者数×100】



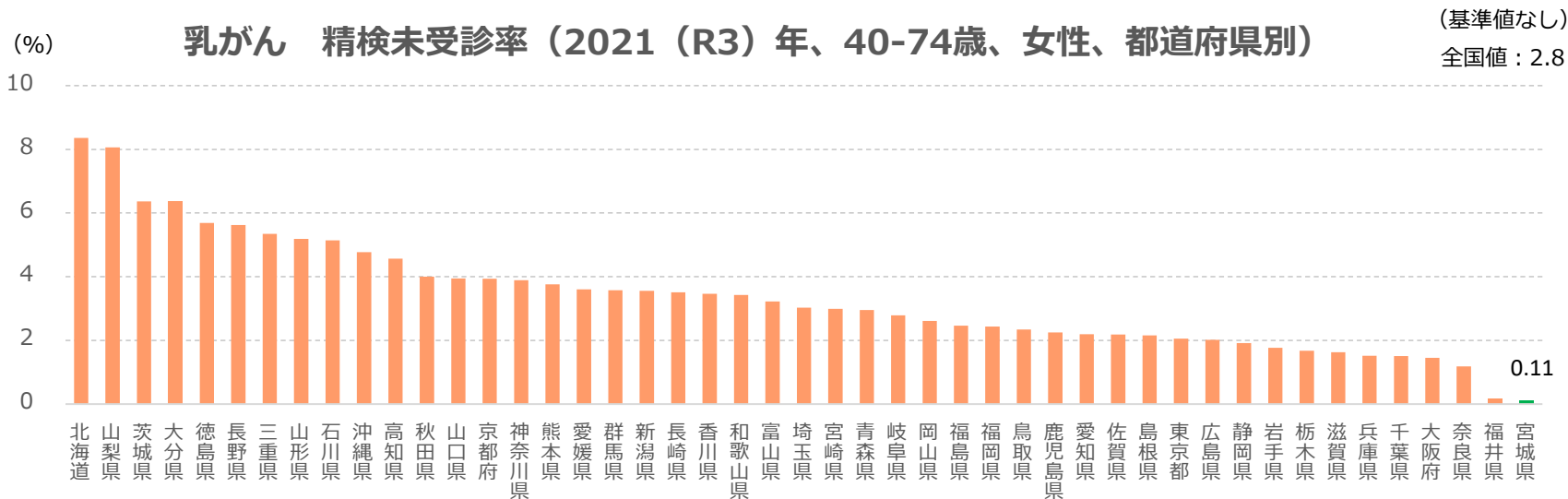
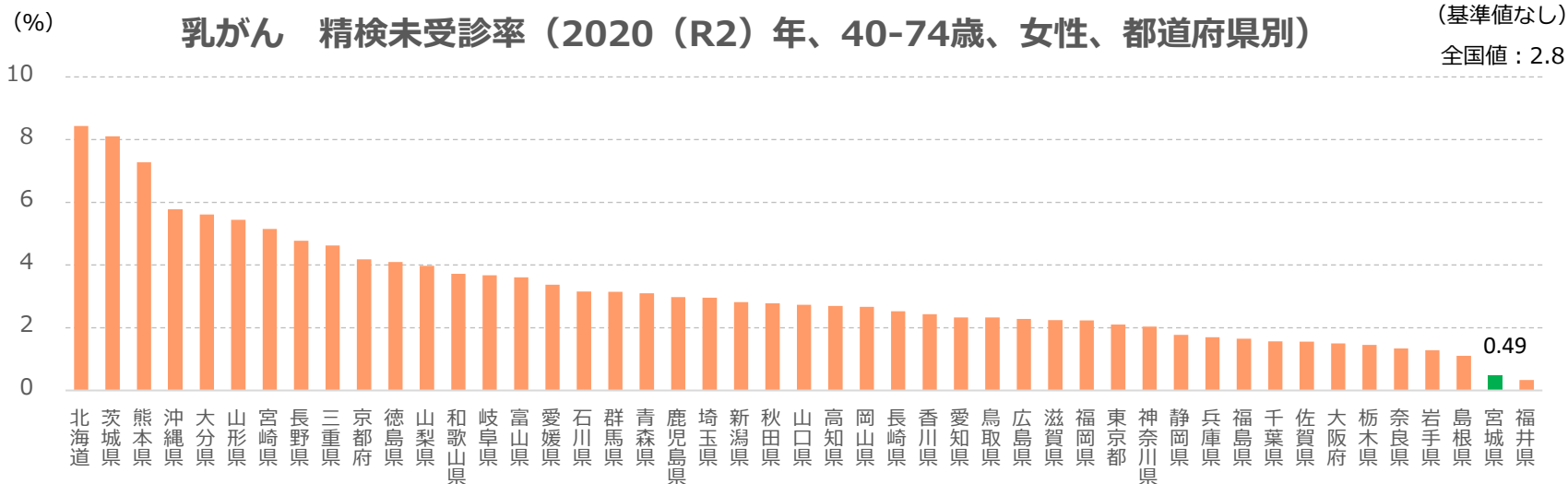
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化

対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

精検未受診：要精検者が精検機関に行かなかったことが判明しているもの（本人自己申告、精検機関で受診の事実が確認されないものなど）

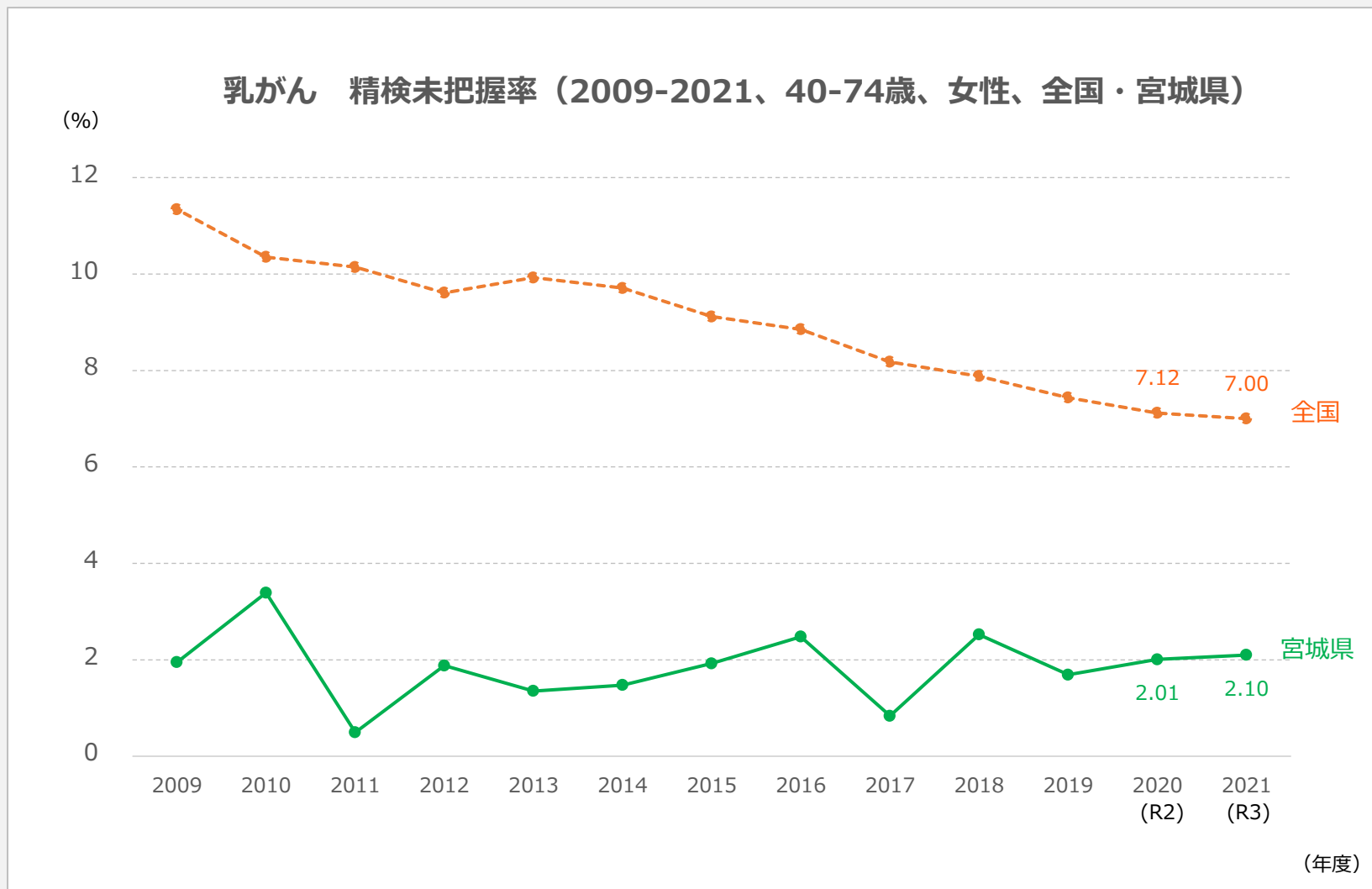
良い

プロセス指標⑤（精検未受診率）全国順位



プロセス指標⑥（精検未把握率）年次推移

精検受診の有無や精検結果が、適切に把握されたか【未把握者数／要精検者数×100】

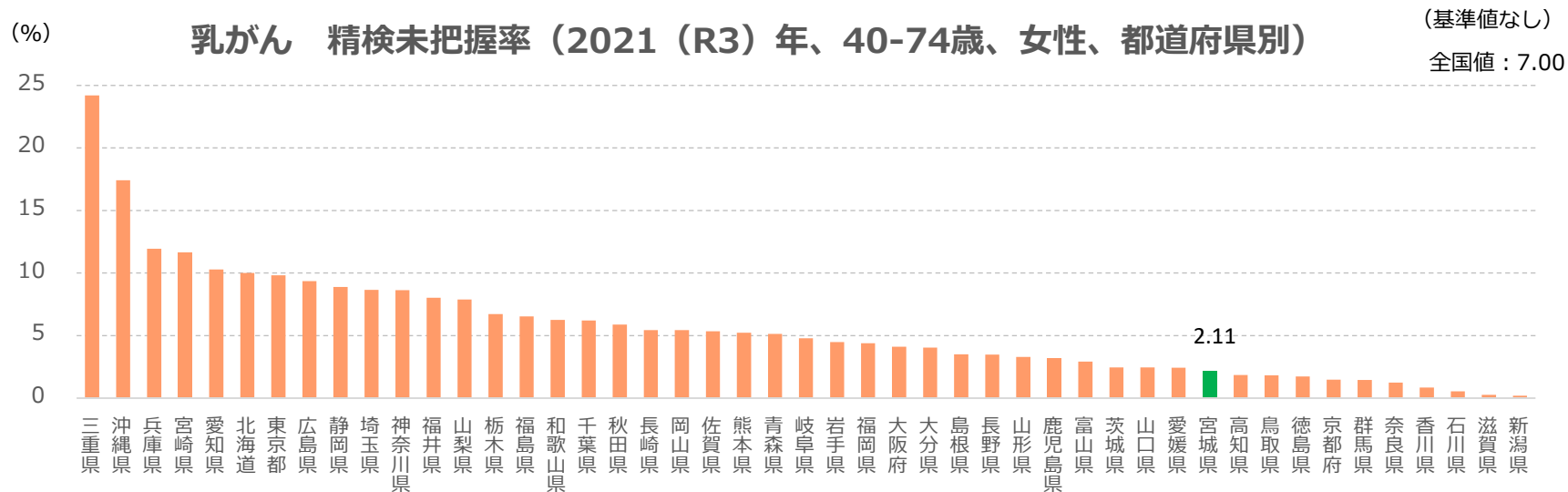
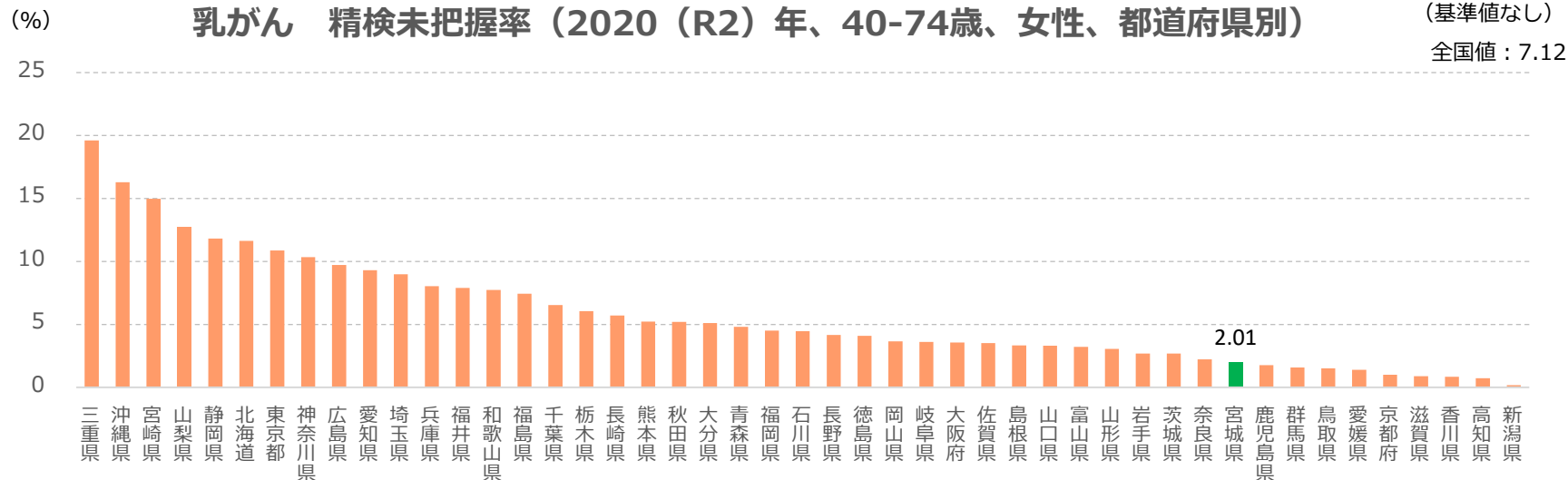


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化

対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

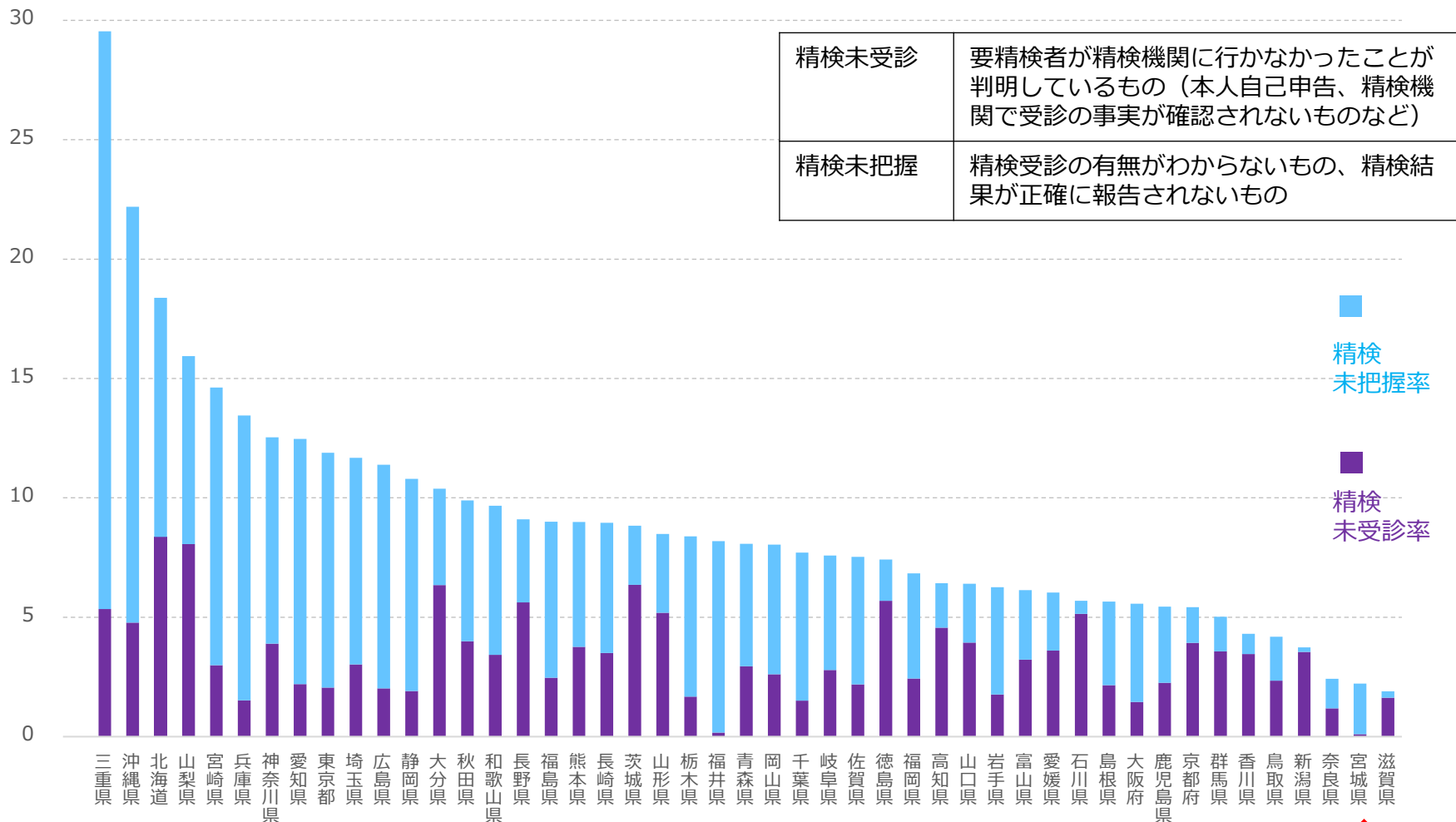
精検未把握：精検受診の有無がわからないもの、精検結果が正確に報告されないもの

プロセス指標⑥（精検未把握率）全国順位



(参考) 精検未受診率 + 精検未把握率

(%) 乳がん 精検未受診率 + 精検未把握率 (2021年、40-74歳、女性、都道府県別)



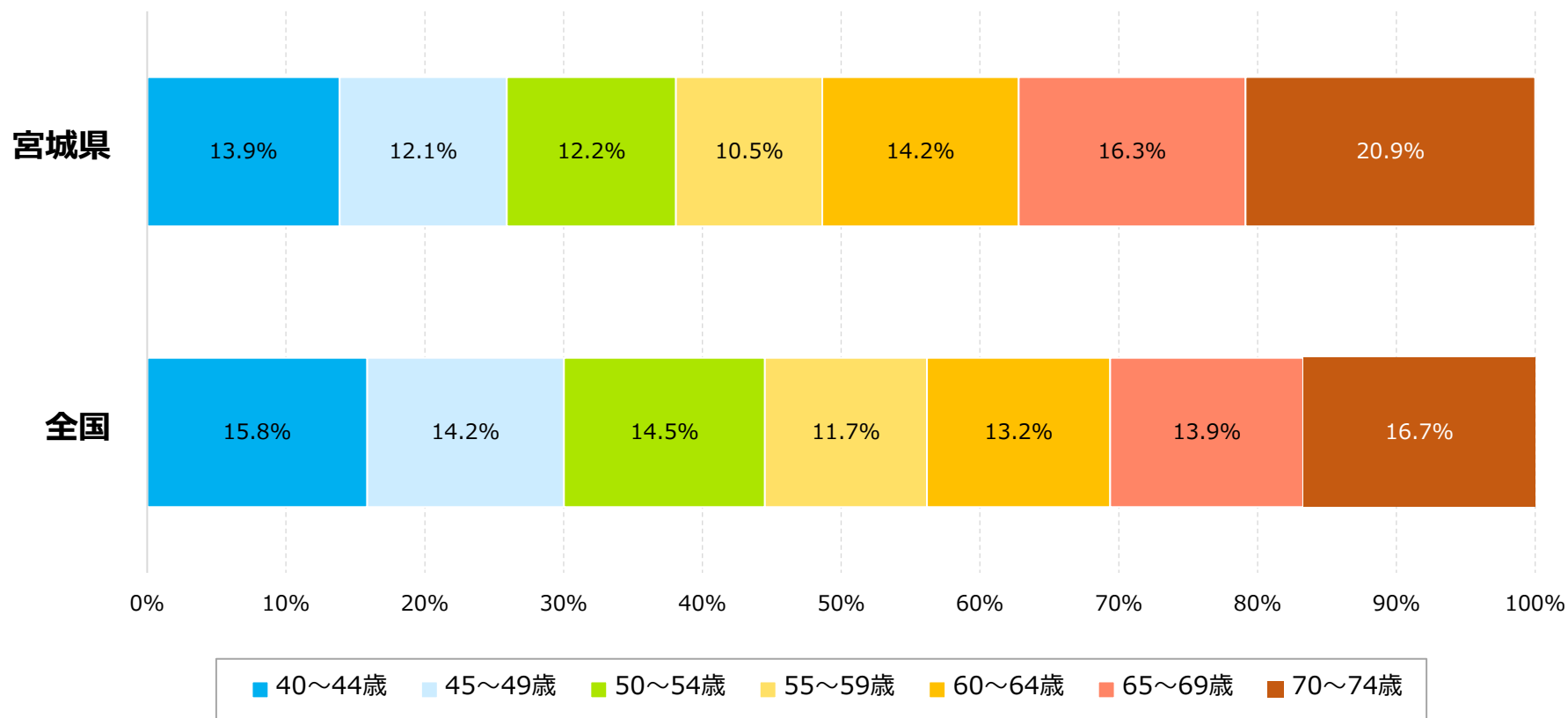
出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」（地域保健・健康増進事業報告）から県でグラフ化
対象：市町村が実施する住民検診（40-74歳を抽出）集団・個別合計

プロセス指標の意味と活用方法

	各指標の意味 【算出方法】	各指標値の評価	値が適正でない場合の検討事項		
			指標	予想される原因	検討内容
要精検率	検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているか 【要精検者数／受診者数×100】	対象集団に応じた適切な範囲があり、極端な高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要	高値	① 受診者が有病率の高い集団に偏っている ② 偽陽性が多い	① 有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか ② 各検診機関の要精検の判定基準は適切か
			低値	① 受診者が有病率の低い集団に偏っている ② 偽陰性が多い	① <u>有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等)</u> ② 各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か
陽性反応適中度	その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標(検診の精度を測る指標) 【がんであった者／要精検者数×100】	基本的に高いことが望ましいが、極端に高値、あるいは低値の場合は更に検討が必要	極端に高値	受診者が有病率の高い集団に偏っている	有症状者が検診を受けていないか(有症状者は診療を受けるよう指導する)、 <u>有病率の高い年齢層、有病率の高い初回受診者に偏っていないか</u>
			低値	① 受診者が有病率の低い集団に偏っている ② 偽陽性が多い	① 有病率の低い年齢層に偏っていないか(年齢層、受診歴等) ② 各検診機関の要精検の判定基準、検査手技、読影等は適切か(要精検率が高い場合、本来は精検が不要な者を要精検として判定している可能性がある)

検診受診者の年齢構成割合 全国・県

乳がん検診受診者の年齢構成割合（2021（R3）年、女性）



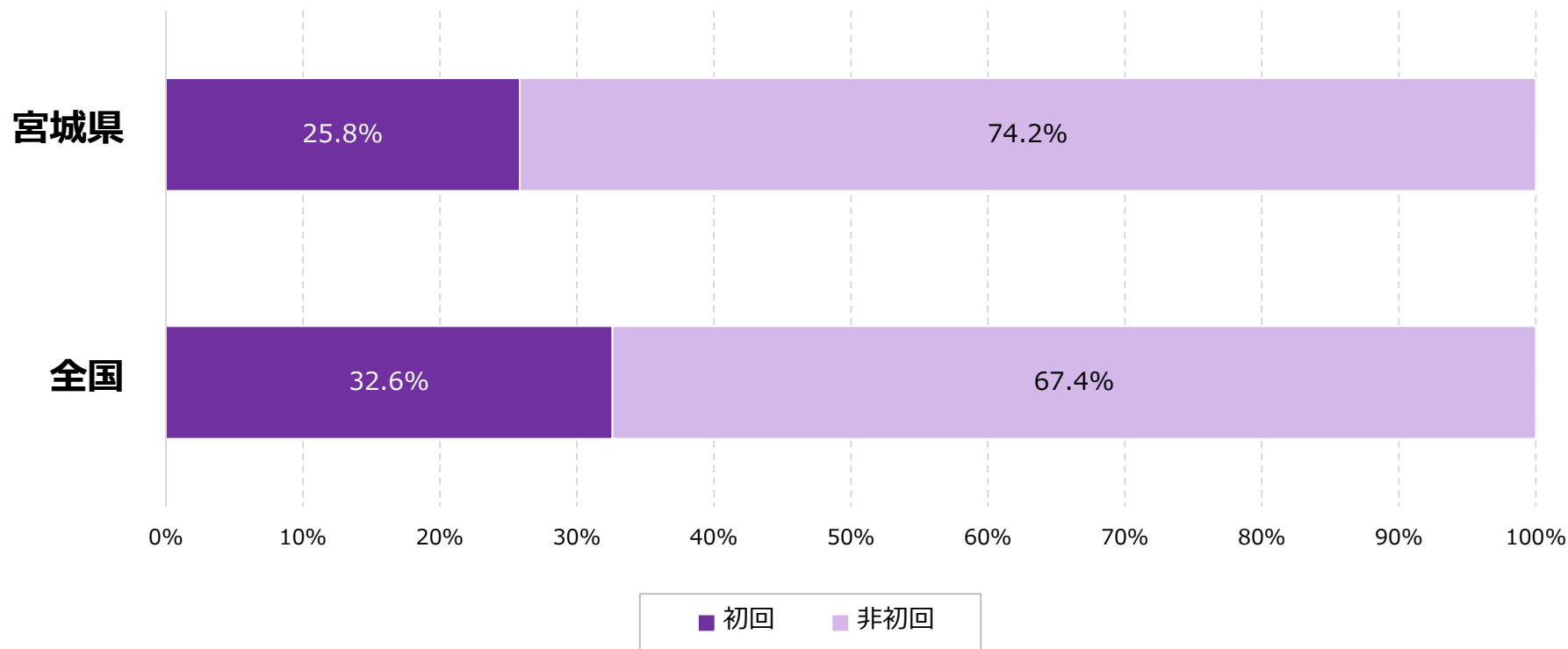
出典：令和3（2021）年度地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第19－1表 乳がん検診受診者数

注意：この集計では、74歳以下を抽出してグラフ化

→ 全国と年齢構成割合に大きな違いはなし

検診受診者の初回・非初回割合 全国・県

乳がん検診受診者の初回・非初回割合（2021（R3）年、女性）



出典：令和3（2021）年度地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第19-1表 乳がん検診受診者数

注意：この集計では、74歳以下を抽出してグラフ化

検診回数の初回・非初回については、計数不詳の市区町村があるため、総数と一致しない場合がある。

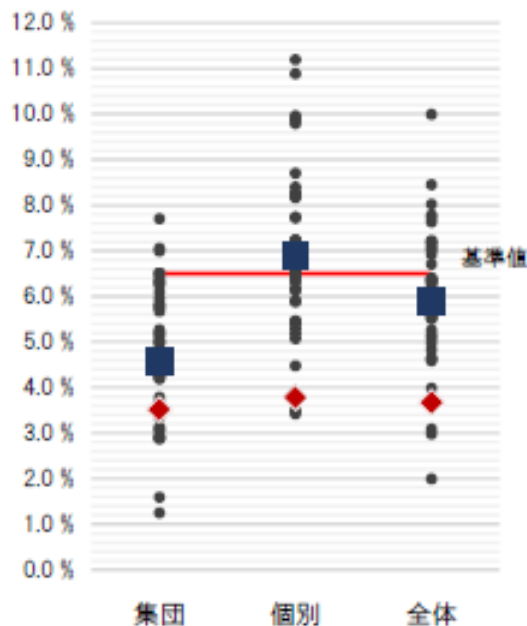
→ 宮城県は全国より初回割合が低い

集団、個別別の各指標 全国・県

乳がん プロセス指標値 (2021 (R3) 年、40～74歳、女性)

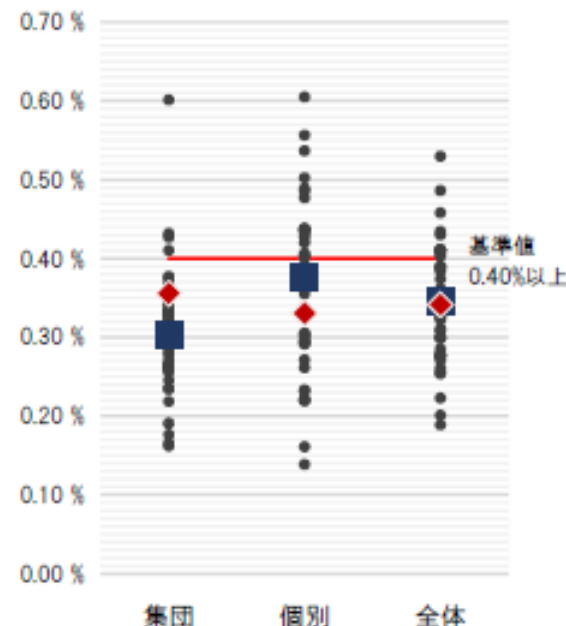
②-1 要精検率(%)

	集団	個別	全体
全 国	4.6	6.9	5.9
宮城県	3.5	3.8	3.7



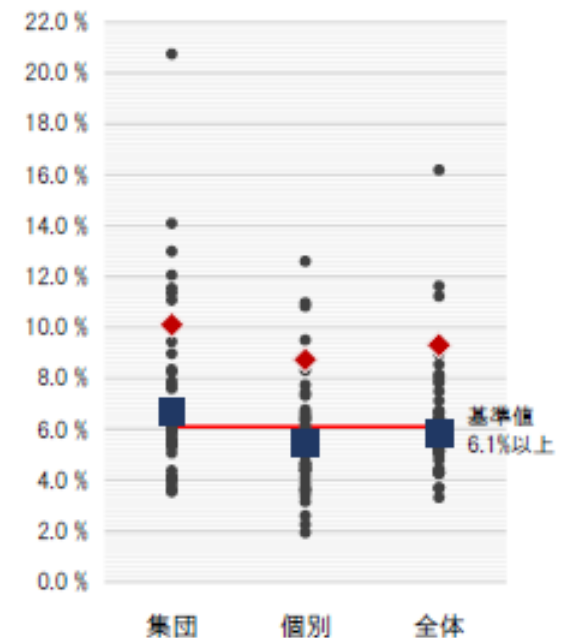
②-2 がん発見率(%)

	集団	個別	全体
全 国	0.30	0.38	0.34
宮城県	0.36	0.33	0.34



②-3 陽性反応適中度(%)

	集団	個別	全体
全 国	6.7	5.4	5.9
宮城県	10.1	8.7	9.3



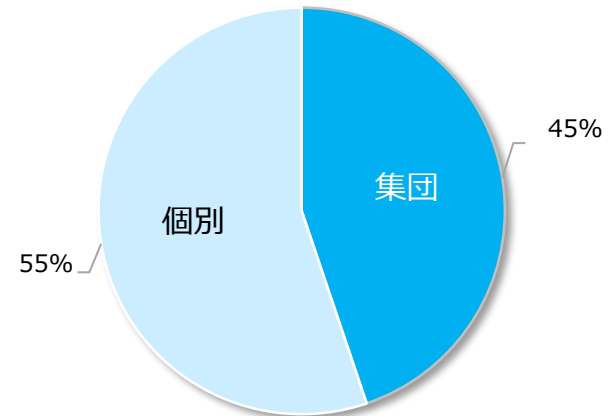
基準値 —

◆ 宮城県 ■ 全 国 ● その他の県

市町村の検診受診者 集団・個別割合

乳がん 検診	対象者数 注)	2021 (R3) 年度 受診者数			受診率 (%)
			集団検診	個別検診	
白石市	11,662	1,478	1,478	0	12.67
角田市	9,672	1,342	1,342	0	13.88
蔵王町	4,167	547	547	0	13.13
七ヶ宿町	464	160	160	0	34.48
大河原町	7,633	1,017	1,017	0	13.32
村田町	3,669	389	389	0	10.60
柴田町	12,123	1,428	1,428	0	11.78
川崎町	3,021	444	444	0	14.70
丸森町	4,576	626	626	0	13.68
塩竈市	19,066	2,335	0	2,335	12.25
名取市	23,975	2,663	2,596	67	11.11
多賀城市	19,152	2,411	0	2,411	12.59
岩沼市	14,048	2,044	2,044	0	14.55
富谷市	15,774	3,810	3,810	0	24.15
亘理町	11,325	1,332	1,332	0	11.76
山元町	4,332	457	457	0	10.55
松島町	5,088	630	0	630	12.38
七ヶ浜町	5,766	924	0	924	16.02
利府町	11,122	1,497	0	1,497	13.46
大和町	8,012	939	939	0	11.72
大郷町	2,821	292	292	0	10.35
大衡村	1,499	220	78	142	14.68
大崎市	42,635	4,930	2,105	2,825	11.56
色麻町	2,334	343	343	0	14.70
加美町	7,972	1,045	1,045	0	13.11
涌谷町	5,606	868	868	0	15.48
美里町	8,542	1,181	1,181	0	13.83
栗原市	23,993	3,054	2,885	169	12.73
登米市	27,637	5,182	5,182	0	18.75
石巻市	49,725	6,712	1,141	5,571	13.50
東松島市	13,223	1,964	1,964	0	14.85
女川町	2,118	314	308	6	14.83
気仙沼市	23,142	2,996	2,996	0	12.95
南三陸町	4,593	672	672	0	14.63
仙台市	335,087	32,262	0	32,262	9.63
県総計	745,574	88,508	39,669	48,839	11.87

集団・個別検診者数の割合



出典：令和4年度乳がん部会資料
乳がん検診結果別人員等調査結果
令和3年乳がん検診実施状況（合計）
注：この集計では、74歳以上も含む

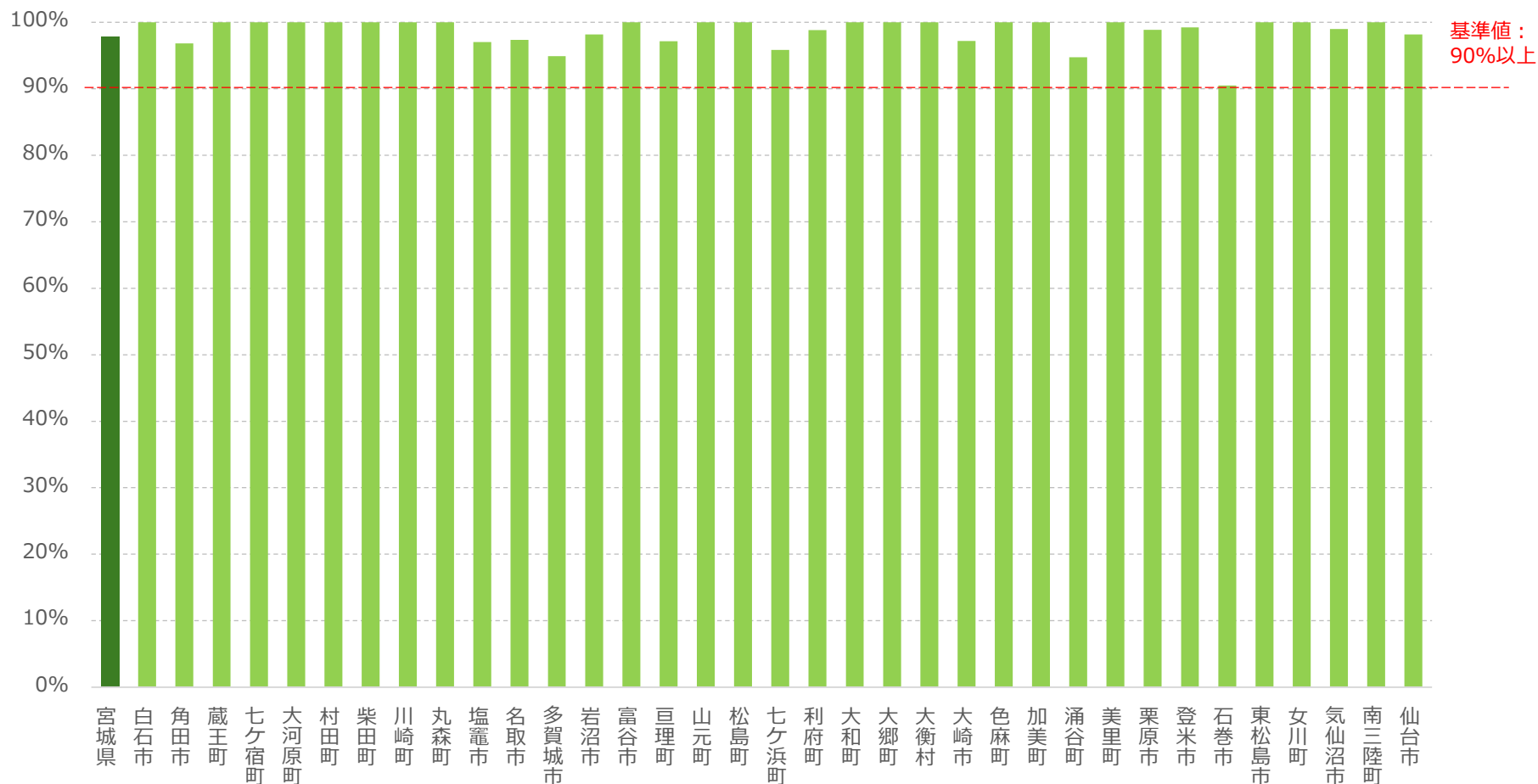
市町村の各プロセス指標 2021（R3）年度

乳がん 検診	精検受診率	要精検率	がん発見率	陽性反応 適中度	受診者数 (40～74歳)	要精密検査 者数	精密検査 受診者数	異常なし	がん (転移性以外)	疑い又は 未確定	乳がん 以外の疾患
宮城県	97.8%	3.67%	0.341%	9.31%	76,185	2,793	2,731	989	260	13	1,469
白石市	100.0%	3.78%	0.000%	0.00%	1,190	45	45	22	0	0	23
角田市	96.8%	4.81%	0.153%	3.17%	1,311	63	61	29	2	0	30
蔵王町	100.0%	2.76%	0.000%	0.00%	544	15	15	7	0	0	8
七ヶ宿町	100.0%	3.54%	0.885%	25.00%	113	4	4	1	1	0	2
大河原町	100.0%	2.37%	0.118%	5.00%	844	20	20	9	1	0	10
村田町	100.0%	2.80%	0.000%	0.00%	357	10	10	6	0	0	4
柴田町	100.0%	3.40%	0.357%	10.53%	1,119	38	38	14	4	0	20
川崎町	100.0%	3.86%	0.725%	18.75%	414	16	16	5	3	0	8
丸森町	100.0%	2.91%	0.448%	15.38%	446	13	13	4	2	0	7
塩竈市	97.0%	5.11%	0.101%	1.98%	1,976	101	98	23	2	2	71
名取市	97.4%	3.44%	0.589%	17.11%	2,207	76	74	26	13	1	34
多賀城市	94.9%	4.82%	0.295%	6.12%	2,034	98	93	12	6	1	74
岩沼市	98.2%	3.54%	0.515%	14.55%	1,552	55	54	11	8	0	35
富谷市	100.0%	3.63%	0.369%	10.17%	3,253	118	118	36	12	0	70
亘理町	97.1%	3.10%	0.620%	20.00%	1,129	35	34	10	7	0	17
山元町	100.0%	4.91%	0.234%	4.76%	428	21	21	8	1	0	12
松島町	100.0%	6.50%	0.394%	6.06%	508	33	33	14	2	1	16
七ヶ浜町	95.8%	2.95%	0.246%	8.33%	814	24	23	7	2	0	14
利府町	98.8%	6.30%	0.300%	4.76%	1,334	84	83	31	4	1	47
大和町	100.0%	2.67%	0.267%	10.00%	748	20	20	5	2	0	13
大郷町	100.0%	4.62%	0.990%	21.43%	303	14	14	3	3	0	8
大衡村	100.0%	3.59%	0.000%	0.00%	223	8	8	1	0	0	7
大崎市	97.2%	4.81%	0.450%	9.35%	4,446	214	208	112	20	0	76
色麻町	100.0%	6.31%	0.000%	0.00%	301	19	19	8	0	0	11
加美町	100.0%	3.41%	0.201%	5.88%	996	34	34	15	2	0	17
涌谷町	94.7%	3.26%	0.172%	5.26%	582	19	18	5	1	0	12
美里町	100.0%	2.74%	0.329%	12.00%	911	25	25	9	3	0	13
栗原市	98.9%	3.42%	0.154%	4.49%	2,602	89	88	40	4	0	44
登米市	99.2%	3.25%	0.269%	8.27%	4,092	133	132	62	11	0	59
石巻市	90.5%	3.32%	0.422%	12.70%	5,693	189	171	67	24	0	80
東松島市	100.0%	3.68%	0.486%	13.21%	1,440	53	53	21	7	0	25
女川町	100.0%	3.56%	0.444%	12.50%	225	8	8	2	1	0	5
気仙沼市	99.0%	3.74%	0.374%	10.00%	2,672	100	99	41	10	0	48
南三陸町	100.0%	4.17%	0.947%	22.73%	528	22	22	5	5	0	12
仙台市	98.2%	3.39%	0.336%	9.93%	28,850	977	959	318	97	7	537

(余 白)

市町村のプロセス指標①（精検受診率）

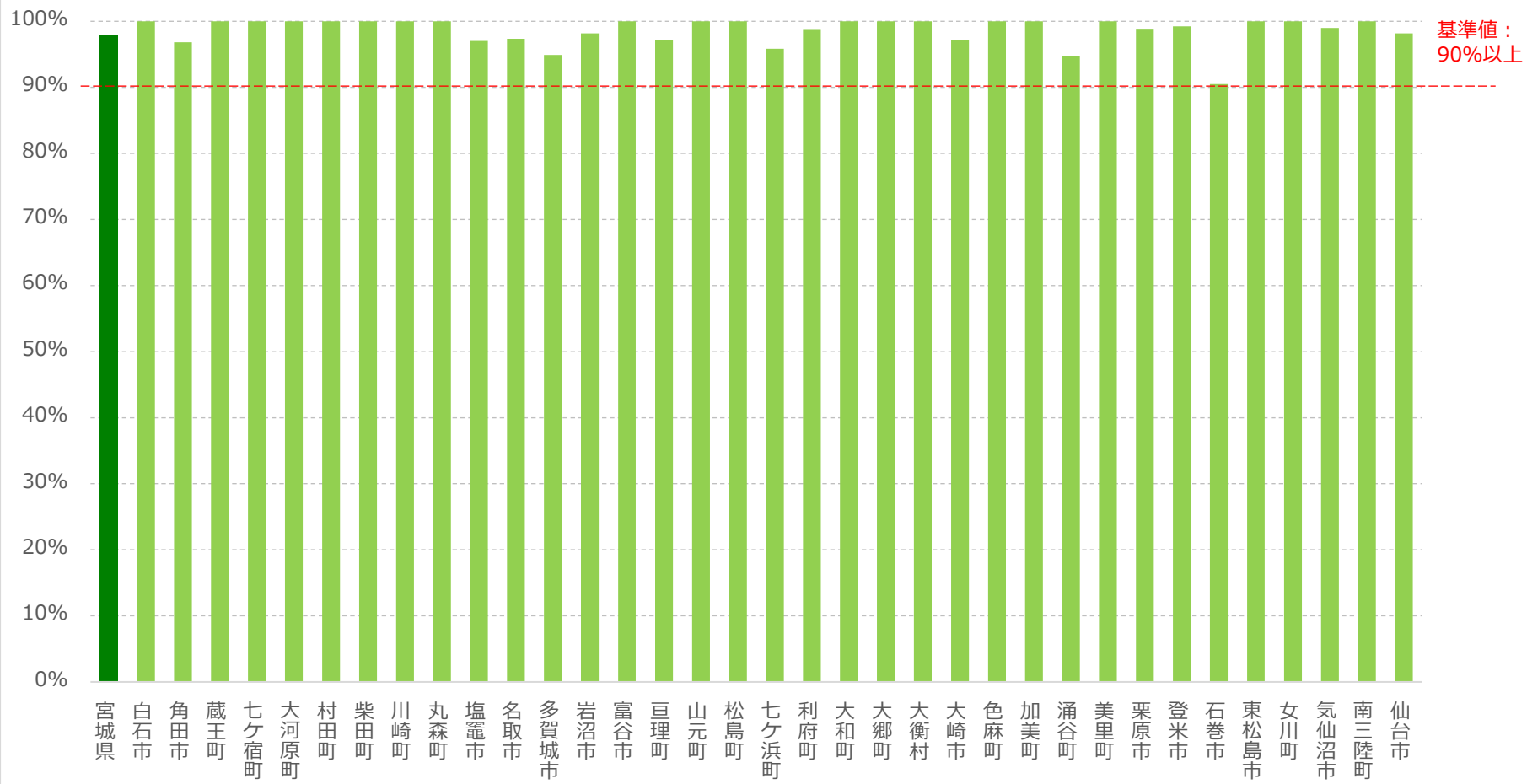
乳がん検診 精密検査受診率（2021（R3）, 40-70歳、女性）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第34-1表 令和3年度における乳がん検診受診者数… から県で計算

市町村のプロセス指標①（精検受診率） 3年平均

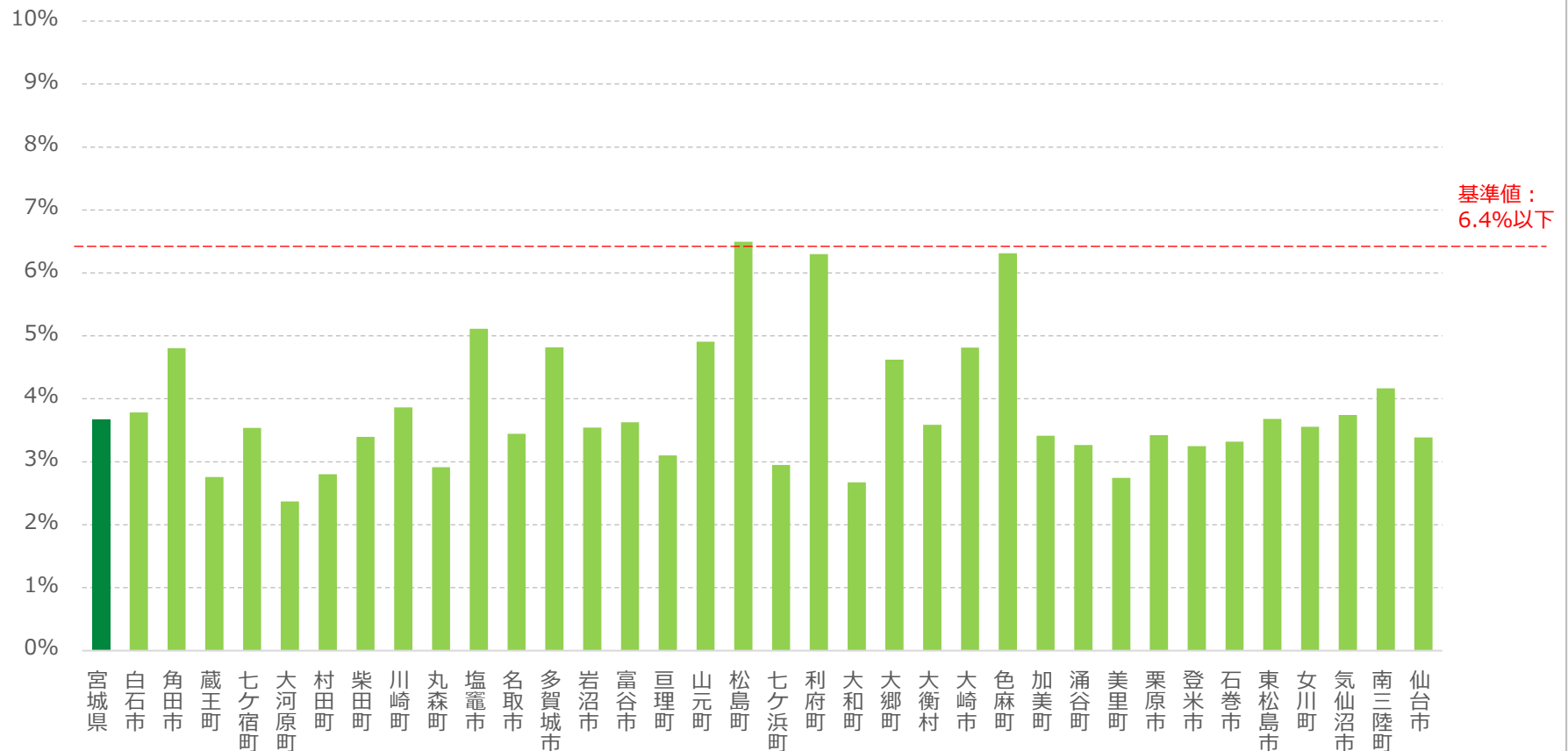
乳がん検診 精密検査受診率（2019-2021（3年平均）, 40-74歳、女性）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第34-1表 令和元～3年度における乳がん検診受診者数… から県で計算

市町村のプロセス指標②（要精検率）

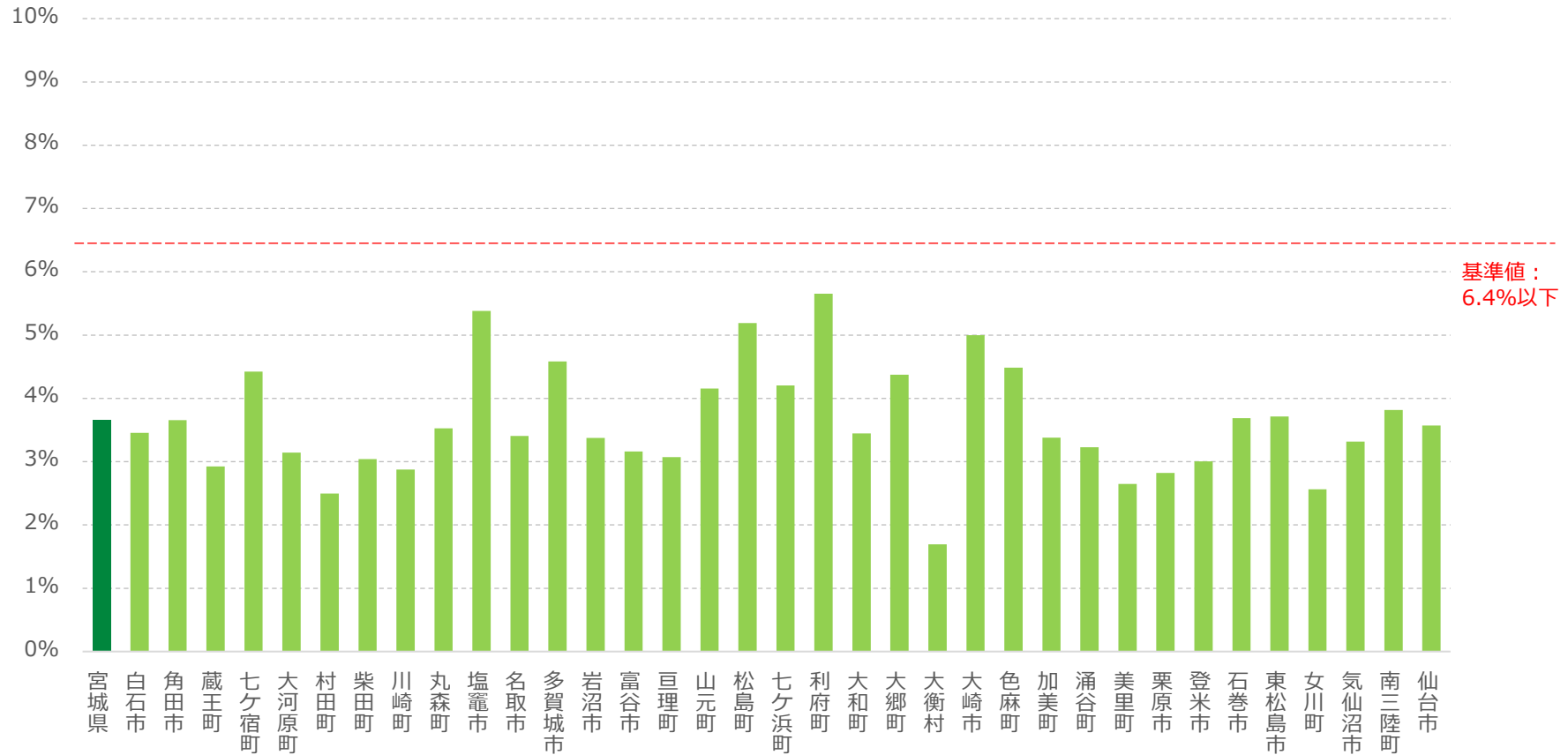
乳がん検診 要精検率（2021（R3）, 40-74歳、女性）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第34-1表 令和3年度における乳がん検診受診者数… から県で計算

市町村のプロセス指標②（要精検率） 3年平均

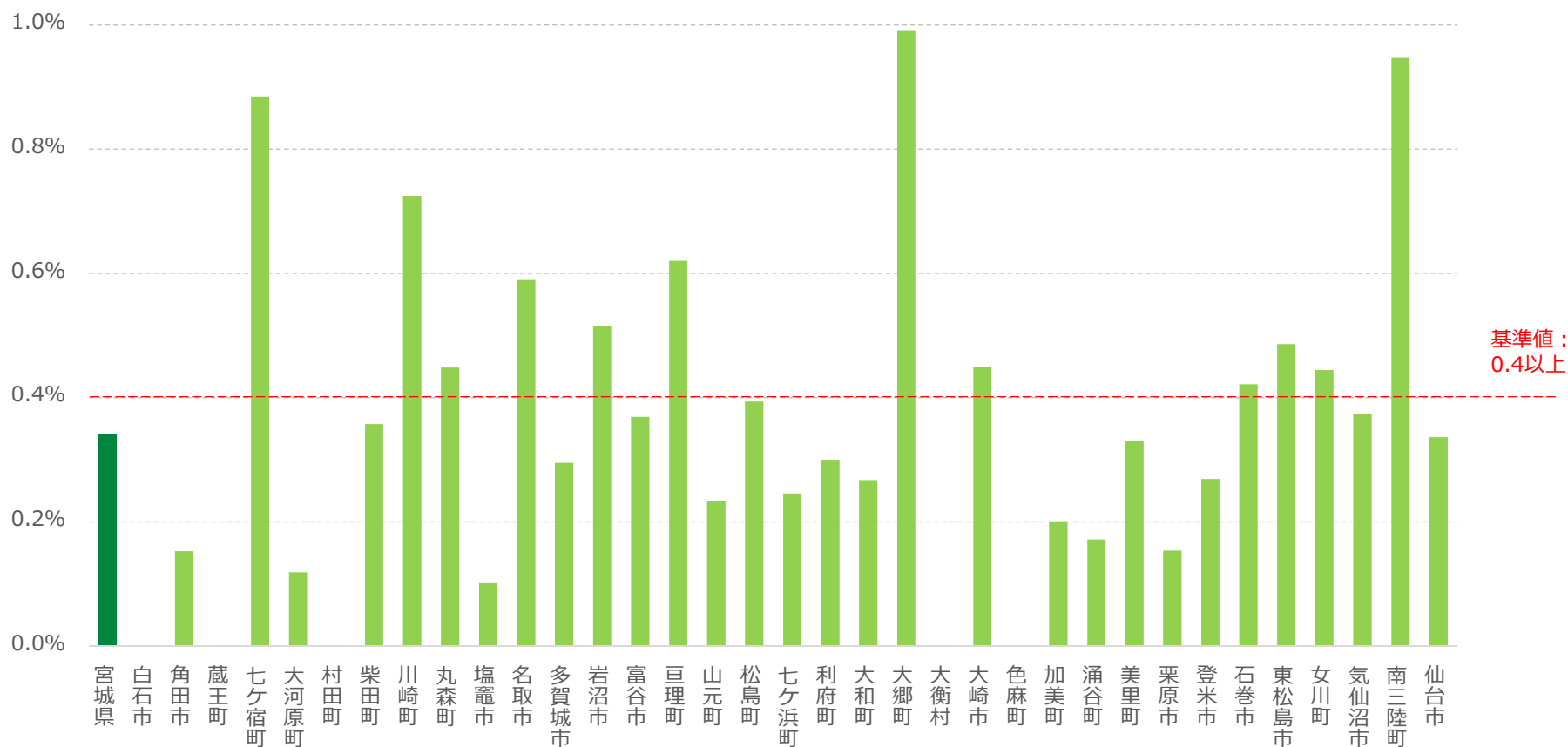
乳がん検診 要精検率（2019-2021（3年平均）, 40-74歳、女性）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第34-1表 令和元年度～令和3年度における乳がん検診受診者数… から県で計算

市町村のプロセス指標③（がん発見率）

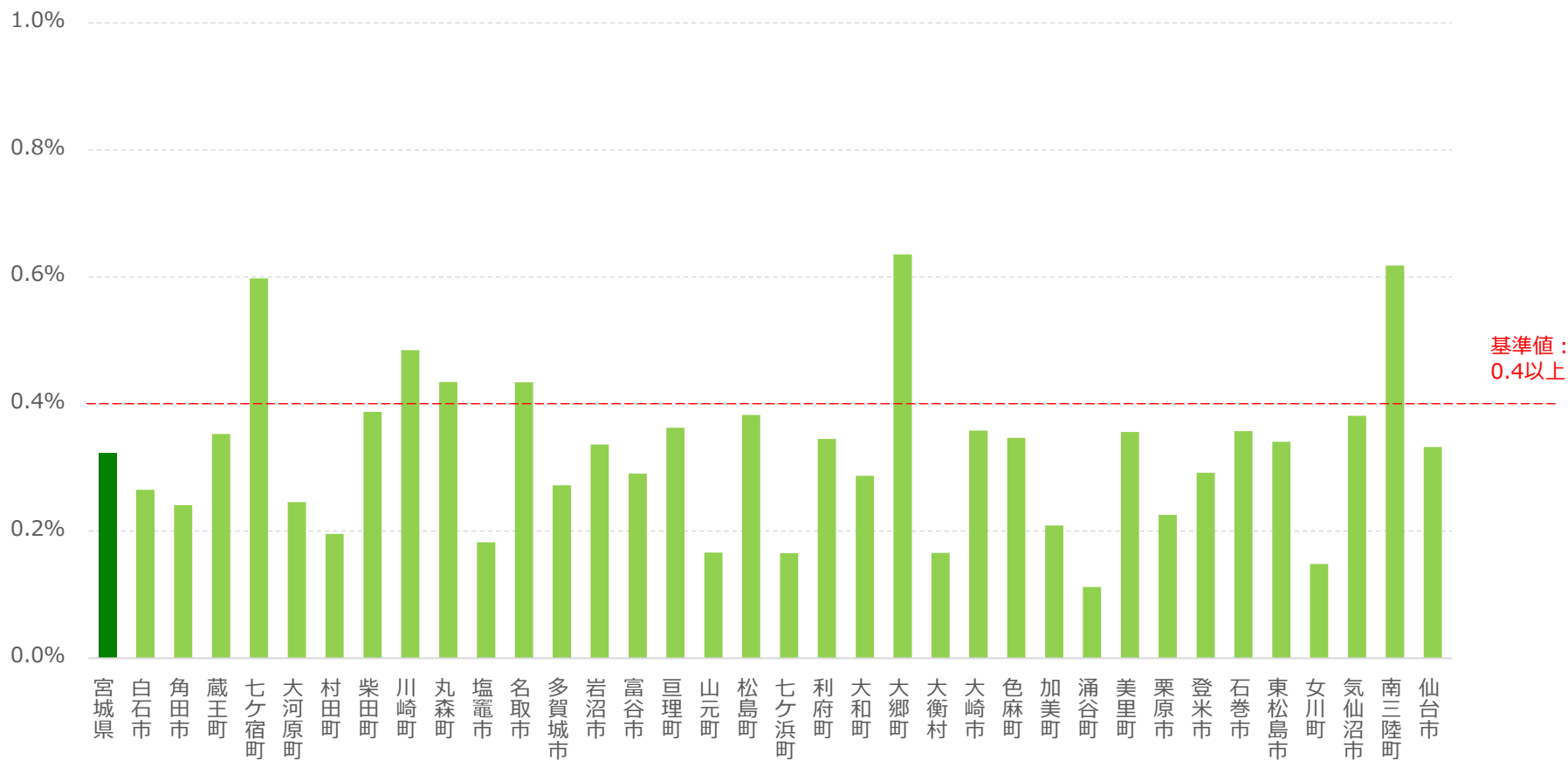
乳がん検診 がん発見率（2021（R3）, 40-74歳、女性）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第34-1表 令和3年度における乳がん検診受診者数… から県で計算

市町村のプロセス指標③（がん発見率） 3年平均

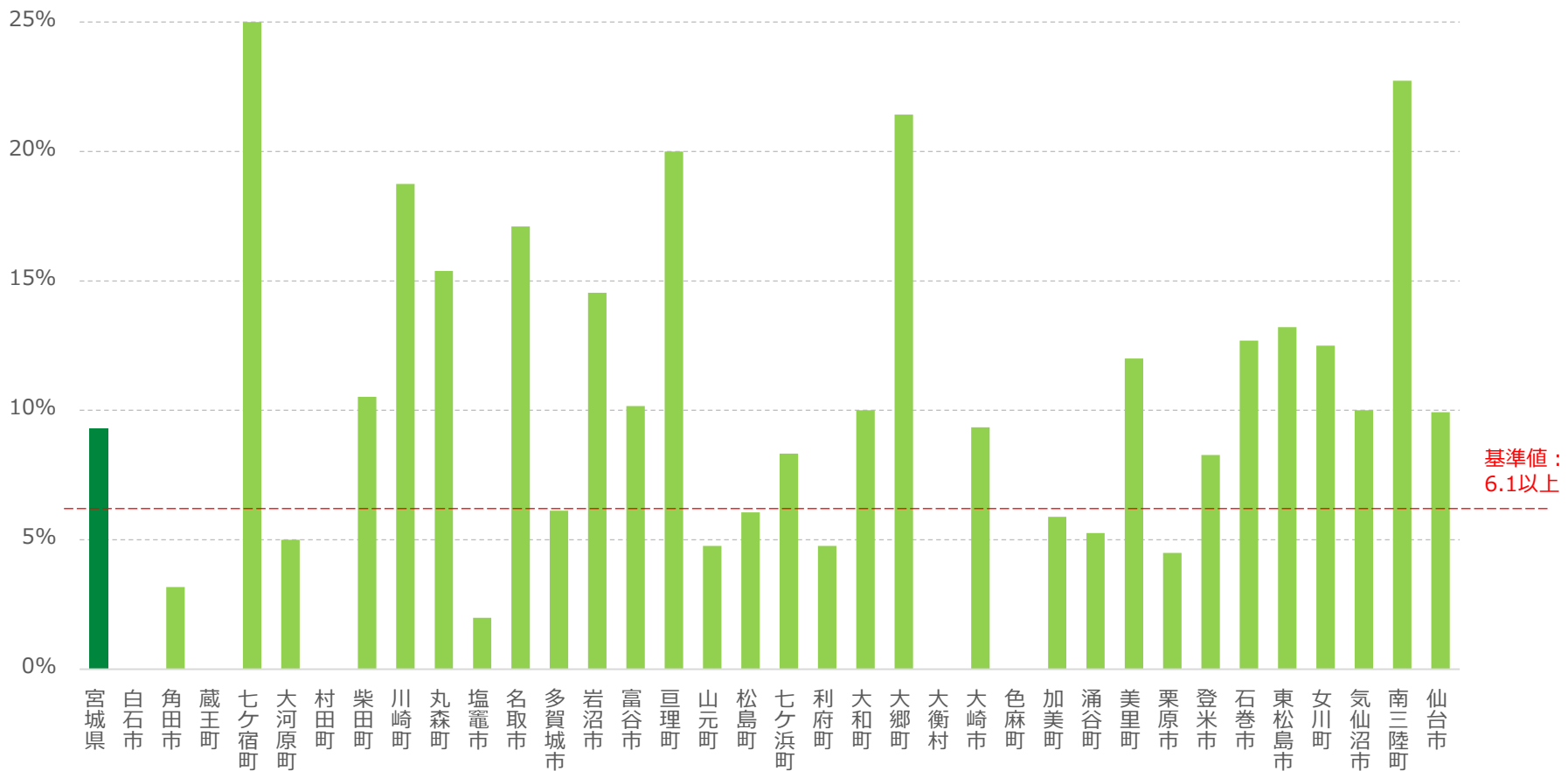
乳がん検診 がん発見率（2019-2021（3年平均）, 40-74歳、女性）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第34-1表 令和元～3年度における乳がん検診受診者数… から県で計算

市町村のプロセス指標④（陽性反応適中度）

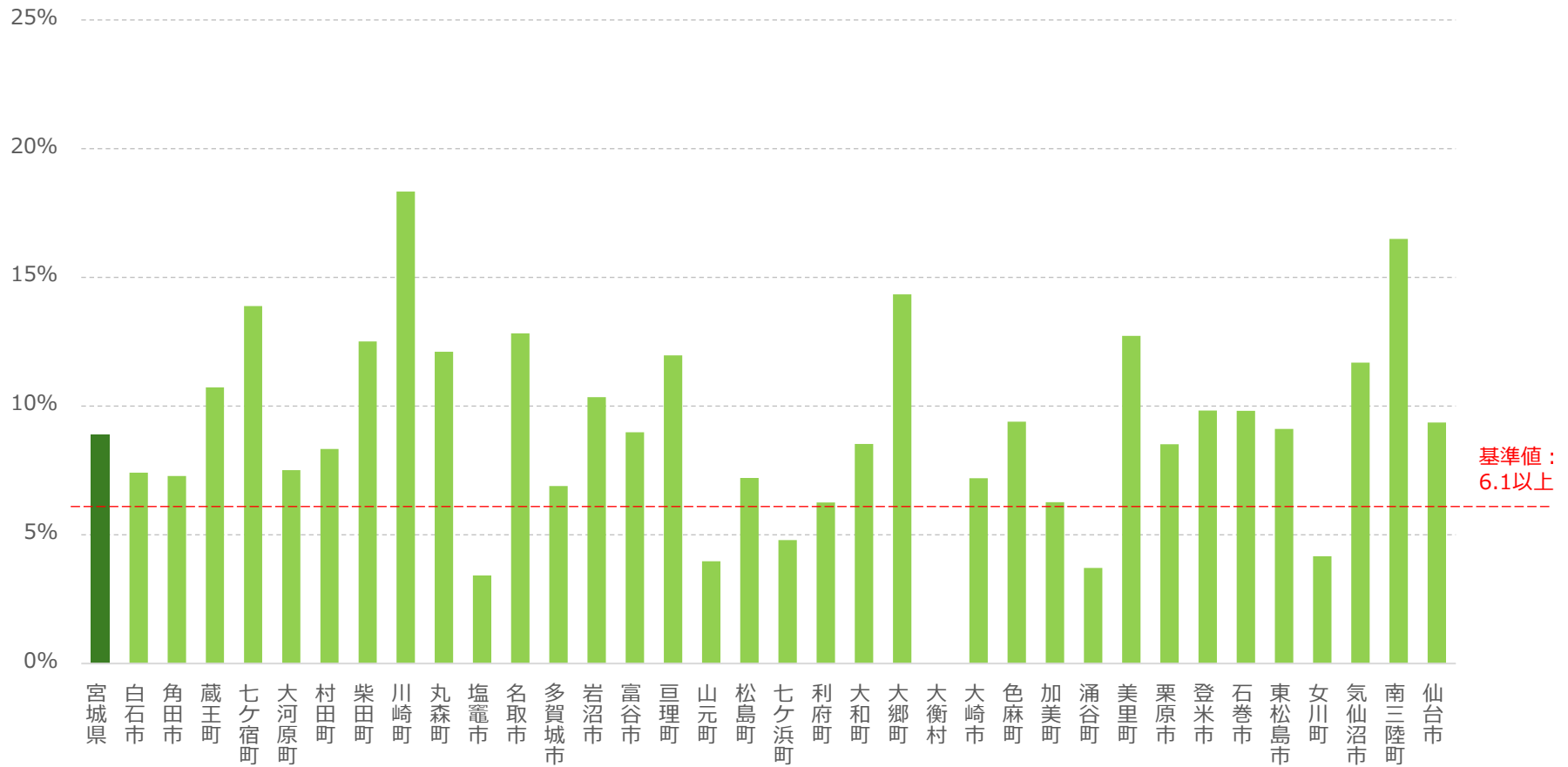
乳がん検診 陽性反応適中度（2021（R3）, 40-74歳、女性）



出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第34-1表 令和3年度における乳がん検診受診者数… から県で計算

市町村のプロセス指標④（陽性反応適中度） 3年平均

乳がん検診 陽性反応適中度（2019-2021（3年平均）, 40-74歳、女性）



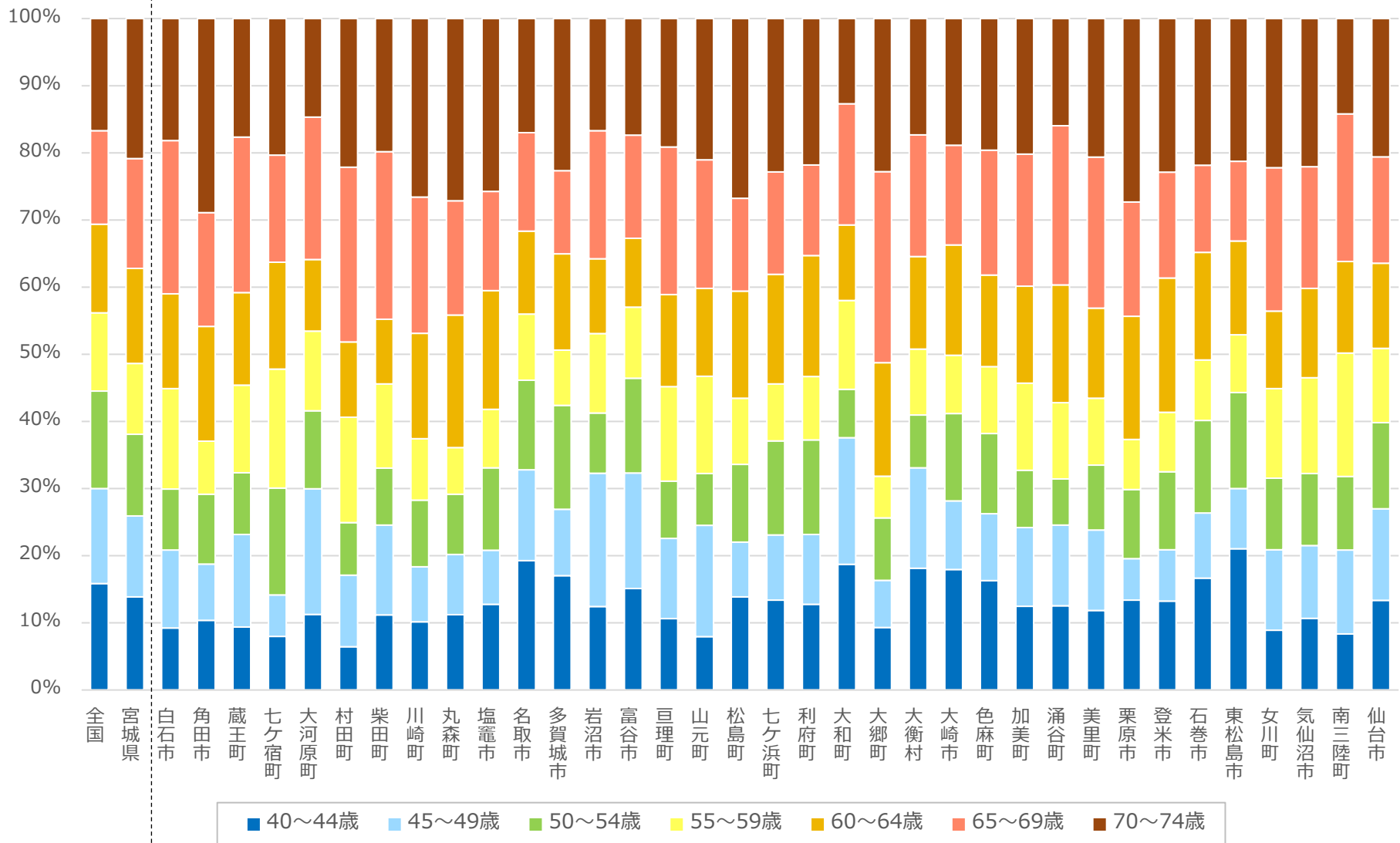
出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)市区町村表 第34-1表 令和元～3年度における乳がん検診受診者数… から県で計算

市町村毎の一次検診受診者の年齢構成 2021 (R3) 年

乳がん検診	40-74歳合計	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
宮城県	76,185	10,523	9,163	9,293	8,050	10,806	12,418	15,932
白石市	1,190	110	138	108	178	168	272	216
角田市	1,311	136	110	136	104	224	222	379
蔵王町	544	51	75	50	71	75	126	96
七ヶ宿町	113	9	7	18	20	18	18	23
大河原町	844	95	158	98	100	90	179	124
村田町	357	23	38	28	56	40	93	79
柴田町	1,119	125	150	95	140	108	279	222
川崎町	414	42	34	41	38	65	84	110
丸森町	446	50	40	40	31	88	76	121
塩竈市	1,976	252	159	243	172	349	292	509
名取市	2,207	425	299	294	218	272	324	375
多賀城市	2,034	316	192	308	198	293	248	479
岩沼市	1,552	193	308	139	184	173	296	259
富谷市	3,253	492	559	459	345	333	500	565
亘理町	1,129	120	135	96	159	155	248	216
山元町	428	34	71	33	62	56	82	90
松島町	508	62	38	58	41	96	77	136
七ヶ浜町	814	109	79	114	69	133	124	186
利府町	1,334	170	139	188	126	240	180	291
大和町	748	140	141	54	99	84	135	95
大郷町	303	33	25	33	22	60	49	81
大衡村	223	40	16	27	22	32	41	45
大崎市	4,446	798	454	579	385	731	660	839
色麻町	301	49	30	36	30	41	56	59
加美町	996	124	117	85	129	144	196	201
涌谷町	582	73	70	40	66	102	138	93
美里町	911	108	109	88	91	122	205	188
栗原市	2,602	348	161	268	194	477	443	711
登米市	4,092	541	314	475	362	818	646	936
石巻市	5,693	949	552	785	512	912	739	1,244
東松島市	1,440	303	129	206	124	201	171	306
女川町	225	20	27	24	30	26	48	50
気仙沼市	2,672	285	290	287	381	355	484	590
南三陸町	528	44	66	58	97	72	116	75
仙台市	28,850	3,854	3,933	3,702	3,194	3,653	4,571	5,943

市町村毎の一次検診受診者の年齢構成割合

県内市町村毎の年齢構成割合（2021（R3）年 40-74歳 女性）




プロセス指標のまとめ

- 精検受診率とともに全国より高く、精検未受診率、精検未把握率とともに全国より低い
- がん発見率は、全国とほぼ同じだが、長年、陽性反応適中度は高値、要精検率は低値になっている
- 市町村単位でみると各プロセス指標にバラつきがある



値の評価、要因等について、専門的な見地から御意見をお願いします

(余 白)

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
-  4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

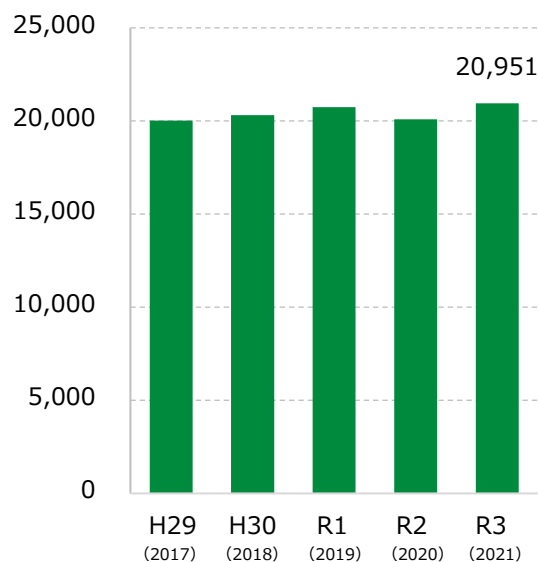
がん罹患数の推移 全部位（宮城県）

罹患数 男女計 全部位（上皮内がん含む）

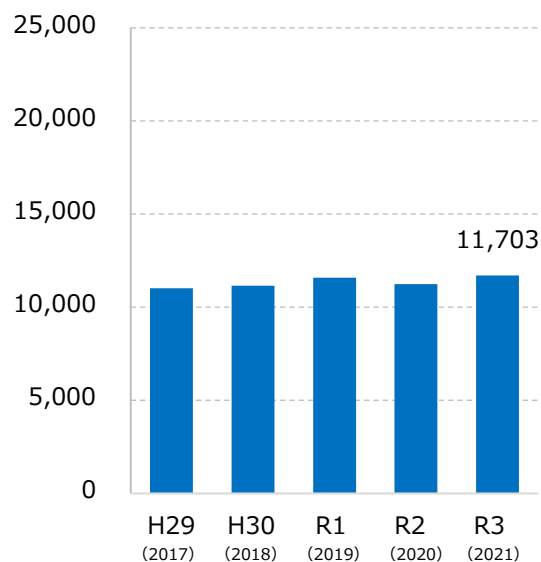
（参考）全国

宮城県	2017（H29）	2018（H30）	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2021（R3）
計	20,015	20,316	20,736	20,092	20,951	1,107,555
男	11,022	11,153	11,575	11,237	11,703	609,955
女	8,993	9,163	9,161	8,855	9,248	497,600

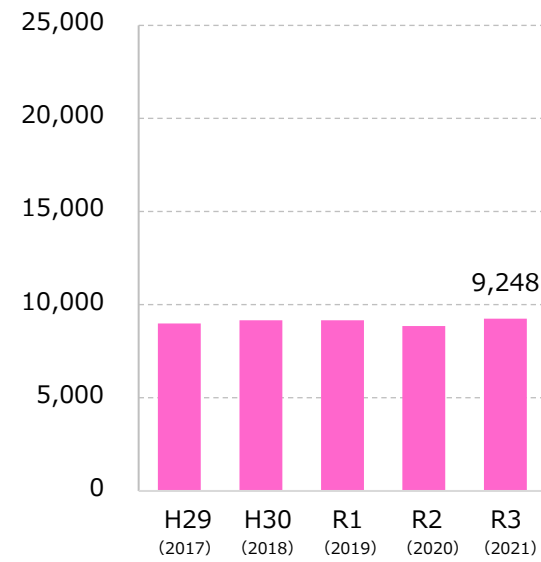
総数（男女計）



男性

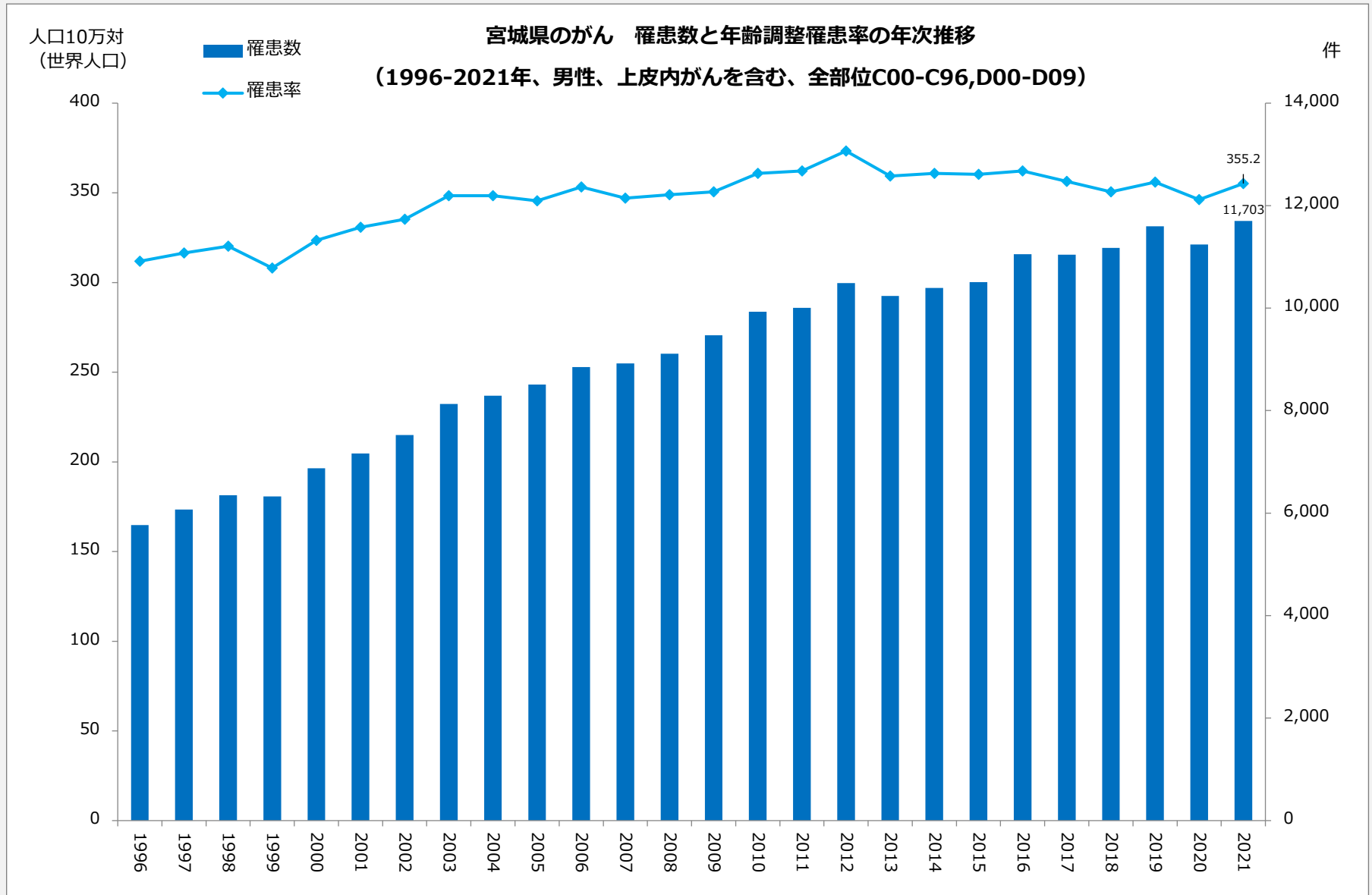


女性

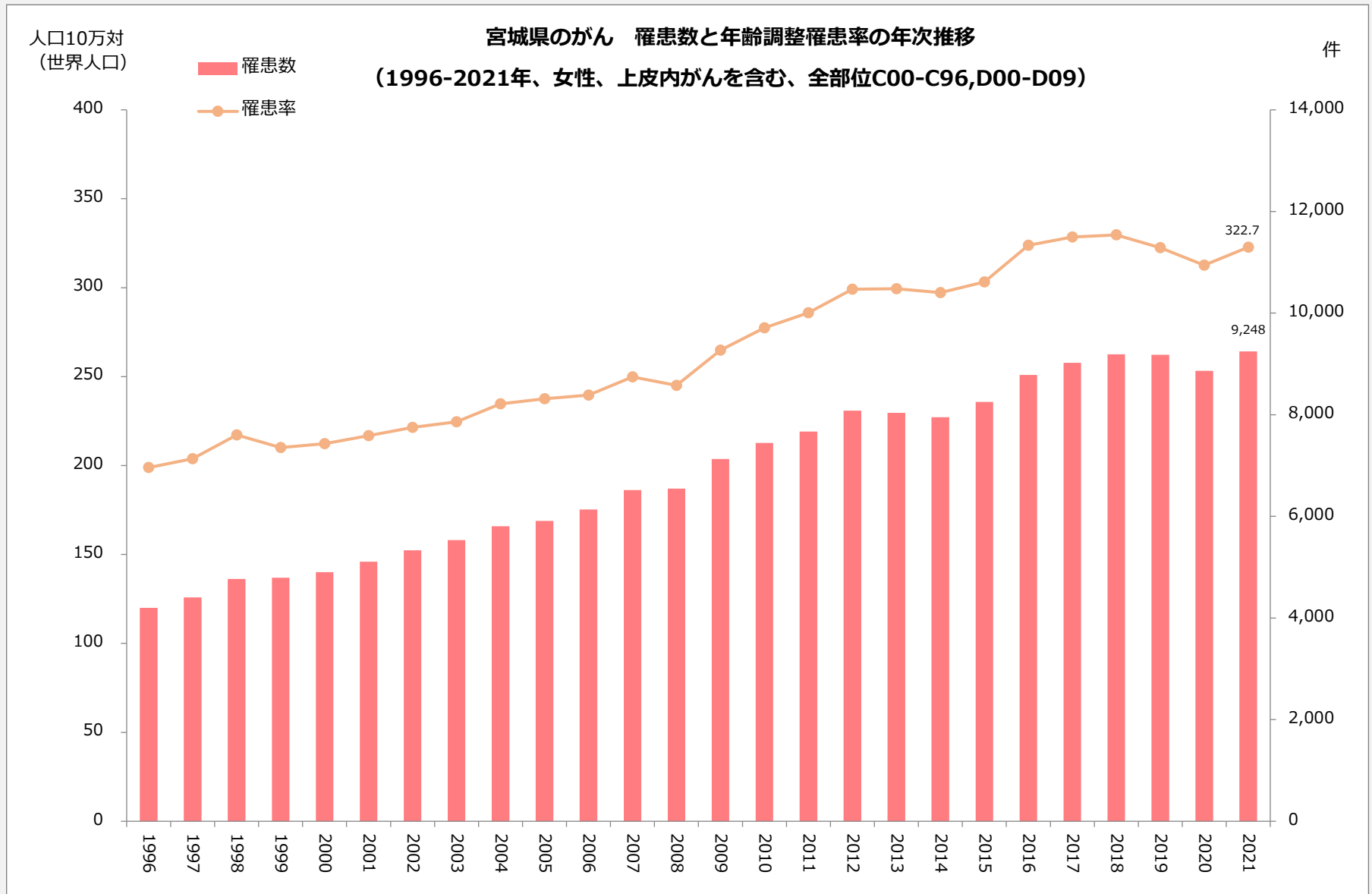


出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率2017年-2021年

罹患数と年齢調整罹患率の年次推移 (宮城県・男性・全部位)

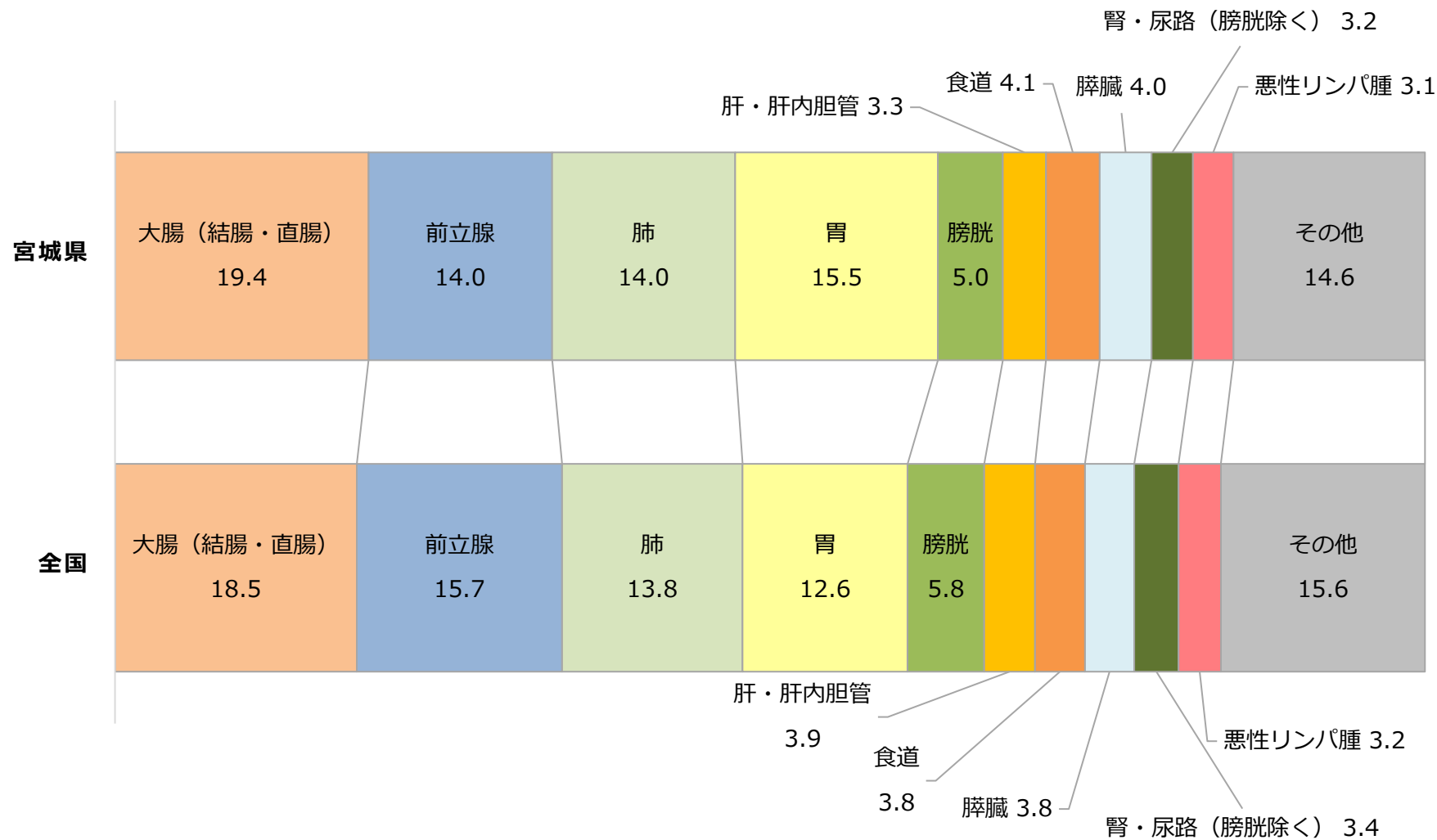


罹患数と年齢調整罹患率の年次推移（宮城県・女性・全部位）



部位別がん罹患割合 男性（全国と宮城県）

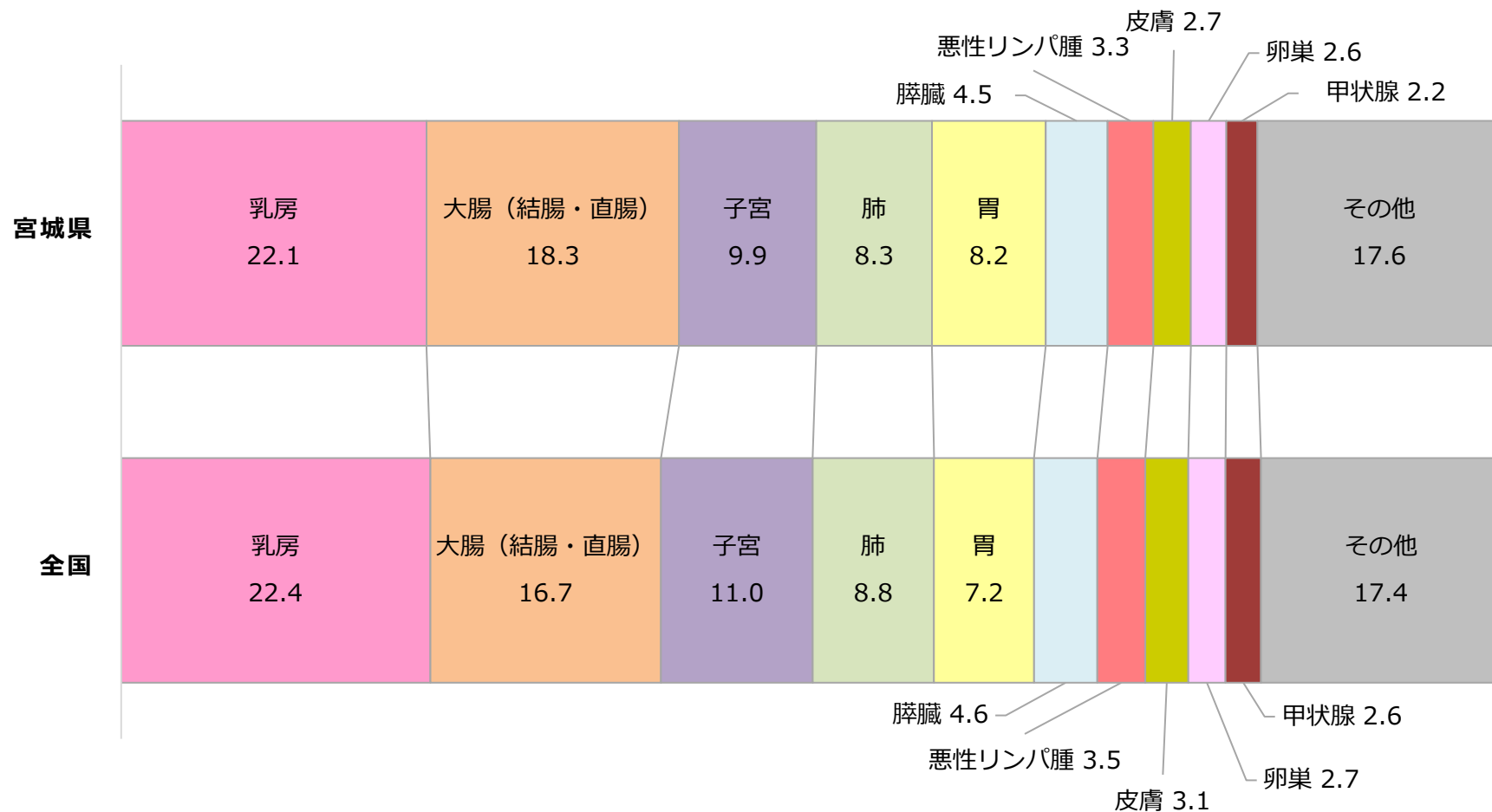
がんの発生割合（2021（R3）年 男）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率
宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

部位別がん罹患割合 女性（全国と宮城県）


がんの発生割合（2021（R3）年 女）



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率
宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

部位別のがん罹患数（全国と宮城県）

部位別罹患数（2021（R3）年）（上皮内がん含む）

部位	全国				宮城県			
	男		女		男		女	
	罹患数	%	罹患数	%	罹患数	%	罹患数	%
口腔・咽頭	16,037	2.6	6,744	1.4	278	2.4	121	1.3
食道	23,209	3.8	5,571	1.1	480	4.1	119	1.3
胃	76,828	12.6	36,053	7.2	1,811	15.5	761	8.2
大腸（結腸・直腸）	112,587	18.5	83,227	16.7	2,265	19.4	1,688	18.3
肝・肝内胆管	23,677	3.9	10,998	2.2	385	3.3	205	2.2
胆のう・胆管	11,729	1.9	9,888	2.0	260	2.2	199	2.2
膵臓	22,950	3.8	22,869	4.6	463	4.0	414	4.5
喉頭	4,359	0.7	412	0.1	80	0.7	9	0.1
肺	84,051	13.8	43,816	8.8	1,635	14.0	772	8.3
皮膚	15,750	2.6	15,492	3.1	254	2.2	250	2.7
 乳房	719	0.1	111,492	22.4	9	0.1	2,040	22.1
子宮	-	-	54,684	11.0	-	-	918	9.9
卵巣	-	-	13,456	2.7	-	-	237	2.6
前立腺	95,584	15.7	-	-	1,641	14.0	-	-
膀胱	35,669	5.8	9,928	2.0	580	5.0	192	2.1
腎・尿路（膀胱除く）	20,628	3.4	9,995	2.0	370	3.2	194	2.1
脳・中枢神経系	3,124	0.5	2,617	0.5	49	0.4	50	0.5
甲状腺	4,727	0.8	12,807	2.6	73	0.6	208	2.2
悪性リンパ腫	19,713	3.2	17,268	3.5	362	3.1	306	3.3
多発性骨髄腫	4,197	0.7	3,559	0.7	80	0.7	56	0.6
白血病	8,597	1.4	6,211	1.2	153	1.3	99	1.1
その他	25,820	4.2	20,513	4.1	475	4.1	410	4.4
全部位	609,955	100.0	497,600	100.0	11,703	100.0	9,248	100.0

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）全国がん登録に基づく都道府県別がん罹患数・率
宮城県のがん罹患 ～宮城県がん登録 2021年（令和3年）集計～（宮城県がん登録室集計）

主な部位別のがん罹患数の直近の年次推移（宮城県）

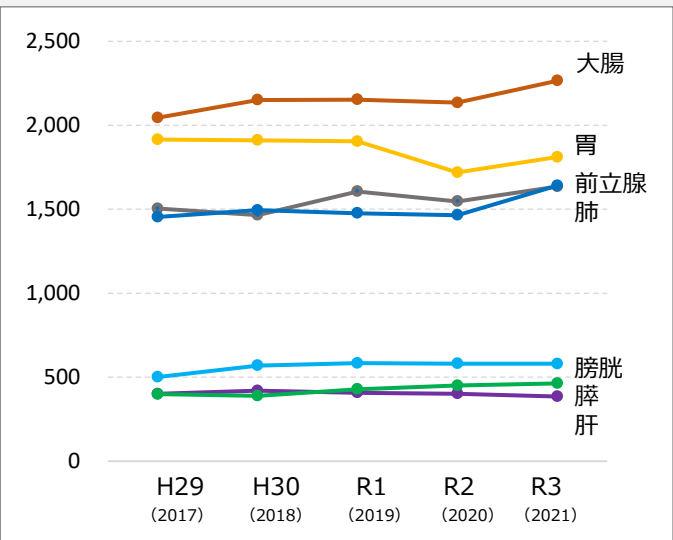
部位別がん罹患数の推移（男）

男	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
胃	1,915	1,911	1,904	1,719	1,811
肺	1,504	1,465	1,606	1,547	1,635
肝臓	401	420	407	402	385
膵臓	399	389	428	450	463
大腸	2,045	2,151	2,153	2,135	2,265
前立腺	1,454	1,494	1,476	1,465	1,641
膀胱	501	569	584	581	580

2021（R3）年
部位別がん罹患数の順位（男）

順位	宮城県	全国
1位	大腸がん	大腸がん
2位	胃がん	前立腺がん
3位	前立腺がん	肺がん
4位	肺がん	胃がん
5位	膀胱がん	膀胱がん

部位別がん罹患数の推移（男）



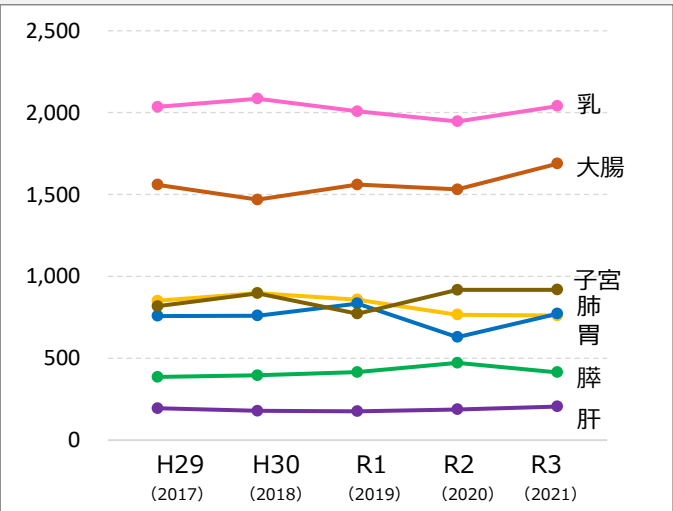
部位別がん罹患数の推移（女）

女	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
胃	851	898	858	766	761
肺	758	760	834	629	772
肝臓	194	179	176	188	205
膵臓	386	396	415	472	414
大腸	1,559	1,469	1,560	1,531	1,688
子宮	818	897	772	917	918
乳房	2,035	2,085	2,008	1,946	2,040

2021（R3）年
部位別がん罹患数の順位（女）

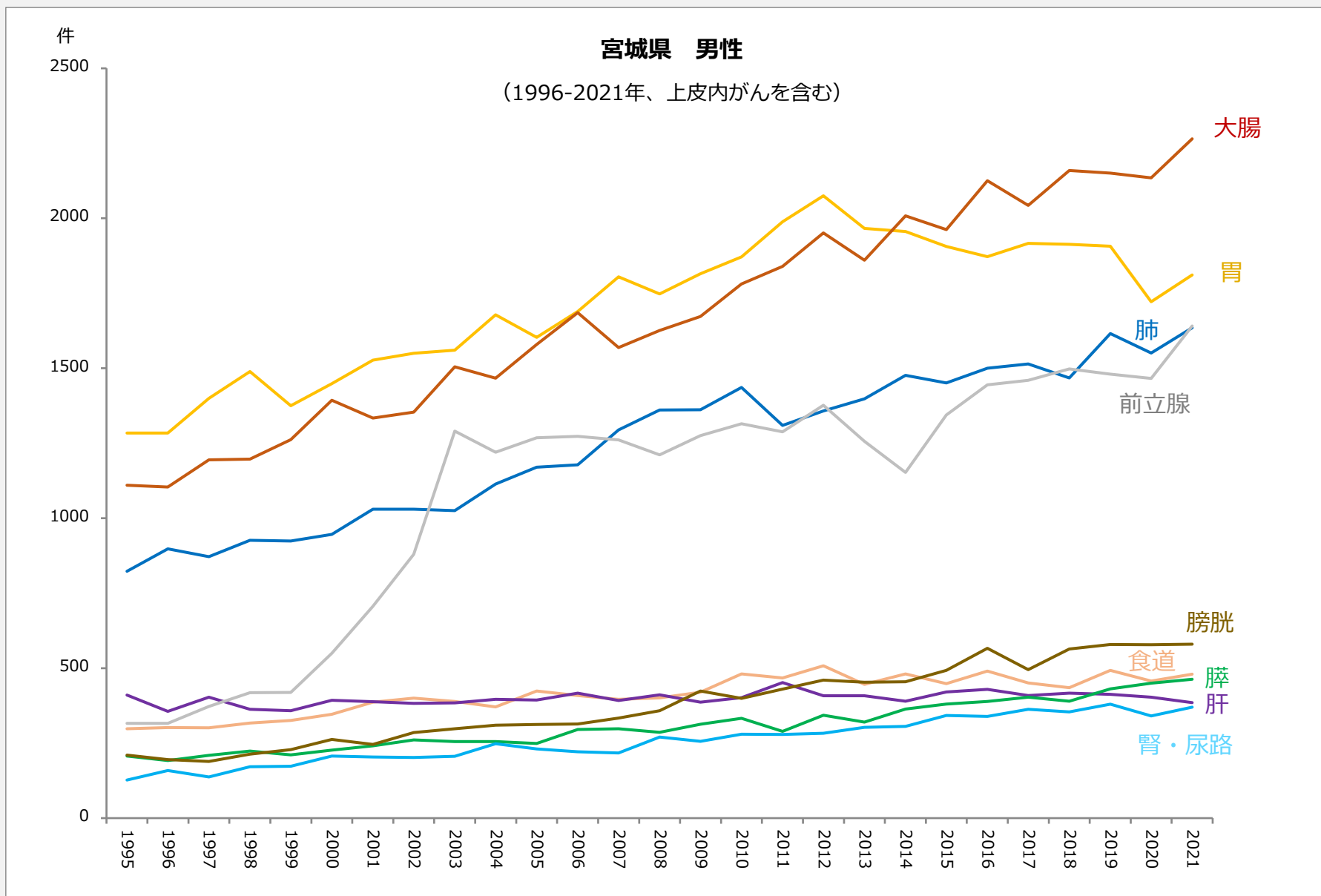
順位	宮城県	全国
1位	乳がん	乳がん
2位	大腸がん	大腸がん
3位	子宮がん	子宮がん
4位	肺がん	肺がん
5位	胃がん	胃がん

部位別がん罹患数の推移（女）

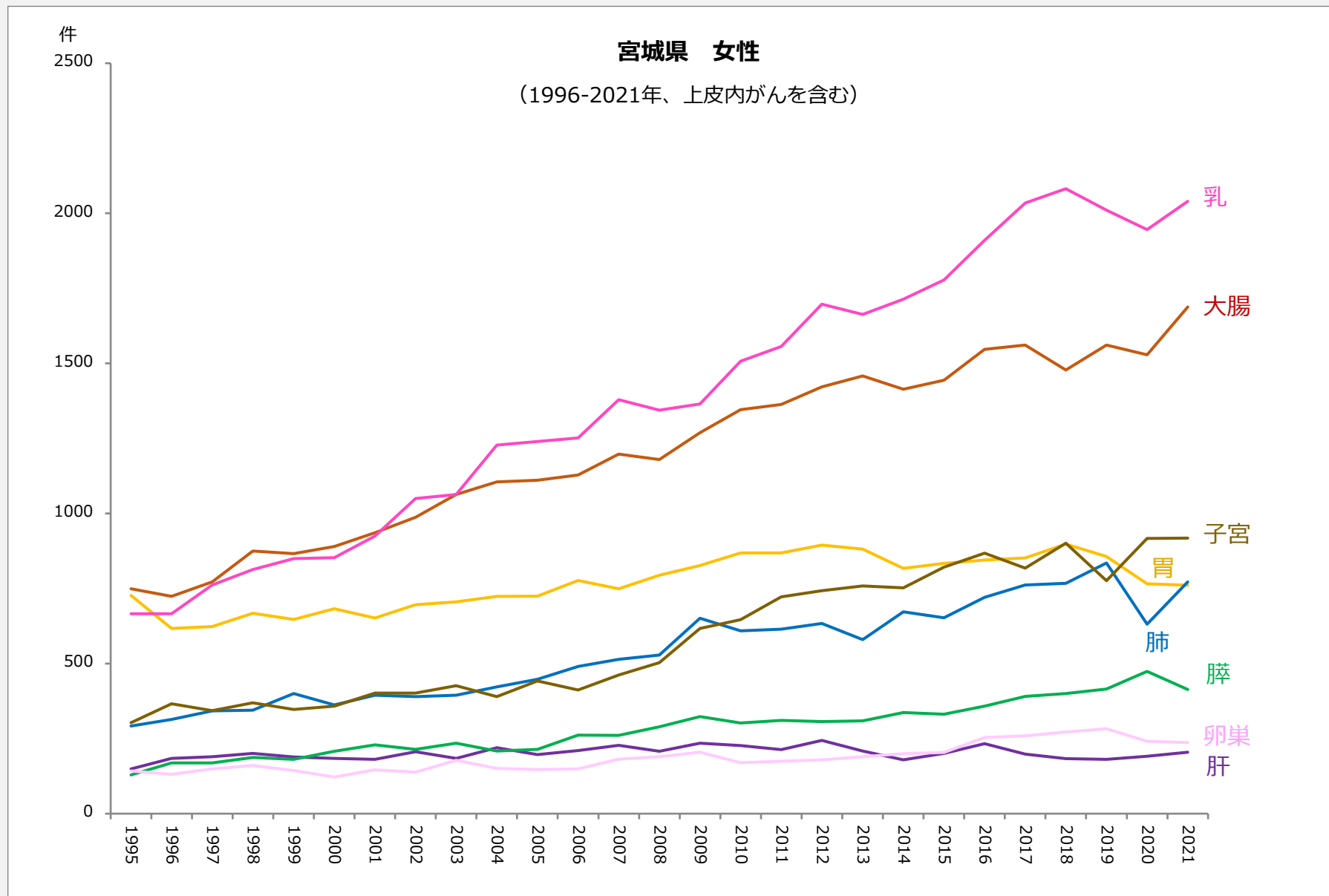


出典：
国立がん研究センターがん情報サービス
「がん統計」（全国がん登録）

部位別のがん罹患数の年次推移（宮城県・男性）

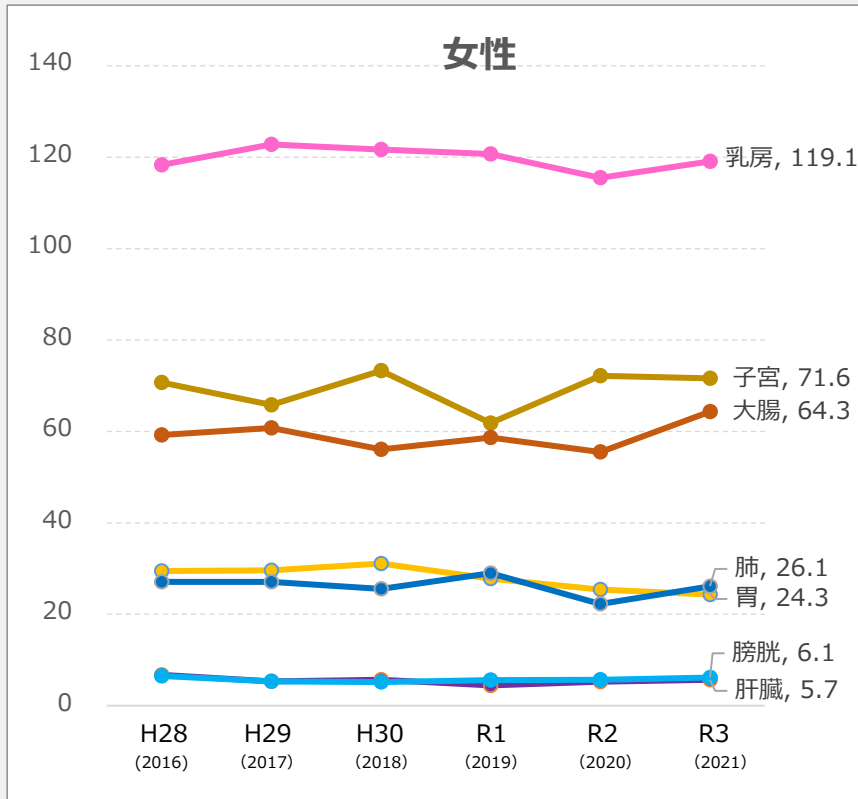
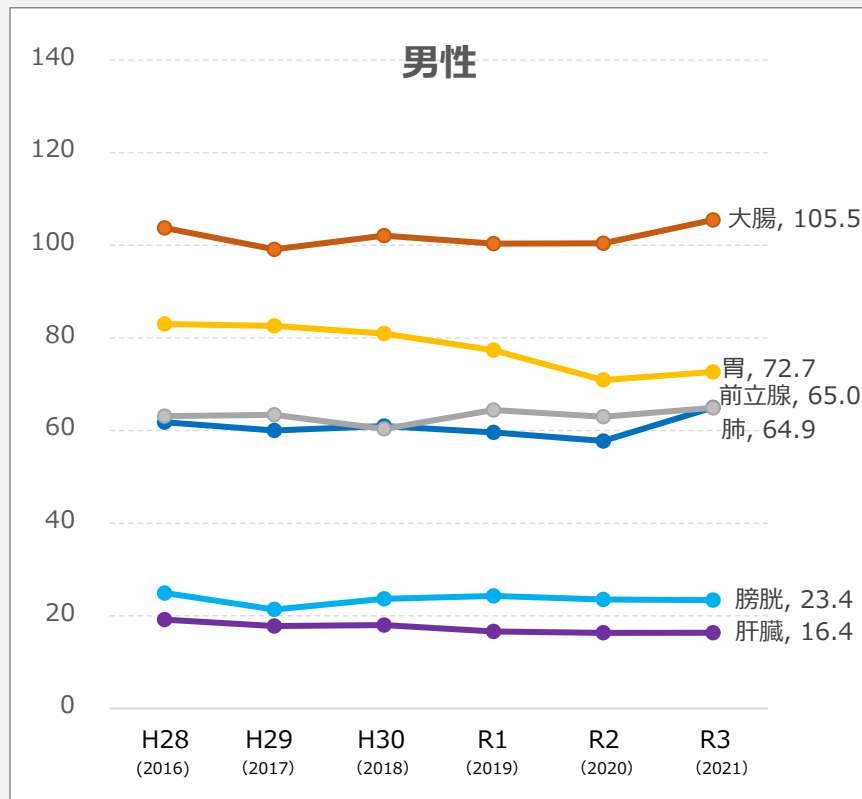


部位別のがん罹患数の年次推移（宮城県・女性）



年齢調整罹患率の年次推移 男女別（宮城県）

部位別 年齢調整罹患率（人口10万人対）（男女別）、宮城県



男性	宮城県						全国
	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 (2021)
胃	83.0	82.6	80.9	77.3	70.9	72.7	55.5
肝臓	19.2	17.8	18.0	16.6	16.3	16.4	17.2
前立腺	61.8	60.0	61.0	59.6	57.8	65.0	67.9
肺	63.1	63.4	60.4	64.5	63.0	64.9	60.6
膀胱	25.0	21.4	23.7	24.3	23.6	23.4	25.4
大腸	103.7	99.2	102.1	100.4	100.5	105.5	95.2

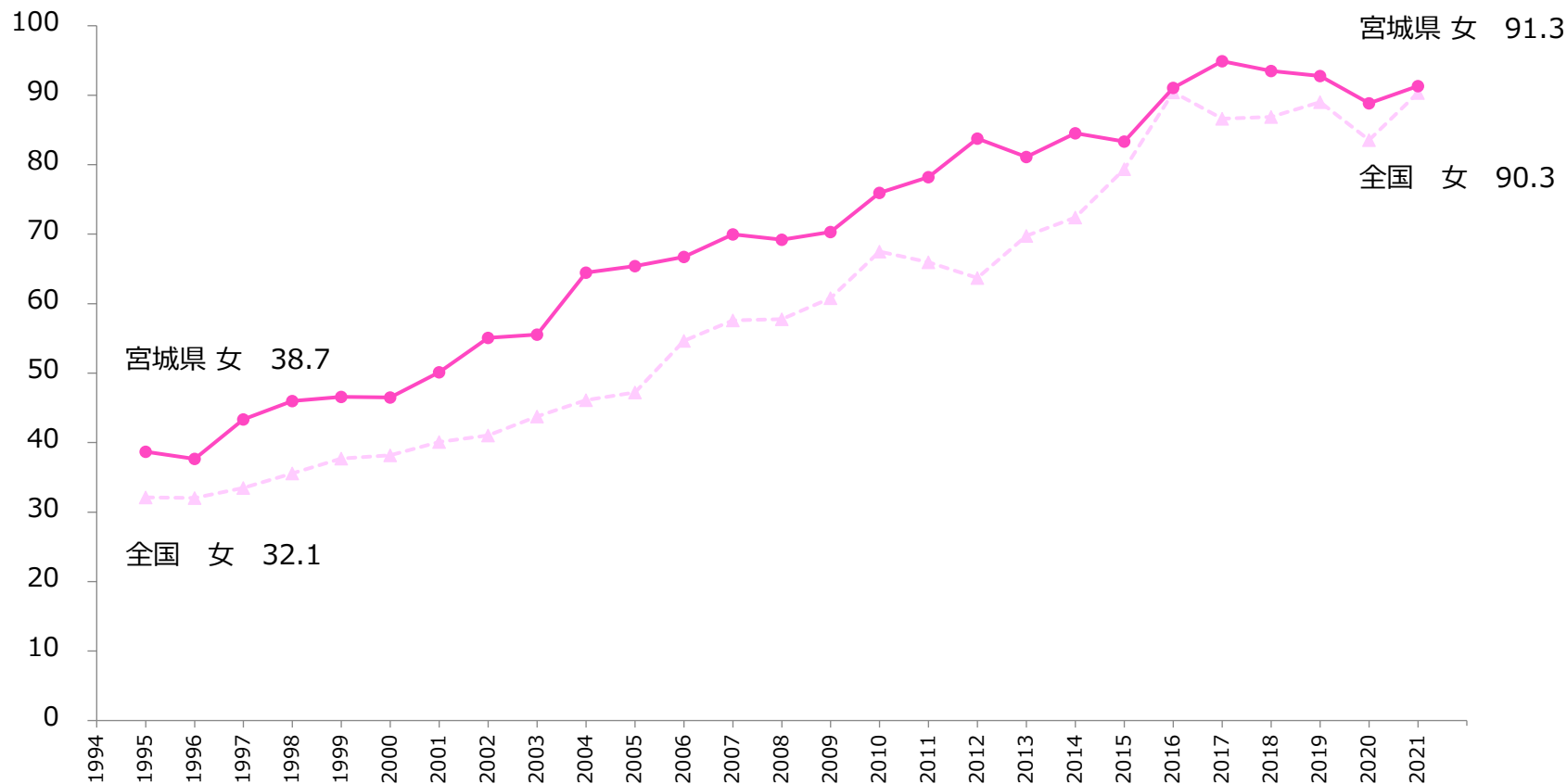
女性	宮城県						全国
	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R3 (2021)
胃	29.5	29.6	31.1	27.8	25.4	24.3	20.7
肝臓	6.7	5.3	5.7	4.4	5.2	5.7	5.4
肺	27.1	27.1	25.6	29.0	22.2	26.1	26.9
乳房	118.3	122.8	121.7	120.7	115.5	119.1	117.5
子宮	70.7	65.8	73.3	61.8	72.2	71.6	81.9
膀胱	6.5	5.3	5.2	5.6	5.7	6.1	5.4
大腸	59.2	60.8	56.1	58.6	55.5	64.3	57.0

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）
（昭和60年日本人モデル人口）

乳がんの年齢調整罹患率の推移 (全国・宮城県)

乳がん（上皮内がんを含む） 年齢調整罹患率 年次推移（1995-2021, 女性）

年齢調整罹患率
(人口10万対)
(世界人口モデル)



出典 全 国 : 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録・地域がん登録全国実測値・高精度地域実測値・全国推計値)

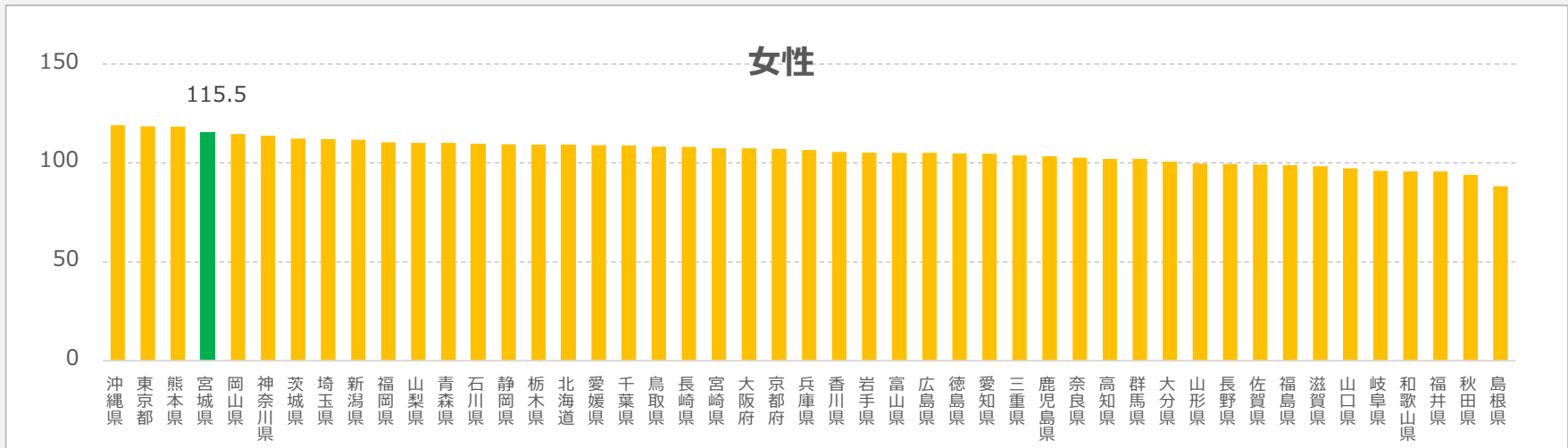
宮城県 : 宮城県がん登録情報(宮城県がん登録室集計・再集計値)

注意 上記グラフで、前ページの年齢調整死亡率の値と異なる理由は、世界人口モデルで計算しているため(長期的な傾向を把握するため)

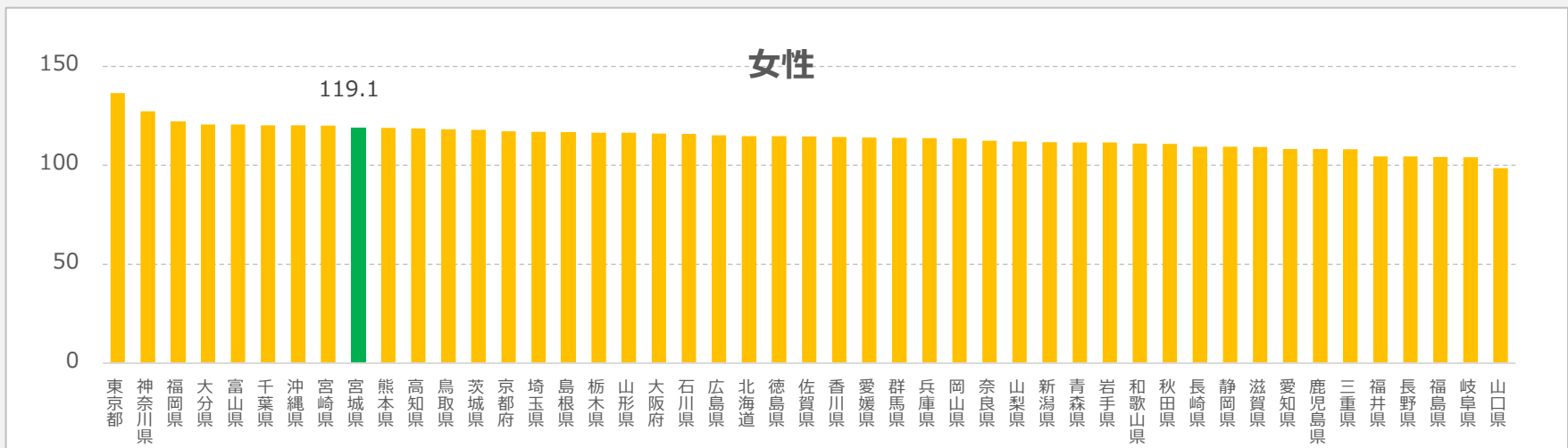
乳がん年齢調整罹患率 女性 都道府県別

2020（R2）年（乳がん年齢調整罹患率）

年齢調整罹患率（人口10万対）（昭和60年人口モデル）

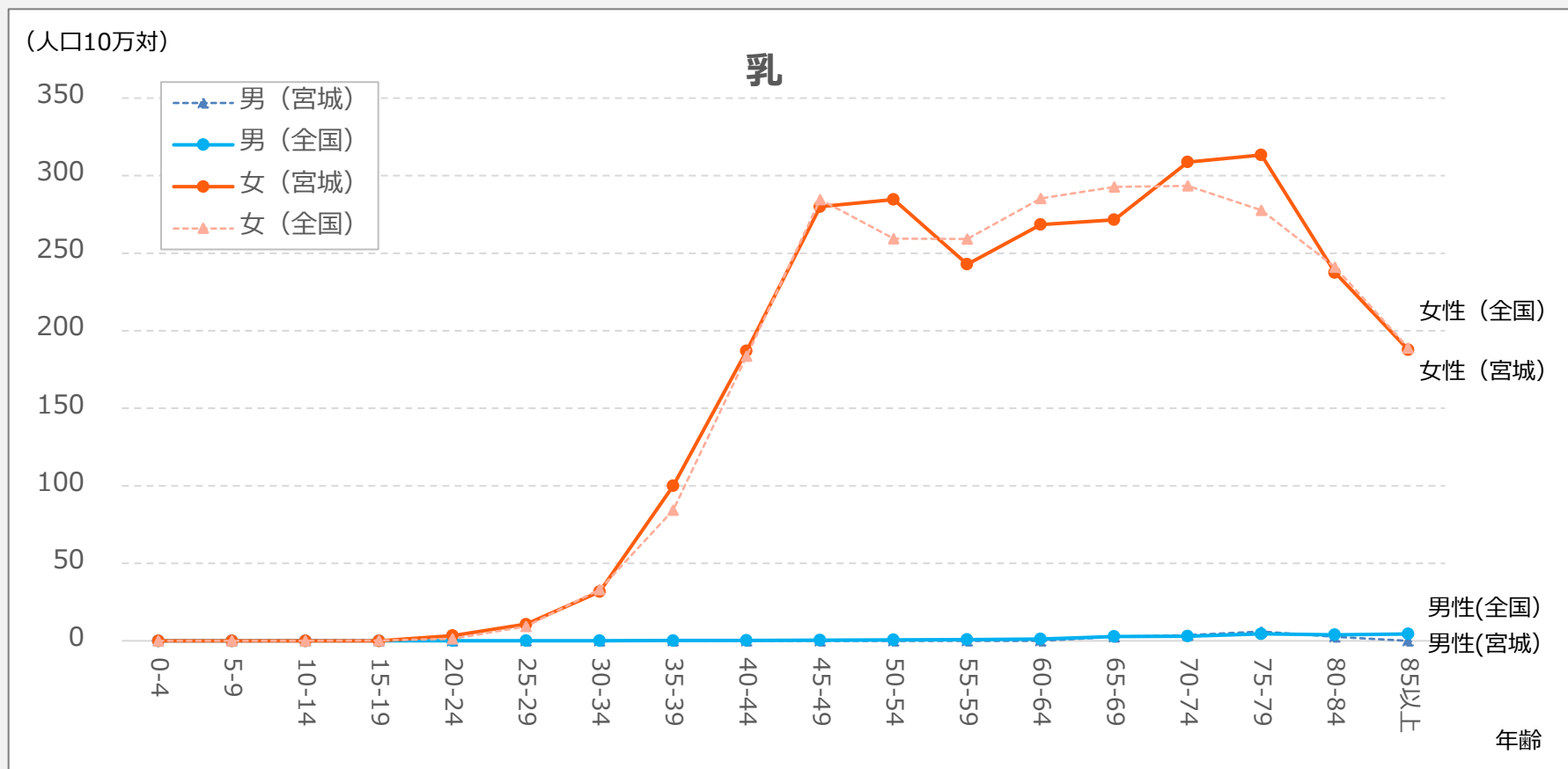


2021（R3）年（乳がん年齢調整罹患率）



乳がん罹患率（年齢階級別）（全国と宮城県）

年齢階級別罹患率 2021（R3）年（上皮内がんを含む）

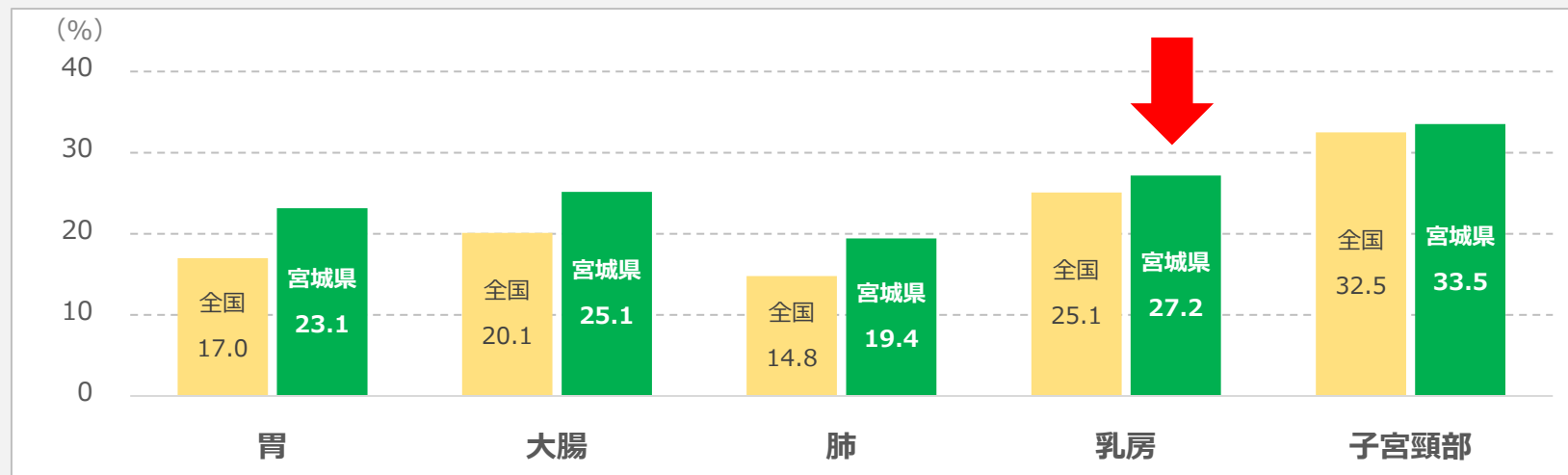


乳	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-
男（宮城）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	3.6	6.0	2.6	0.0
男（全国）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.5	0.7	0.8	1.2	2.8	3.0	4.5	3.9	4.4
女（宮城）	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	10.7	31.7	100.0	187.0	280.0	284.6	242.9	268.5	271.6	308.8	313.3	237.5	187.7
女（全国）	0.0	0.0	0.1	0.3	1.2	9.4	33.0	84.3	183.6	284.6	259.4	259.1	285.3	292.8	293.4	277.7	241.0	188.9

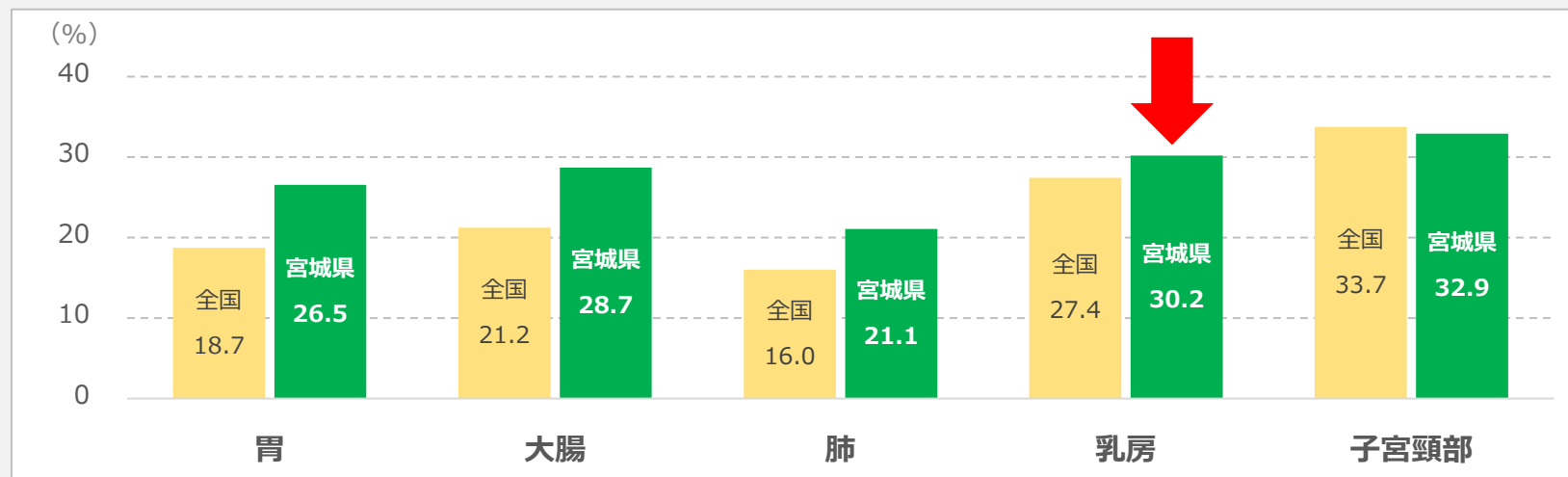
がん検診発見割合 (全国・宮城県)

2020 (R2) 年 (全国・宮城県, 男女計)

(上皮内がんを含む DCO: 死亡情報のみで登録された症例を除く)

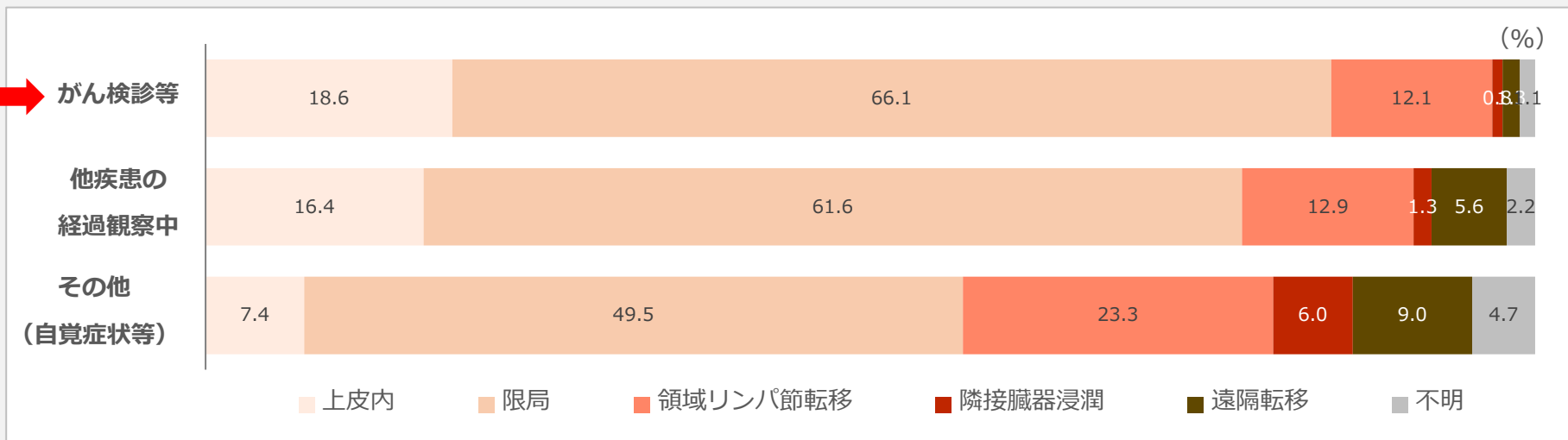


2021 (R3) 年 (全国・宮城県, 男女計)

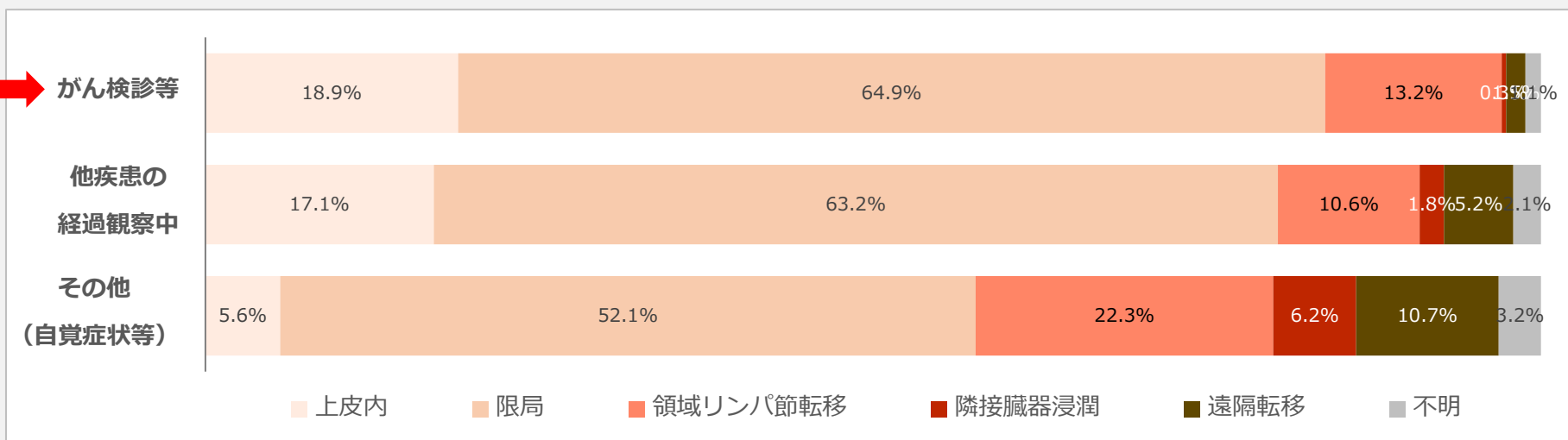


がんの発見経緯と進展度 女性（宮城県）

2020（R2）年（乳がん 宮城県，女）

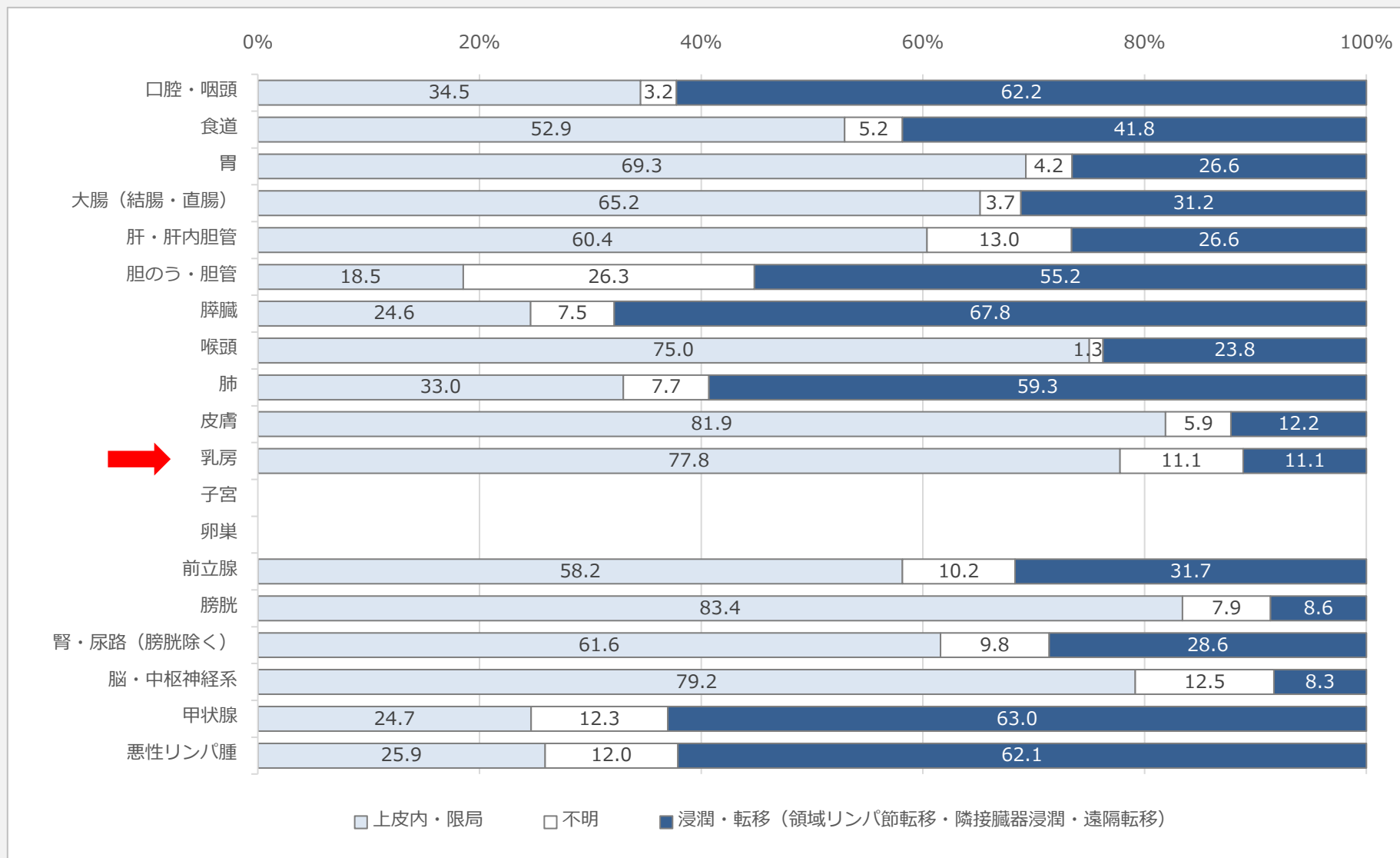


2021（R3）年（乳がん 宮城県，女）



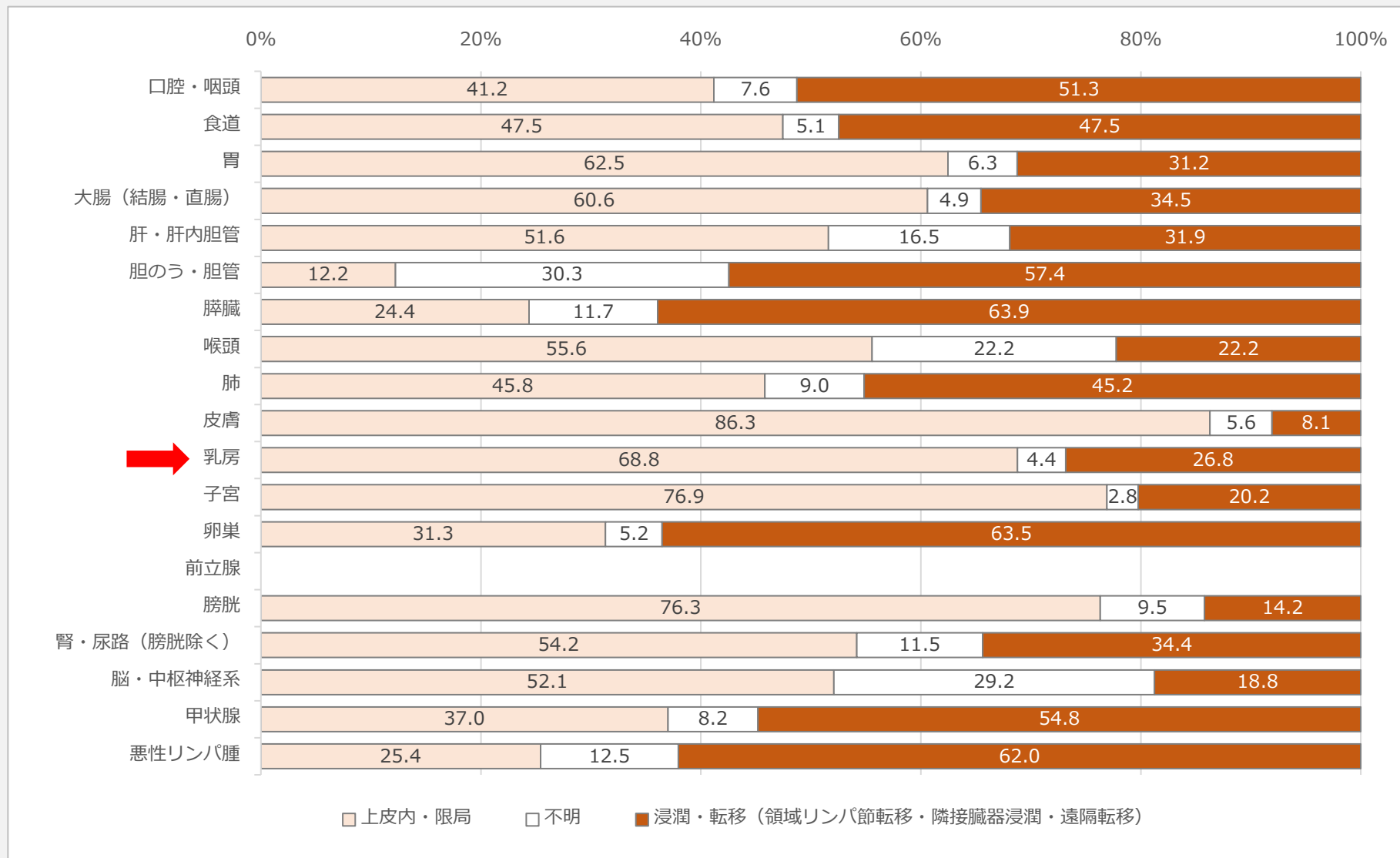
部位別進展度（男性）

がんが発見されたときの進み具合（2021（R3），宮城県，男性）

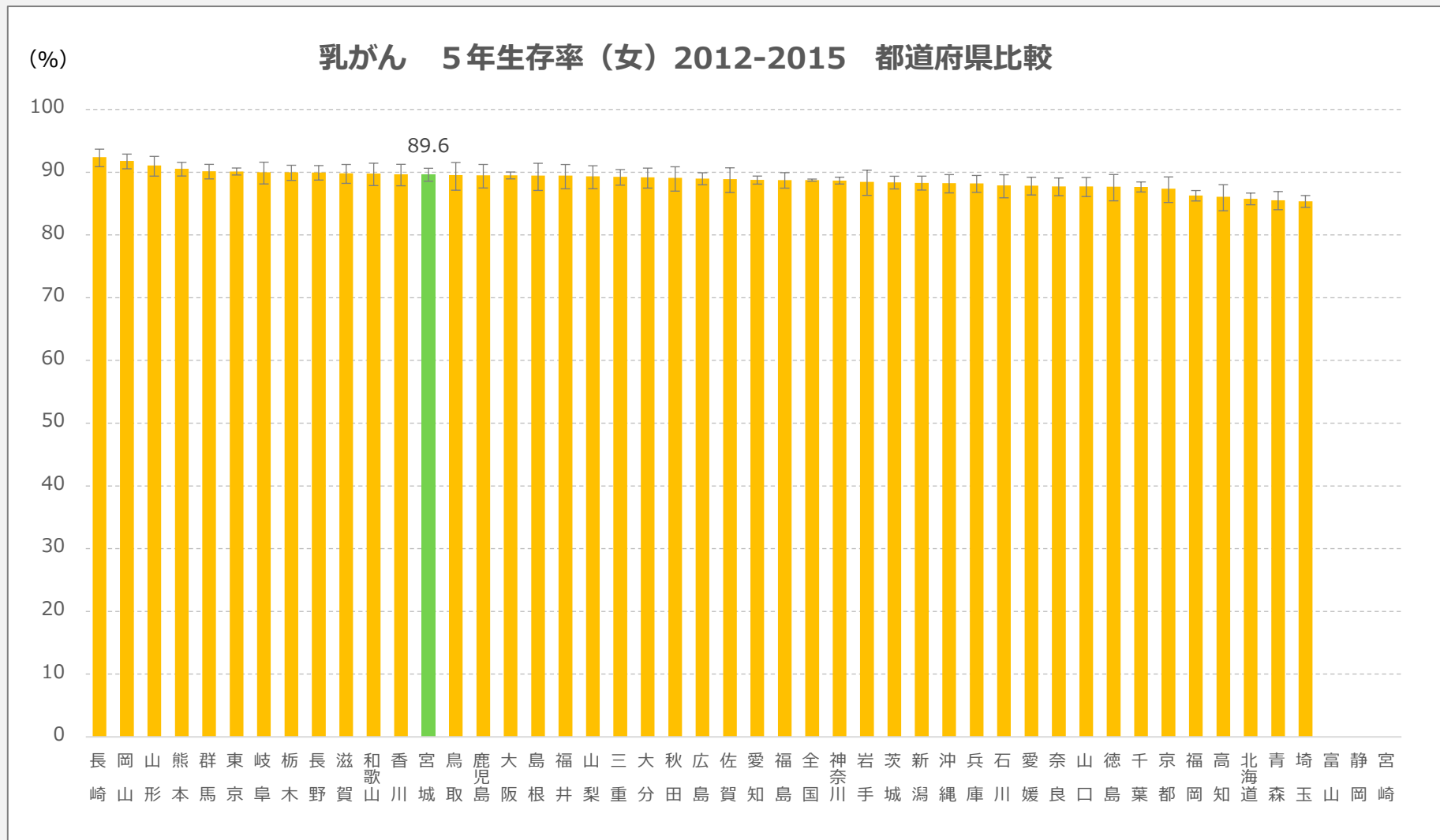


部位別進展度（女性）

がんが発見されたときの進み具合（2021（R3），宮城県，女性）



(参考) 5年純生存率①-1



（富山・静岡・宮崎はデータなし）

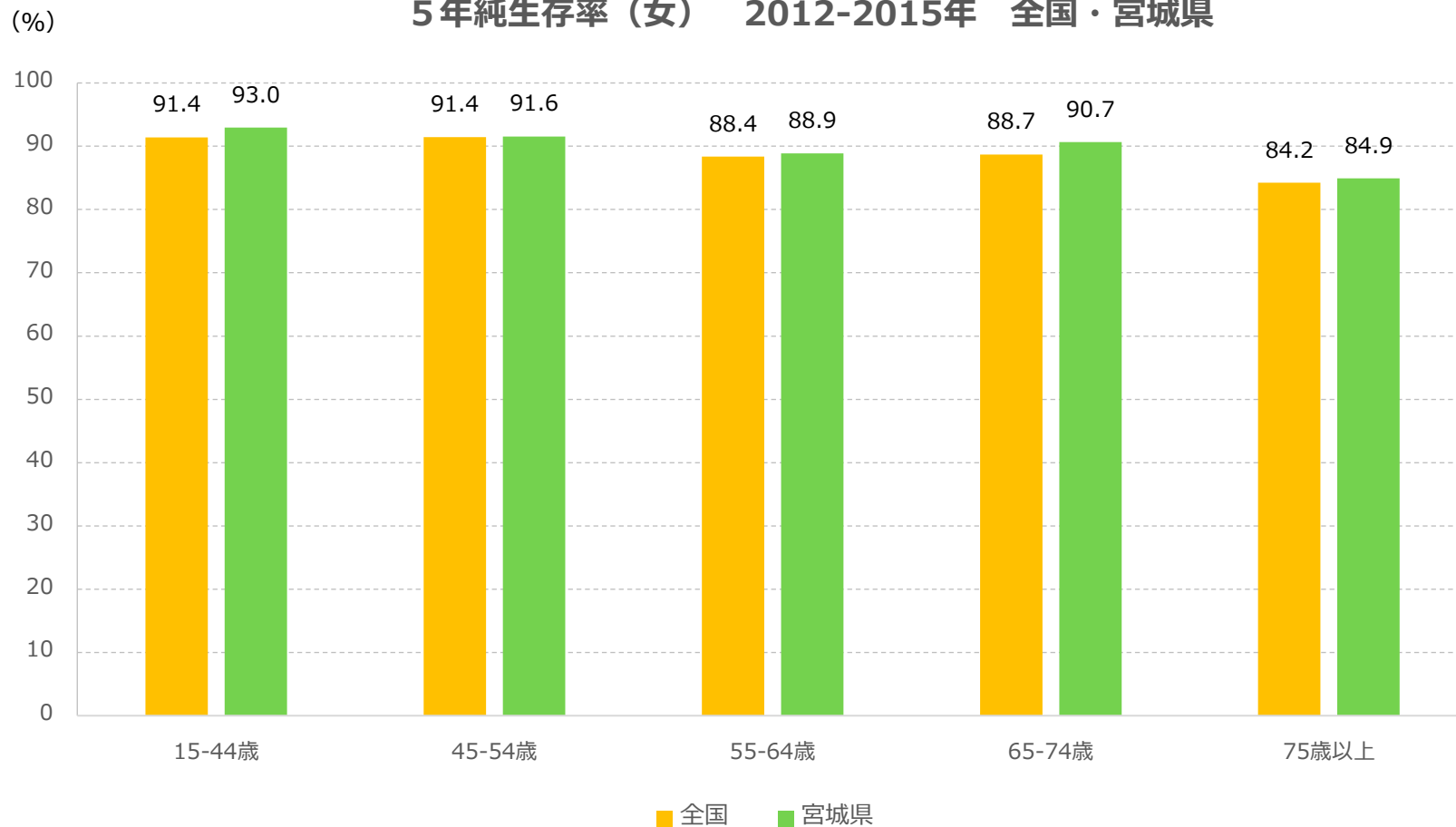
出典：全国がん罹患モニタリング集計 2012-2015年 生存率報告（国立がん研究センター）

表42. 年齢調整5年純生存率（%）：都道府県別、性別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

(参考) 5年純生存率②

乳がん 年齢階級別

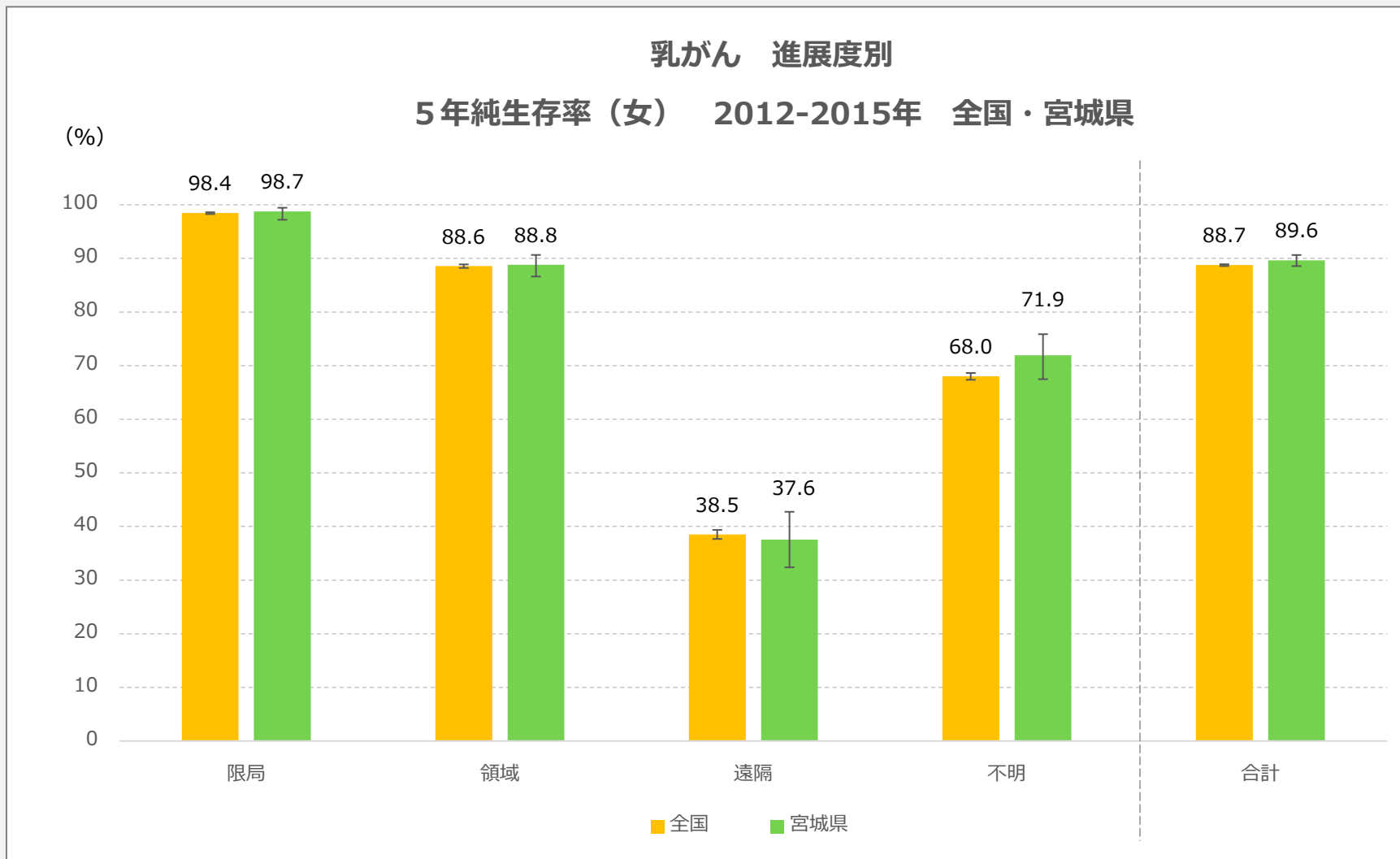
5年純生存率（女） 2012-2015年 全国・宮城県



出典：全国がん罹患モニタリング集計 2012-2015年 生存率報告（国立がん研究センター）

表14. 5年純生存率（%）：主要部位別、性別、年齢階級別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

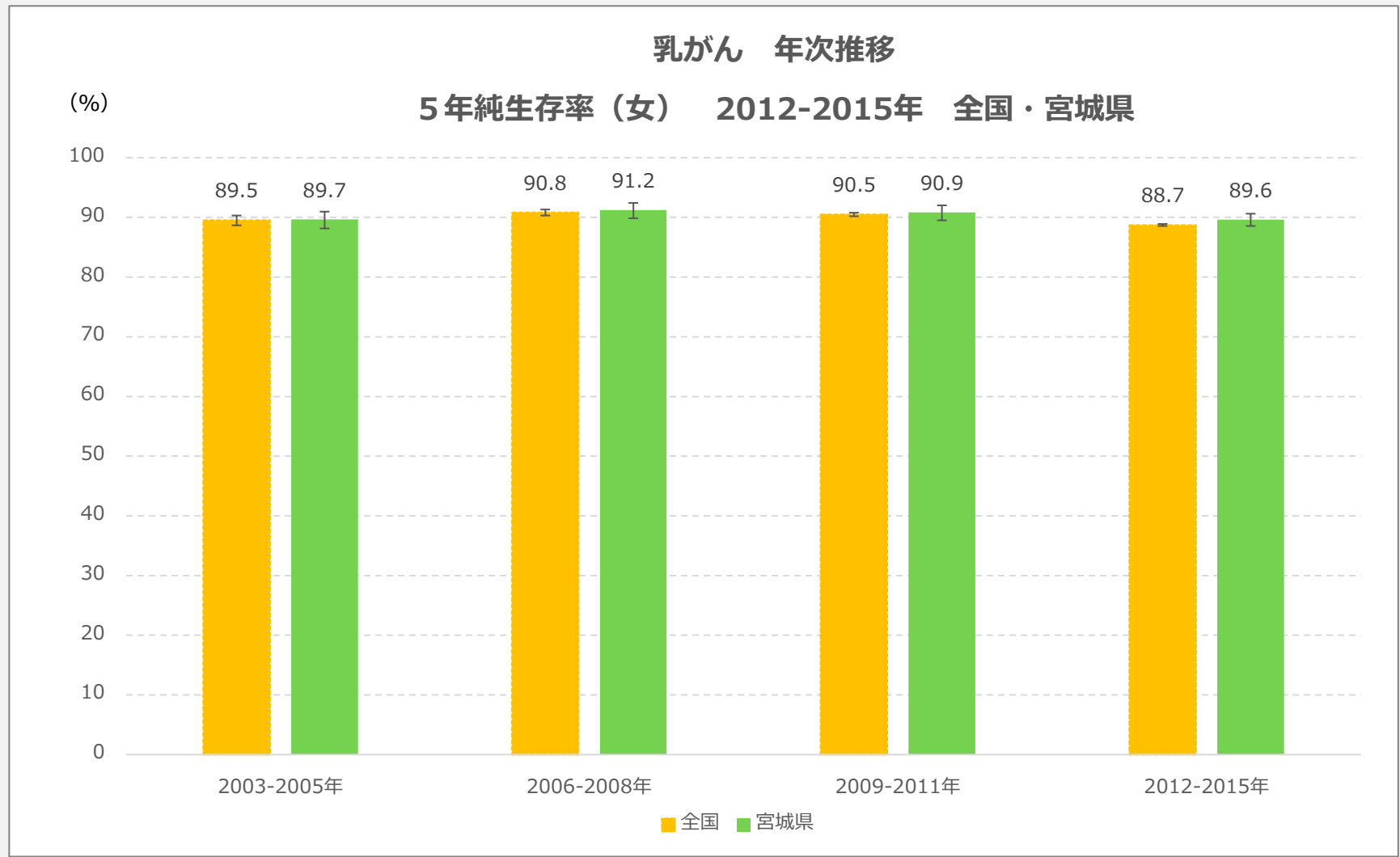
(参考) 5年純生存率③



出典：全国がん罹患モニタリング集計 2012-2015年 生存率報告（国立がん研究センター）


表13. 5年純生存率（%）： 主要部位別、性別、進展度・総合別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

(参考) 5年純生存率④



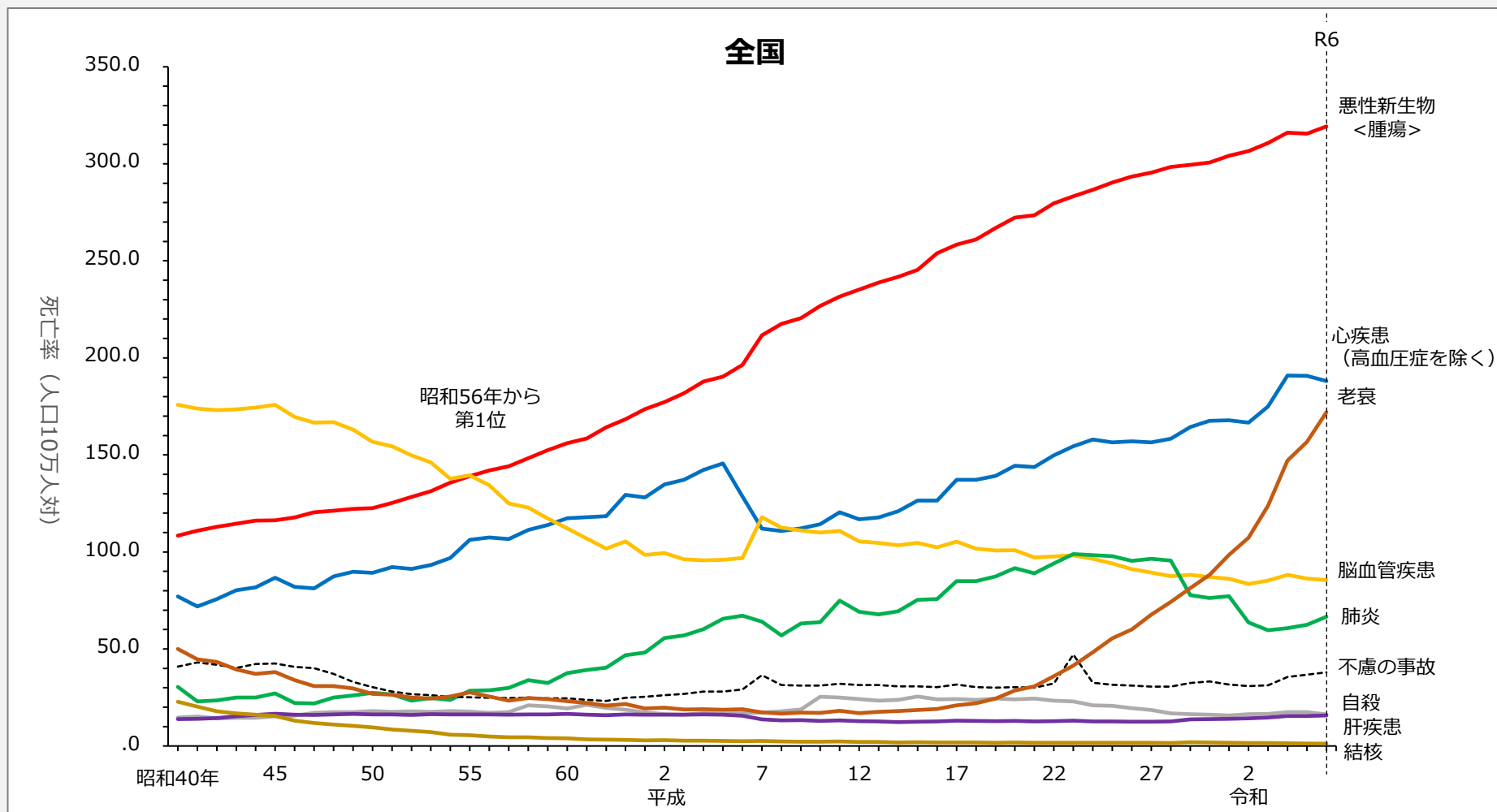
出典：全国がん罹患モニタリング集計 2012-2015年 生存率報告（国立がん研究センター）

表42. 年齢調整5年純生存率（%）：都道府県別、性別（AYA・成人（15歳以上）のみ）から県でグラフ化

- 1 概要調査結果（指針に基づく実施状況）
- 2 チェックリスト遵守状況調査結果
- 3 プロセス指標（要精検率、がん発見率など）
-  4 アウトカム指標（がん罹患、死亡数）

(余 白)

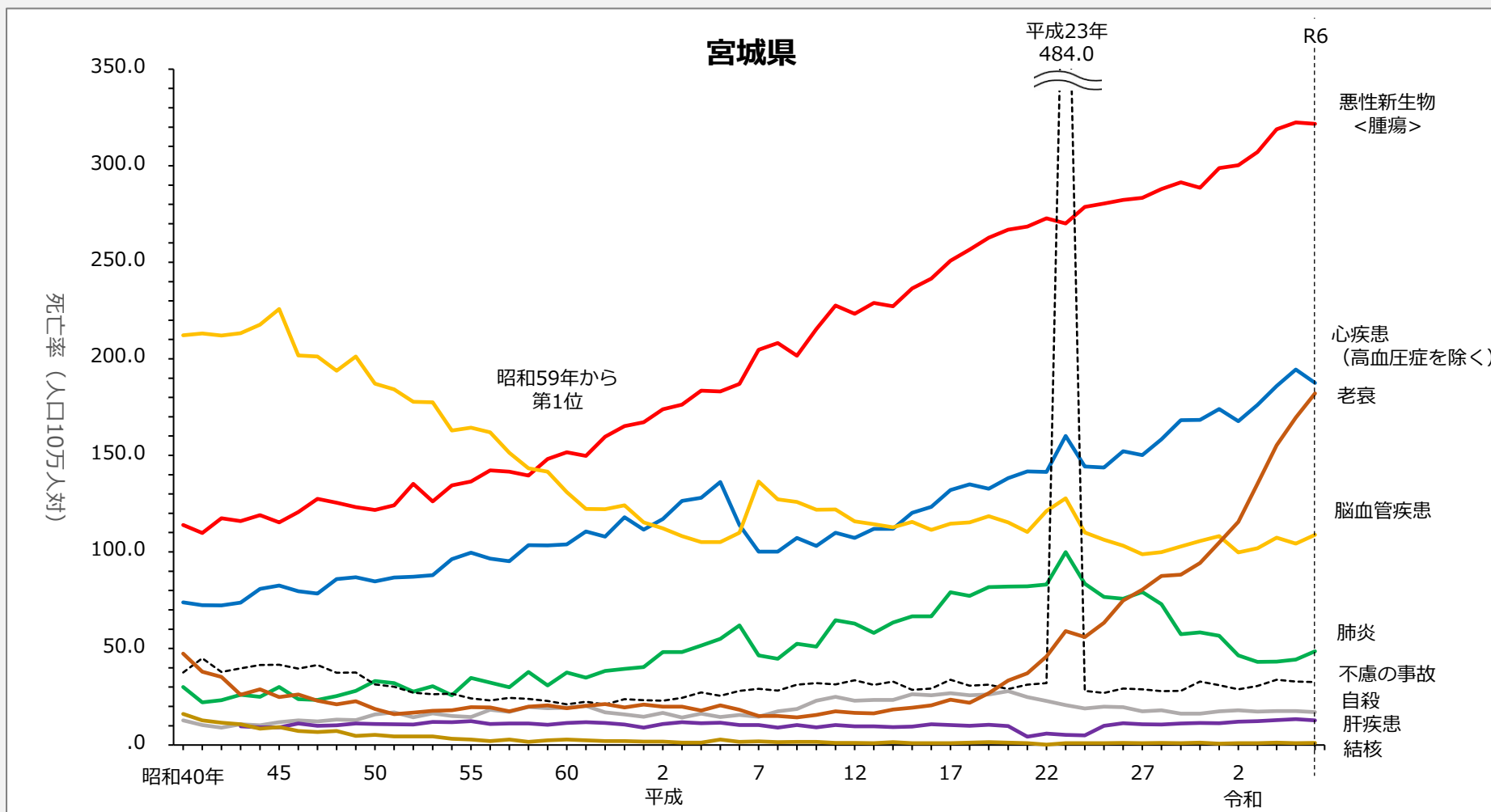
【全国】主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移



年	悪性新生物 <腫瘍>	心疾患 (高血圧症を除く)	老衰	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	肝疾患	結核
2021 (R3)	310.7	174.9	123.8	85.2	59.6	31.2	16.5	14.7	1.5
2022 (R4)	316.1	190.9	147.1	88.1	60.7	35.6	17.4	15.5	1.4
2023 (R5)	315.6	190.7	156.7	86.3	62.5	36.7	17.4	15.4	1.3
2024 (R6)	319.3	188.1	172.0	85.5	66.6	38	16.3	15.7	1.2

出典：
厚生労働省
人口動態統計
(確定数)

【宮城】 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移



年	悪性新生物 <腫瘍>	心疾患 （高血圧症を除く）	老衰	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	肝疾患	結核
2021 (R3)	307.1	176.2	135.3	101.9	43.1	30.6	17.3	12.3	0.9
2022 (R4)	318.9	185.9	155.3	107.4	43.2	33.8	17.6	12.9	1.2
2023 (R5)	322.4	194.5	169.6	104.2	44.2	32.9	17.6	13.4	0.9
2024 (R6)	321.7	187.5	182.1	108.9	48.6	32.6	17.1	12.8	1.1

出典：
厚生労働省
人口動態統計
（確定数）

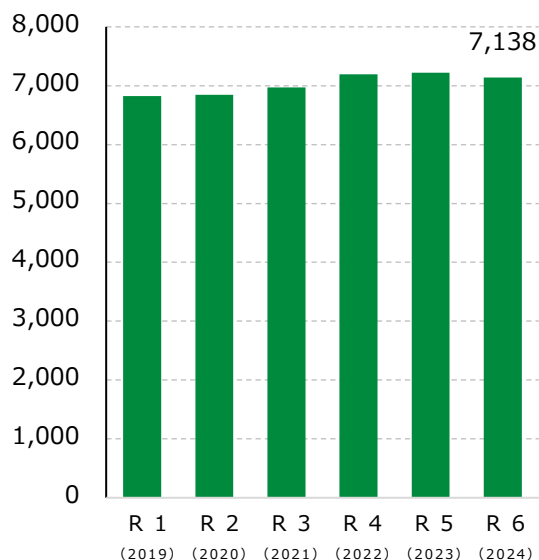
がん死亡数の年次推移 全部位（宮城県）

がん死亡数の推移（宮城県）

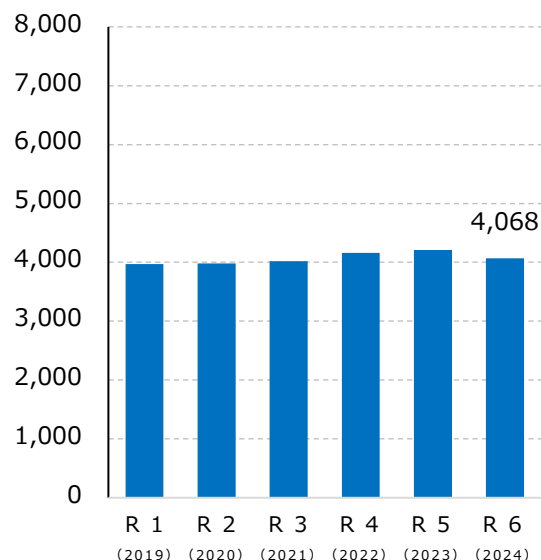
（参考）全国

宮城県	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2024（R6）
計	6,822	6,845	6,969	7,195	7,219	7,138	384,111
男	3,968	3,982	4,017	4,158	4,210	4,068	221,786
女	2,854	2,863	2,952	3,037	3,009	3,070	162,325

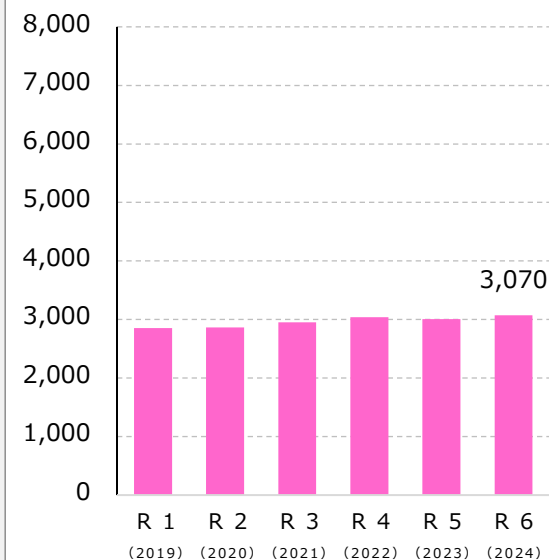
総数（男女計）



男性



女性



主な部位別のがん死亡数の年次推移（宮城県）

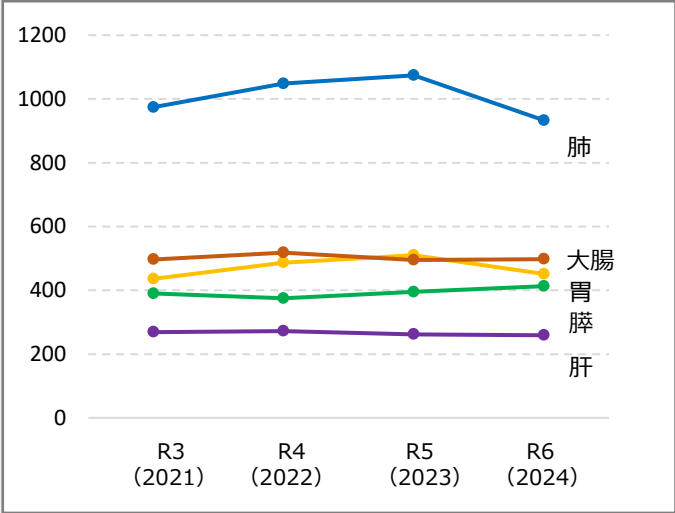
部位別がん死亡数の推移（男）

男	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
胃	436	487	510	451
肺	974	1048	1074	933
肝臓	269	272	262	259
膵臓	390	375	395	413
大腸	497	518	495	498

2024（R6）年
部位別がん死亡数の順位（男）

順位	宮城県	全国
1位	肺がん	肺がん
2位	大腸がん	大腸がん
3位	胃がん	胃がん
4位	膵臓がん	膵臓がん
5位	肝臓がん	肝臓がん

部位別がん死亡数の推移（男）



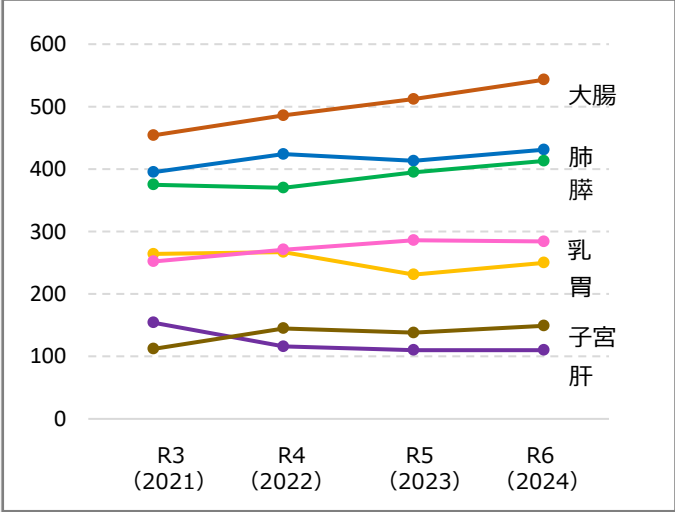
部位別がん死亡数の推移（女）

女	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
胃	264	267	231	250
肺	395	424	413	431
肝臓	154	116	110	110
膵臓	375	370	395	413
大腸	454	486	512	543
子宮	112	145	138	149
乳房	252	271	286	284

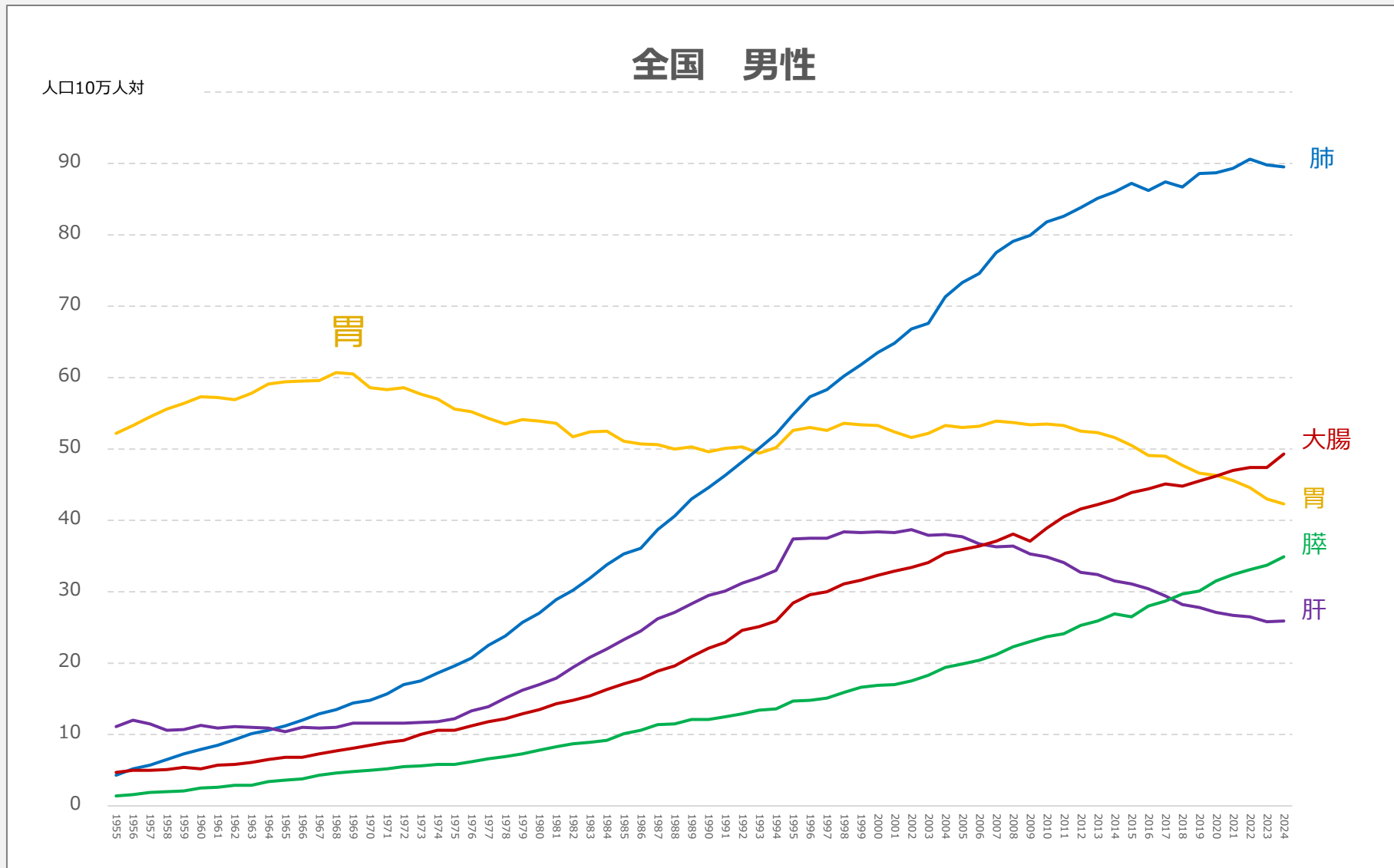
2024（R6）年
部位別がん死亡数の順位（女）

順位	宮城県	全国
1位	大腸がん	大腸がん
2位	肺がん	肺がん
3位	膵臓がん	膵臓がん
4位	乳がん	乳がん
5位	胃がん	胃がん

部位別がん死亡数の推移（女）

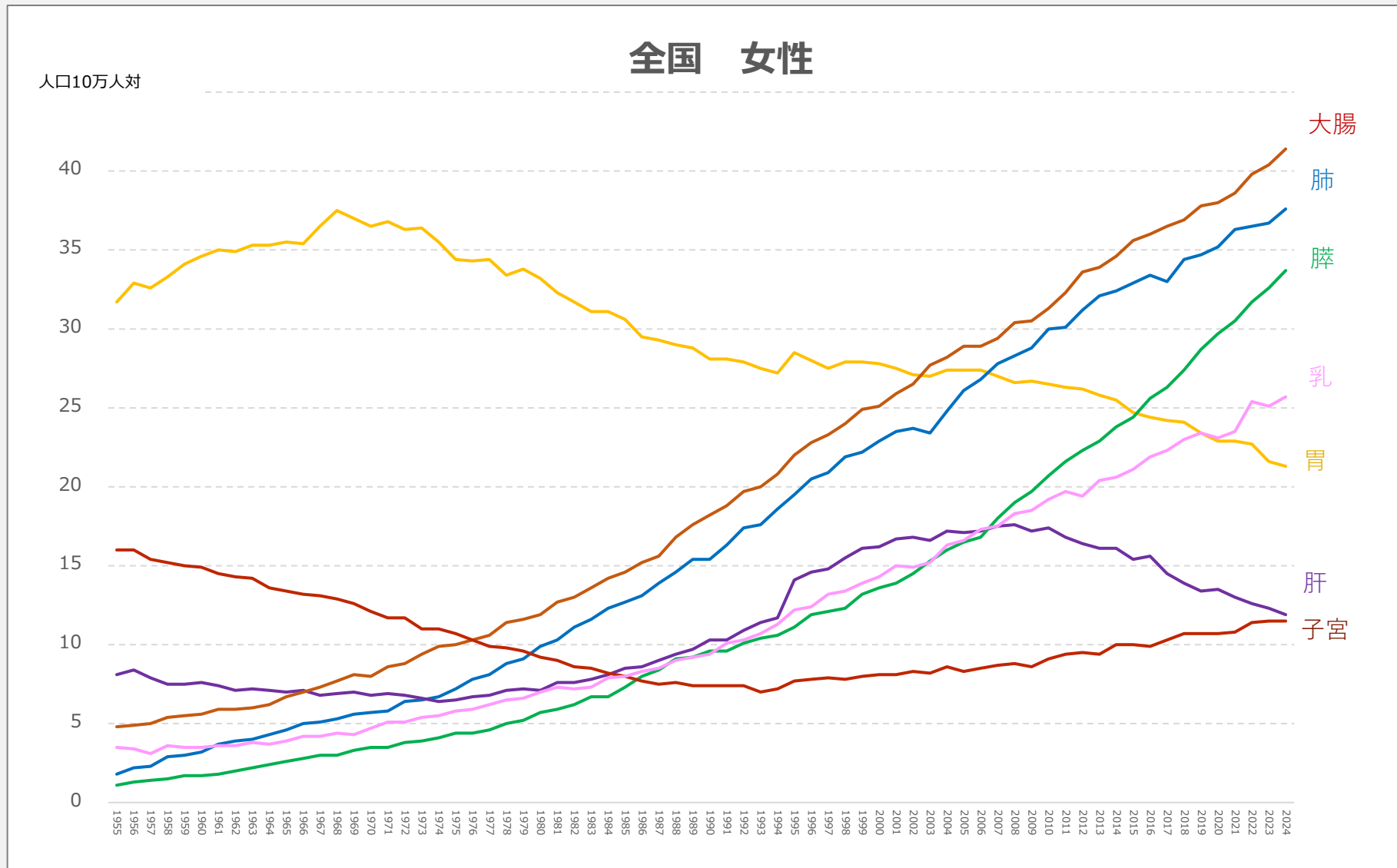


がんの部位ごとの死亡率の年次推移 男性（全国）



出典：厚生労働省 令和6年(2024)人口動態統計月報年計（概数）の概況

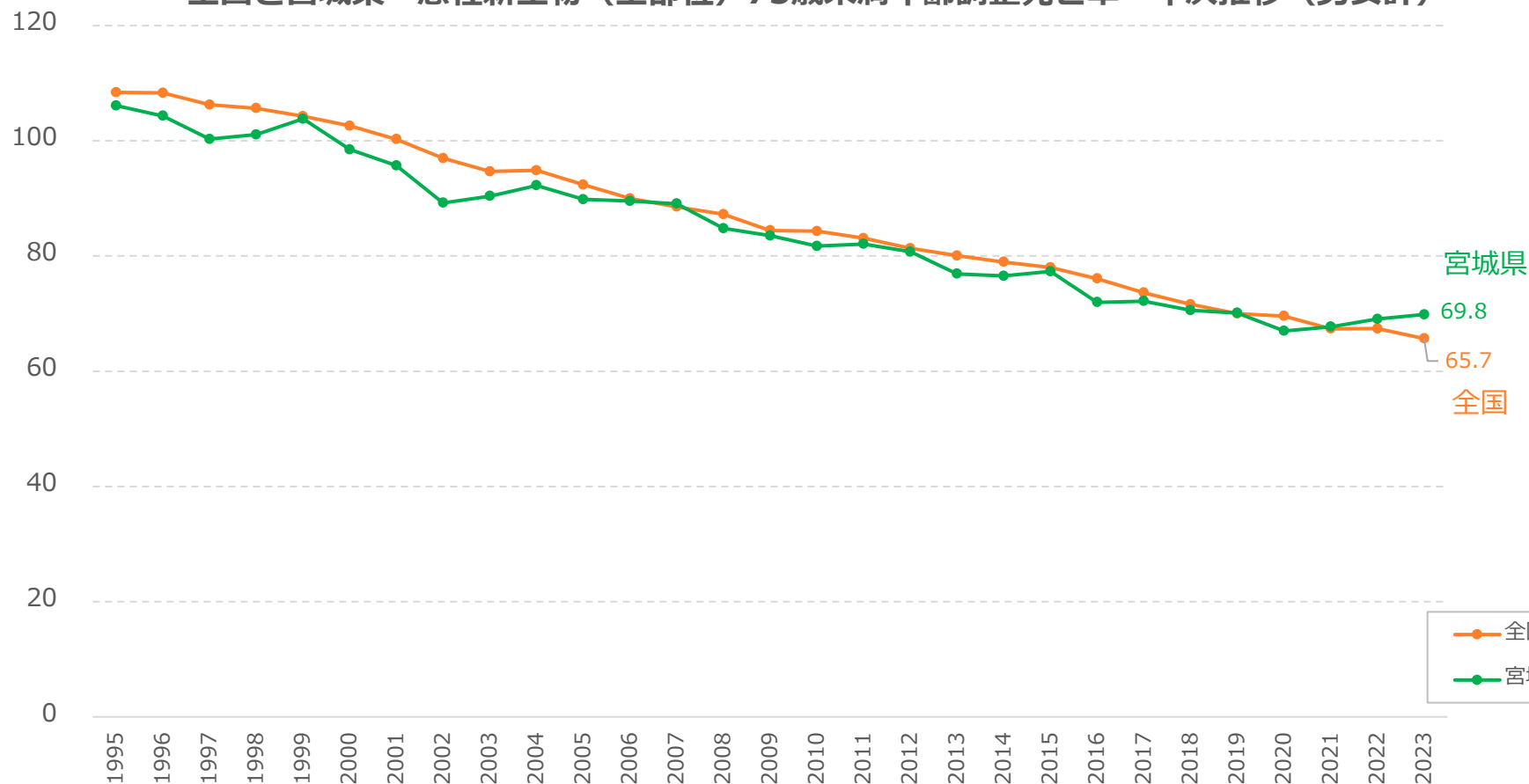
がんの部位ごとの死亡率の年次推移 女性（全国）



出典：厚生労働省 令和6年(2024)人口動態統計月報年計（概数）の概況

年齢調整死亡率の推移（全国・宮城県）

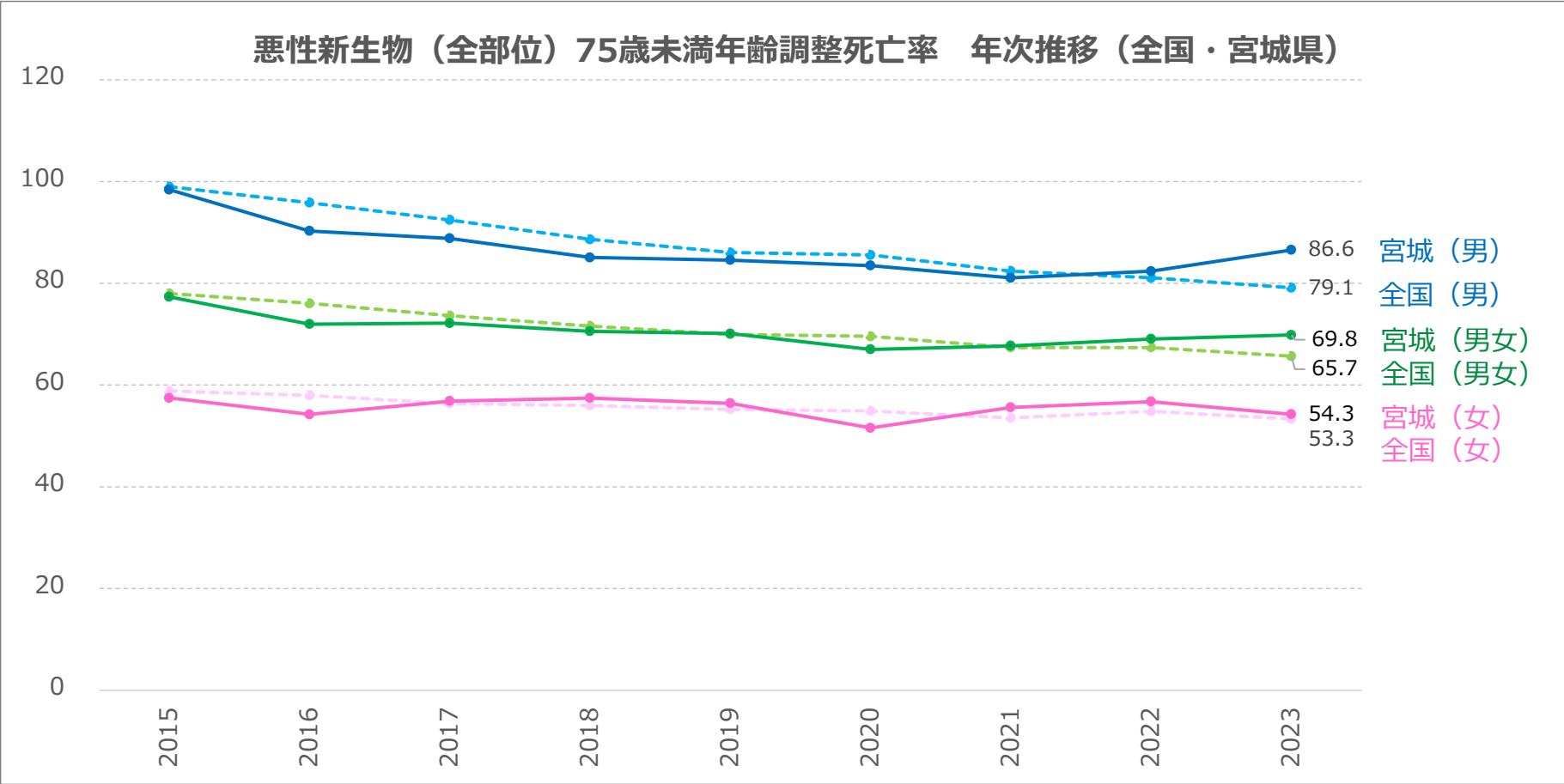
全国と宮城県 悪性新生物（全部位）75歳未満年齢調整死亡率 年次推移（男女計）



男女計	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
全国	78.0	76.1	73.6	71.6	70.0	69.6	67.4	67.4	65.7
宮城県	77.3	72.0	72.2	70.6	70.1	67.0	67.7	69.1	69.8

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）全がん死亡数・粗死亡率・年齢調整死亡率から県でグラフ化
 （注）基準人口は昭和60年（1985年）モデル人口を使用

年齢調整死亡率の推移（男女別） （2015-2023年）

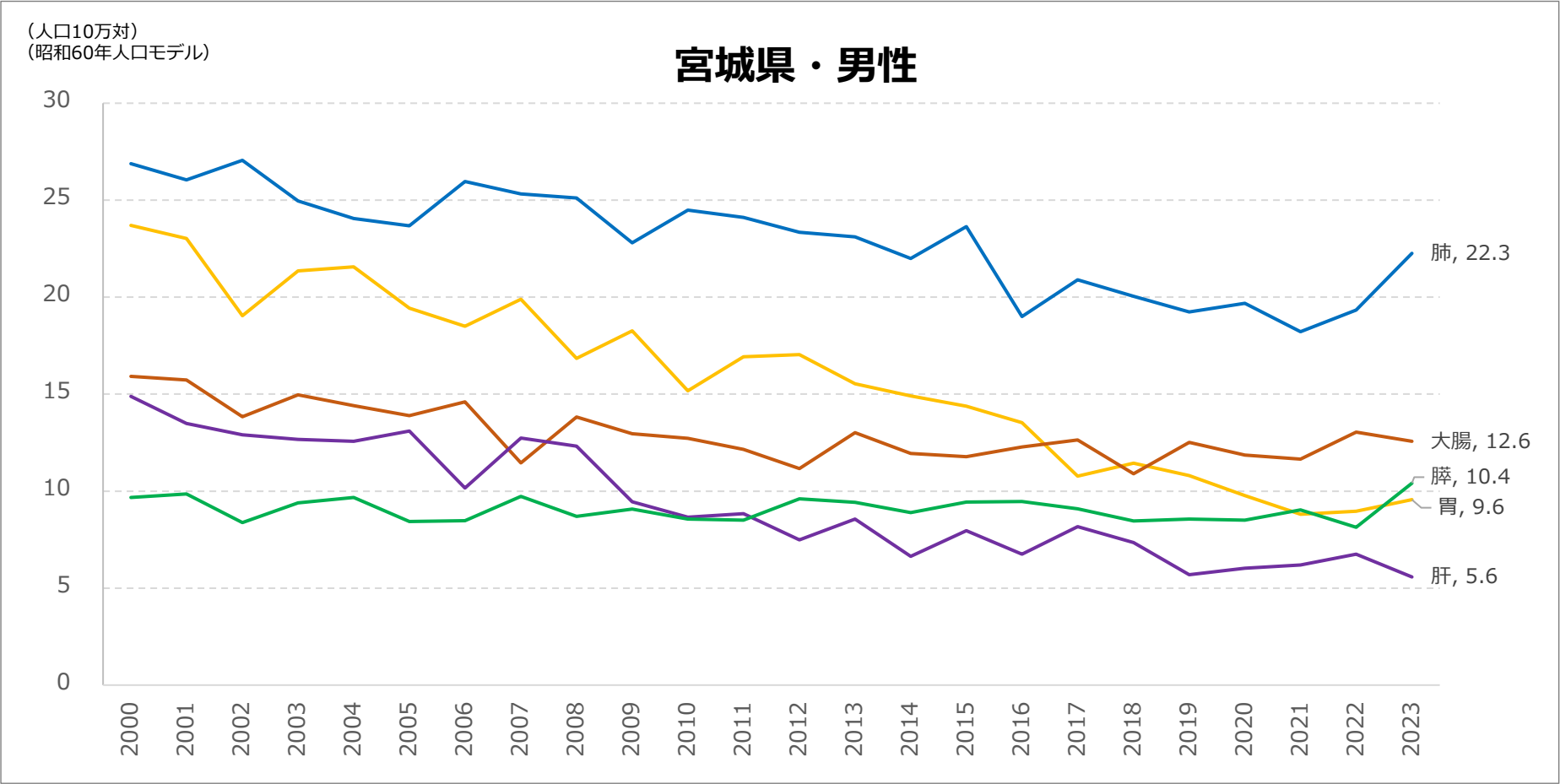


性別	都道府県	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
男女計	全国	78.0	76.1	73.6	71.6	70.0	69.6	67.4	67.4	65.7
	宮城県	77.3	72.0	72.2	70.6	70.1	67.0	67.7	69.1	69.8
男	全国	99.0	95.8	92.5	88.6	86.0	85.6	82.4	81.1	79.1
	宮城県	98.4	90.3	88.8	85.1	84.6	83.5	81.1	82.4	86.6
女	全国	58.8	58.0	56.4	56.0	55.2	54.9	53.6	54.9	53.3
	宮城県	57.5	54.2	56.8	57.4	56.4	51.6	55.6	56.8	54.3

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（人口動態統計）全がん死亡数・粗死亡率・年齢調整死亡率から県でグラフ化
（注）基準人口は昭和60年（1985年）モデル人口を使用

年齢調整死亡率 部位別の推移 男性（宮城県）

悪性新生物 部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）年次推移（2000-2023，宮城県，男性）

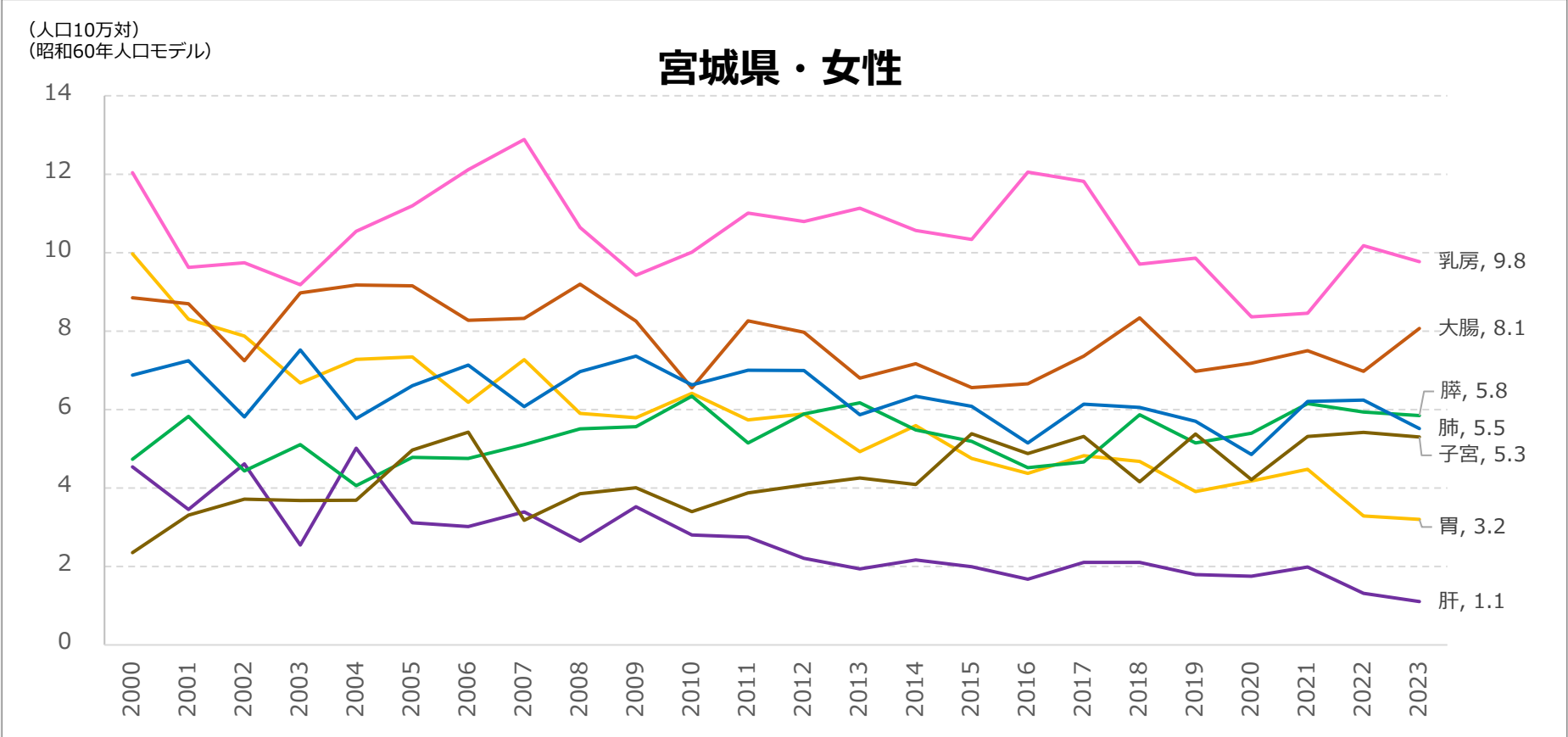


部位 (男性)	宮城県					全国
	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2023 (R5)
胃	10.8	9.8	8.8	9.0	9.6	8.4
大腸	12.5	11.9	11.6	13.0	12.6	12.3
肝	5.7	6.0	6.2	6.8	5.6	5.4
膵	8.6	8.5	9.0	8.1	10.4	8.7
肺	19.2	19.7	18.2	19.3	22.3	17.8

出典 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」
(厚生労働省人口動態統計)
都道府県別、年別、性別、悪性新生物部位別
75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）

年齢調整死亡率 部位別の推移 女性（宮城県）

悪性新生物 部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）年次推移（2000-2023，宮城県，女性）



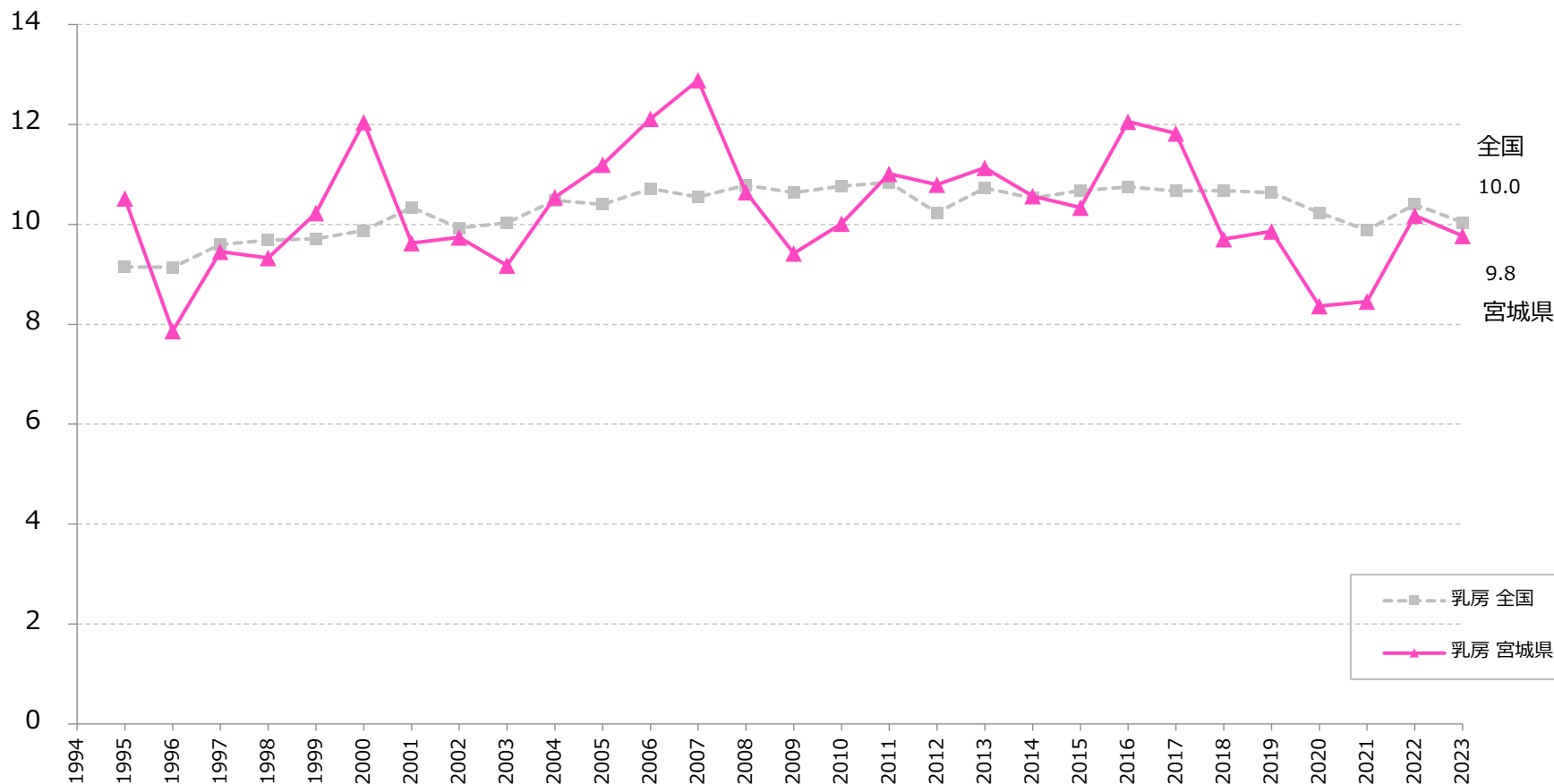
部位 (女性)	宮城県					全国
	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2023 (R5)
胃	3.9	4.2	4.5	3.3	3.2	3.3
大腸	7.0	7.2	7.5	7.0	8.1	7.2
肝	1.8	1.8	2.0	1.3	1.1	1.4
脾	5.1	5.4	6.2	5.9	5.8	5.5
肺	5.7	4.9	6.2	6.2	5.5	5.6
乳房	9.9	8.4	8.5	10.2	9.8	10.0
子宮	5.4	4.2	5.3	5.4	5.3	5.1

出典 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」
(厚生労働省人口動態統計)
都道府県別、年別、性別、悪性新生物部位別
75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対）

乳がん年齢調整死亡率 年次推移（全国・宮城県）

75歳未満年齢調整死亡率 年次推移（1995-2023, 女性）

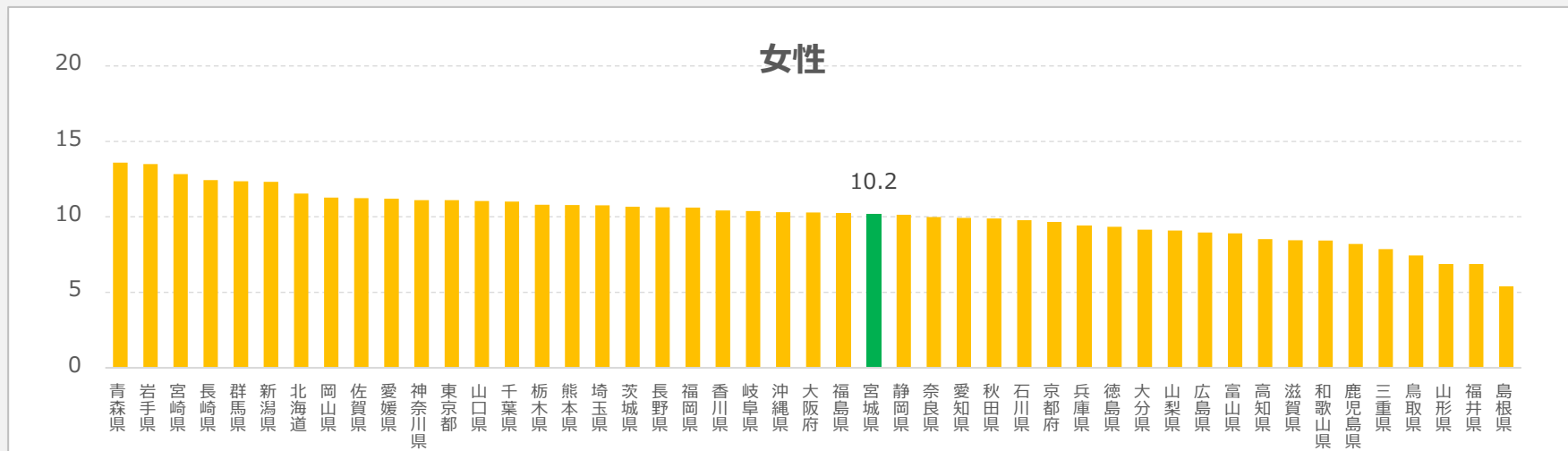
75歳未満年齢調整死亡率
(人口10万対)
(昭和60年人口モデル)



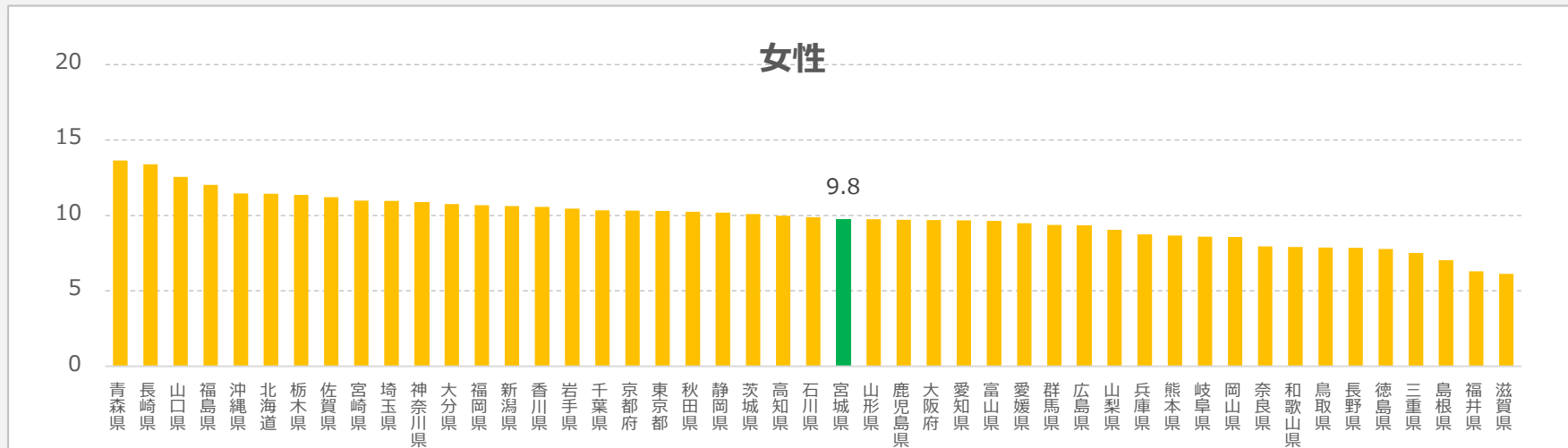
乳がん年齢調整死亡率 都道府県別

2022（R4）年（乳がん75歳未満年齢調整死亡率，女）

年齢調整罹患率（人口10万対）（昭和60年人口モデル）

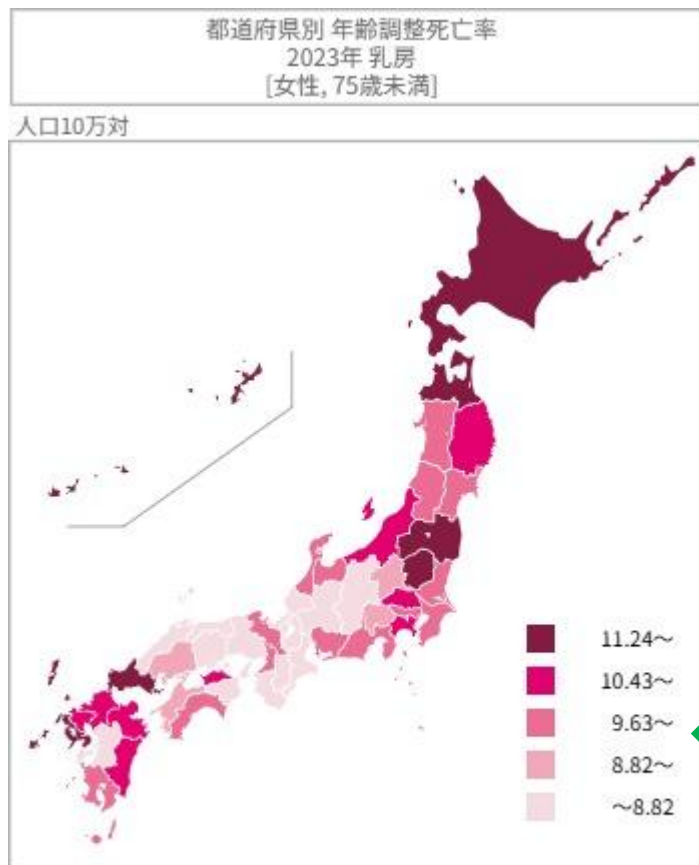


2023（R5）年（乳がん75歳未満年齢調整死亡率，女）



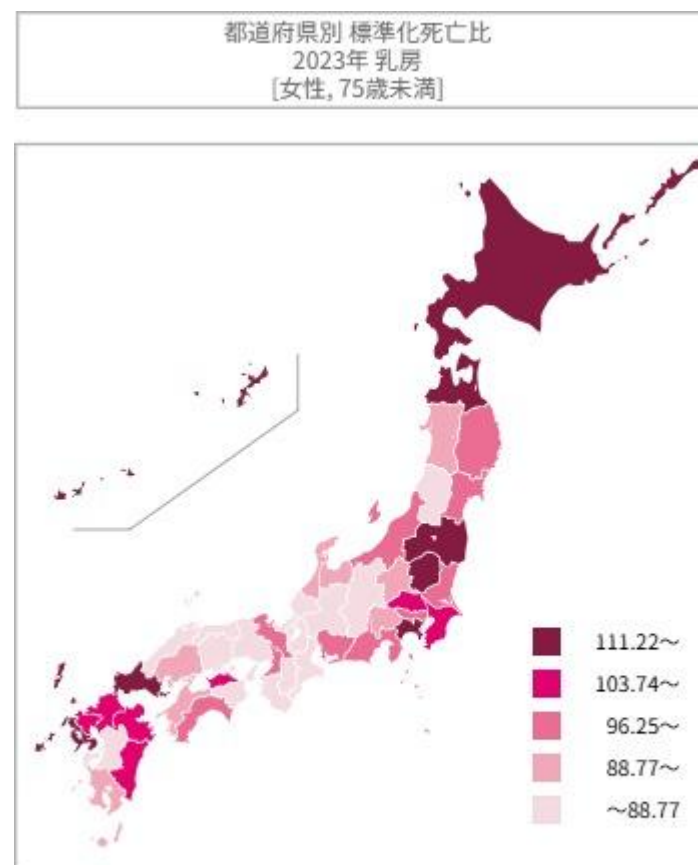
(参考) 年齢調整死亡率 全国マップ R5 (2023)

2023 (R5) 年



資料:国立がん研究センター
Source: National Cancer Center, Japan

宮城県	年齢調整率
女性	9.8



資料:国立がん研究センター
Source: National Cancer Center, Japan

宮城県	標準化死亡比
女性	96.5

アウトカム指標のまとめ

(罹患数や死亡率への影響は、市町村が実施するがん検診によるものだけではないが)

- 乳がんの罹患数、年齢調整罹患率ともに増加している
- 乳がん検診で発見される割合が全国より高く、早期発見に大きく貢献していると思われる。
- 死亡者数は、増加傾向だが年齢調整死亡率は、ほぼ全国値と同じである。



値の評価、要因等について、専門的な見地から御意見をお願いします